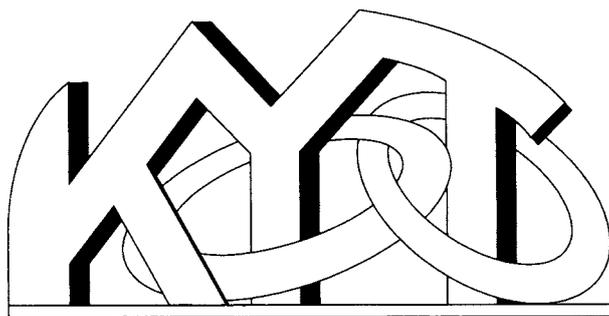


社団法人

# 京都府放射線技師会

*THE KYOTO ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS*

平成 22 年度



# 目 次

|                        |      |
|------------------------|------|
| 発刊に際して                 | (1)  |
| 診療放射線技師の仕事             | (2)  |
| 放射線 Q&A                | (9)  |
| 平成 22 年度事業計画書          | (11) |
| 平成 22 年度収支予算書          | (13) |
| 広 告                    | (16) |
| 平成 22 年度事業の総括          | (40) |
| 社 会 事 業                | (42) |
| 研修・研究事業                | (45) |
| 編 集 事 業                | (49) |
| 厚 生 事 業                | (49) |
| 組 織 調 査 事 業            | (51) |
| 情 報 事 業                | (65) |
| 管 理 士 事 業              | (66) |
| 地 区 活 動                | (75) |
| 受賞者選考委員会               | (79) |
| 役 員 名 簿                | (80) |
| 特 別 委 員 会              | (81) |
| 地 区 委 員 名 簿            | (82) |
| 平成 22 年度 会長・副会長・理事役員体制 | (83) |
| (社)京都府放射線技師会連絡機構図      | (84) |
| 地区班別連絡機構図              | (85) |
| (社)京都府放射線技師会組織図        | (86) |
| 個人情報保護について             | (87) |
| 賛助会員名簿                 | (88) |

## ◆ 発刊に際して ◆

会 長 轟 英 彦

この度、平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大地震におきまして、被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い被災地の復興をお祈りいたします。

16 年前の阪神・淡路大震災、また 7 年前に新潟県中越地震といくつもの災害が起きましたが、現在はなんとか復興しております。皆様の支援があれば必ずや近い将来東日本も復興することになると思いますので、夢を持って立ち向かうことを願っております。我々放射線技師会も微力ながらお力添えをいたしたいと思います。

さて、平成 22 年度の(社)京都府放射線技師会事業も会員諸氏の協力を得て終えることが出来ました。今年度も京都府放射線技師会雑誌を発刊させていただきましたが、昨年より充実した内容にできたと思います。より内容のある充実した書物へ変革いたしたく、いつまでも身近に置いておけるような放射線に関する雑誌にし、多くの方に共感していただける雑誌として、大勢の方々に読んで頂いて非常に参考になる内容にしていきたいと思っております。

内容等についてご意見等ありましたらご提案いただき、会員皆で作る雑誌にしたいと考えておりますので、なにとぞよろしく申し上げます。

以上、お願いと共に発刊の挨拶とさせていただきます。

# 診療放射線技師の仕事

診療放射線技師は医療においてなくてはならない存在ではないかと考えています。そんな我々が医療の現場で行っている仕事をご紹介します。

## — 画像撮像 —

今でも「レントゲン撮影」といえば誰でも思いつうことができる「X線写真」ですが、これが我々診療放射線技師の仕事の原点です。その「X線写真」を始め、今や医師の画像診断のためにいろいろな臨床画像を提供するのが診療放射線技師の主な仕事です。

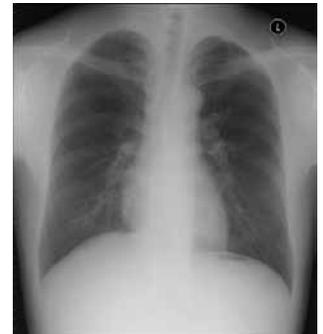


1895年にドイツのヴェルツブルク大学でヴィルヘルム・コンラート・レントゲン博士がX線を発見しました。それから100年以上経った現在、X線は医療業界を初め、さまざまな場面で人々の役にたっています。中でも、誰もが最初に思いつうのが「X線写真」ではないでしょうか。左図はレントゲン夫人の右手の写真です。おそらく現存する中では最も古いX線写真ではないでしょうか。

現代の医療で「X線写真」はなくてはならないもののひとつになっています。以下にX線撮影技術のいくつかをご紹介します。

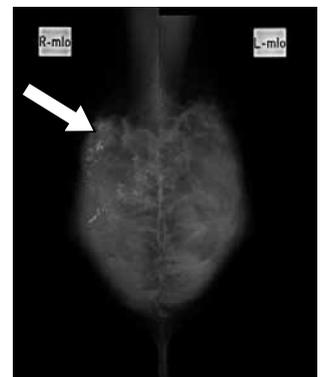
### 一般撮影

多くの方が一度は受けられたことがあると思いますが、右図が胸部正面X線写真です。この写真一枚で肺の状態から、心臓、大動脈、食道、肝臓等の異常が感知できます。X線写真としては頭部から指先足先まであらゆる部位の撮影をします。以下にご紹介します特殊撮影に対して一般撮影と呼ばれています。打撲での骨折の確認はもちろん、腹痛や肺炎等様々な病変や怪我の確認に用いられます。



### 乳房（マンモ）撮影

特殊なX線写真としてマンモ写真があります。乳房のX線撮影で、専用の装置を使用します。胸部のX線写真と同じように正面向きに撮影したのでは肺や肋骨、背骨が同時に写るので診断の邪魔になります。そこで乳房を上下や左右から圧迫し、引き伸ばした状態で乳房だけを撮影します。そうすると邪魔な陰影が写らずにすみます。圧迫により痛みを伴う場合がありますが、精度のよい写真を撮るために我慢していただかなければいけません。右の写真は左右の乳房を斜め内側上方から見た写真です。左が右の乳房、右が左乳房になります。右乳房に白い石灰化病変が散見(矢印)されますが、これは悪性病変の可能性ががあります。



## 骨盤計測

妊娠中に撮影する骨盤計測という撮影があります。妊娠中に放射線を浴びるのはいけないように思いますが、実際に使用する放射線量はごくわずかですし、この検査で帝王切開にするか自然分娩にするのか決定されますので非常に重要な撮影です。撮影されたX線写真で胎児の頭部の大きさと妊婦の骨盤の大きさを比べ、胎児の頭が大きければ帝王切開になります。大きさを計測しますので、メジャーを太ももの間に挟んで撮影することがあります。

右の写真では骨盤腔の入り口の大きさ(白線の産科真結合線)がエコー検査で調べた胎児の頭部より大きいので自然分娩可能です。



## 歯列撮影 (回転断層パノラマ撮影)

歯科医院でフィルムを噛んで写真を撮ったことがある方も多いと思いますが、あれもX線写真の一種です。フィルムを噛む方式のほか、顔の周りに機械を回転させて撮る回転断層パノラマ撮影というのがあります。この方式だと全体の歯列が撮影できます。右のパノラマ写真では向かって右下の奥歯(親知らず)が上を向かず、その手前の歯に向かっているのがわかります。左下の親知らずは外側(手前)に向いています。どちらの親知らずも抜歯しないとイケません。



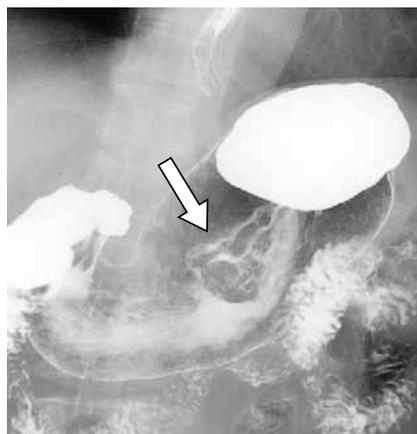
歯列パノラマ撮影

## 透視検査 (バリウム検査、ミエロ検査、関節腔造影検査、子宮卵管造影検査)

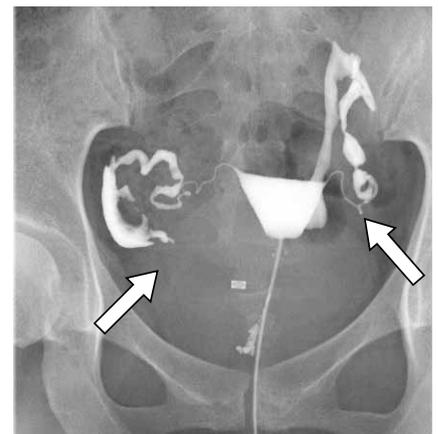
透視装置とは放射線を連続で出し続け、その画像を動画として観察できる装置です。

健康診断でバリウム検査を受けられた方も多いと思います。これはCTやMR検査では胃の状態はよくわかりますので、胃透視検査、胃カメラ検査、注腸検査、大腸カメラ等が胃や腸を対象にした検査として存在します。そのうち胃透視(バリウム)検査は私たち診療放射線技師も行っています。

医師が施行しますが、脊髄腔造影(ミエロ)検査、関節腔造影(アルトロ)検査、子宮卵管造影(HSG)検査という手技もあります。



胃透視 (バリウム) 検査  
矢印部に腫瘍があります



子宮卵管造影 (HSG) 検査  
子宮から造影剤を流し、卵巣まで通じているか調べます  
この画像では左右の卵巣まで問題なく通じています

## X線 CT 検査

X線を用いて身体の回りを360度検出し、コンピューターで処理すると身体の断面図が得られます。これをコンピューター断層撮影、略してCT(Computed tomography)と言います。

X線写真では身体の前にあるボタンが一緒に写ったり、腸のガスでお腹のX線写真がよくわからなかったりしても、CTでは横断写真なので重なりがなくなります。例えば腹部のCT検査なら横隔膜からお尻までの範囲の横断像を撮ります。その横切りの断層像を基に立て切り像を作ったり、3次元の立体像を作ったりもできるようになりました。X線写真で分かりづらかった骨折を調べたり、X線写真で異常のあった部位を精密検査したり脳内の出血や梗塞を調べたりします。

さらに造影剤という薬を使うと血管の走行が明瞭になり、血管の走行や状態、出血、炎症、腫瘍の状態(炎症や腫瘍には血流が通常より多く集まっています)が映し出され、病状が詳しくわかるようになります。



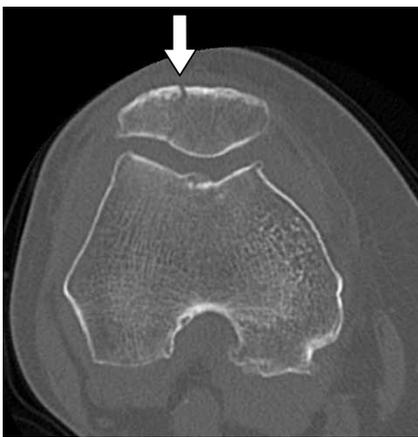
肝臓の輪切り  
矢印部に造影剤が集まっている  
腫瘍が認められます



脳の輪切り  
矢印の白い部分は脳出血の塊です



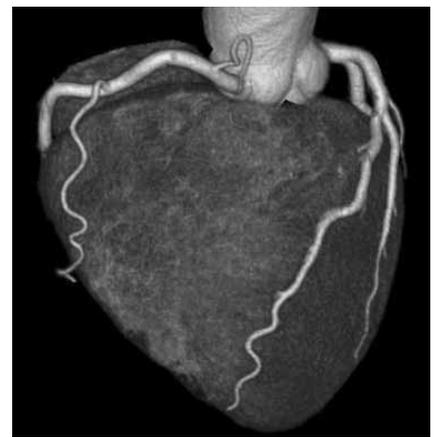
眼と鼻の高さの輪切り  
矢印部の鼻骨が骨折しています



左：膝の輪切り  
膝蓋骨が骨折しています



右：膝の3D画像  
膝蓋骨に縦と斜めの骨折線が認められます



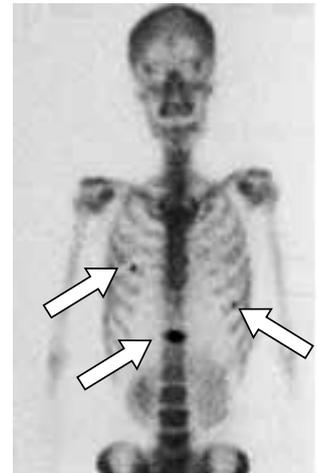
心臓の3次元立体画像  
心臓を栄養している血管(冠状動脈)がよくわかります

## 核医学 (RI) 検査

核医学検査では、からだの特定の臓器や病気場所に集まりやすい物質に放射線を放出する物質(放射性同位元素)を付けて標識した薬(放射性医薬品)を静脈注射、服用または吸入によって体内に入れて、その薬が目的の臓器に集まった状態を画像化し観察します。これにより、病変を検索することや目的臓器にその薬が取り込まれて排出されていく様子を解析して病態を調べます。また、体内に入った薬からは、極微量の放射線が出ますがその効果は、時間とともに減衰し体外へ排出されていきます。また副作用も非常に少なくその安全性は確立されています。

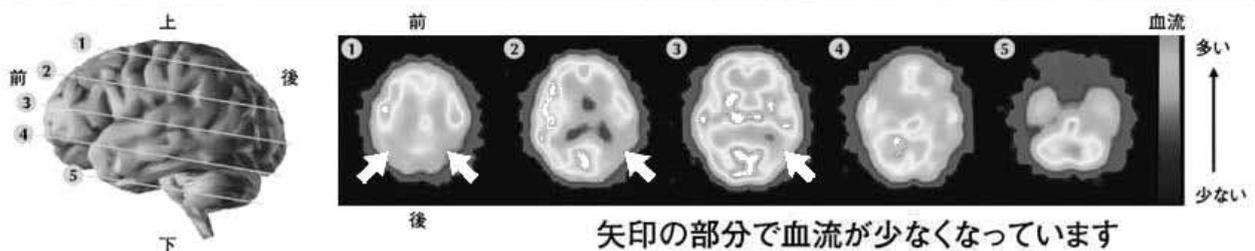
右の図は、骨シンチグラフィと呼ばれる検査で骨の活性化のある場所に集まる薬を静脈注射してγ(ガンマ)カメラという装置を用いて画像化したものです。主に骨の炎症や骨折、骨疾患の治療で用いられる薬の効果の程度を調べることを目的としておこなわれています。

下の図は、脳血流シンチグラフィ(脳血流 SPECT 検査)と呼ばれる検査で脳内に流れ込む血液の状態や脳のはたらきをみるために用いられます。この検査では、脳を輪切りにした状態の断層画像を観察することにより、早期の脳血管障害の検出や神経症状の責任病巣の検出、または脳の機能の評価に有効といわれています。



左右対称な部分は正常。この場合左右の肋骨と第12胸椎(矢印)に病変が確認されます。

### 脳血流SPECT画像



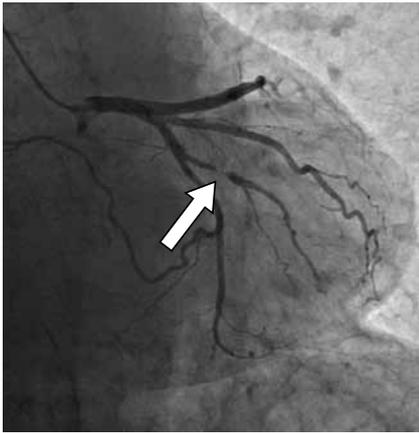
核医学検査には、この他にも心筋シンチグラフィやPET検査など色々な種類の検査が数多くあります。また、核医学検査の特徴としましては、CT検査やMRI検査では、臓器などの「形態」を主として観察しているのに対しこの検査では臓器などの「機能」を主として観察しているところです。このためCT検査やMRI検査などの検査と核医学検査と重ねて検査することにより、より詳しく病態を知ることが出来るため、総合画像診断の一画としてこの核医学検査は利用されています。

画像提供：日本メジフィジックス

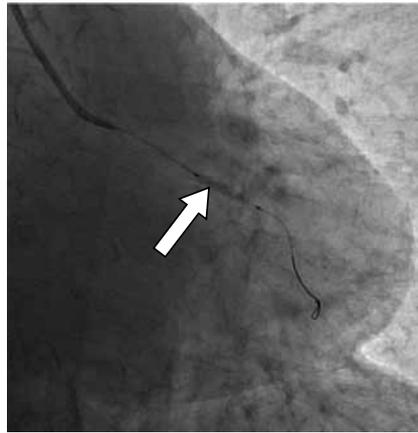
## Angio (心臓カテーテル・脳アンギオ・腹部造影) 検査

血管内に管(カテーテル)を挿入し、心臓や脳まで持って行き造影剤というX線を通さない液体を流すと血管の内空が映し出されます。もし血管が細くなっている(狭窄がある)ならば造影剤の通りも悪くなり、詰っている(閉塞がある)と造影剤がその部分より先に通りません。そうして心臓を栄養している血管(冠状動脈)や脳内の血管、胸腹部の血管の異常を調べるのがアンギオ検査です。

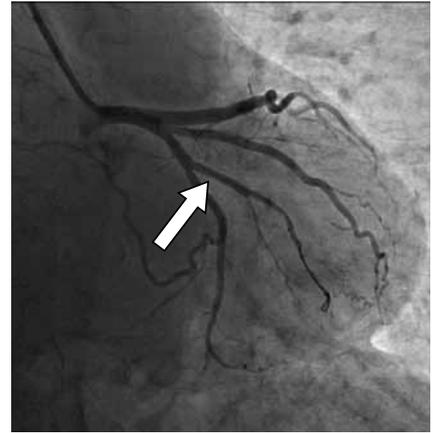
異常があれば治療を行う場合もあります。血管の中から風船(バルーン)を膨らませると細くなっている部分が広がり、血流がスムーズになります。血管の内腔に金属の格子の筒(ステント)を入れて血管を補強すると再狭窄が起こりにくくなります。



心臓の冠状動脈に狭窄があります。

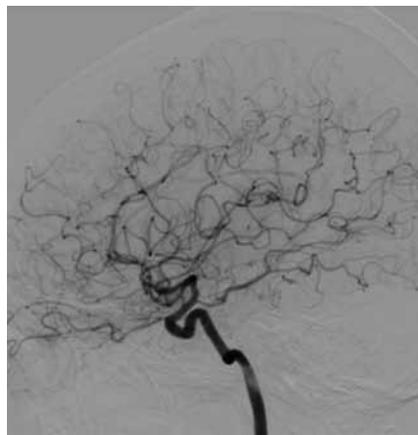


ステントという網目状の筒を血管の内腔に広げます。



血管の狭窄は解消されています。

動脈の梗塞や出血がただちに身体に重要な影響を及ぼす部位は心臓と脳です。上記は心臓の検査・治療の紹介ですが、首の動脈まで管(カテーテル)を挿入し造影剤を流すと脳内の動脈の状態が観測できます。左図は首の動脈から造影剤を流したときに頭を側面と正面から観測した写真です。大脳を栄養している血管が映し出されています。狭窄(血管のつまり)や拡張が存在するならば、薬剤を注入したり、人工物をいれて補強したりします。



頭部側面像  
図の左が顔面側です



頭部正面像  
首の左側の動脈から造影剤を流しています

この他、腹部、上肢や下肢の血管の病変の検査と治療も行います。

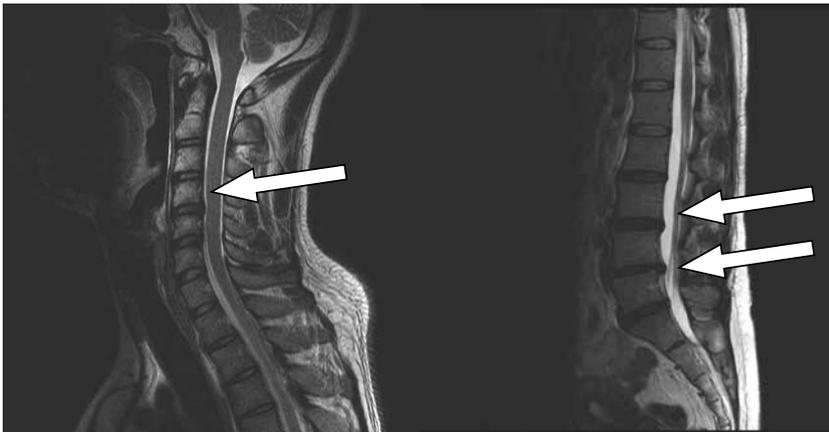
これらの検査・治療は医師が行いますが、X線装置を使用しますので放射線技師が携わっており、機器の管理も行っております。

## MR 検査

核磁気共鳴(MR)検査とは、強力な磁力を使用する検査です。人体の中には水分を始め、脂肪や血液として水素原子が存在します。そこへラジオ波を当てると変化が起き、その変化を検出して画像化しています。

MRI 検査では、質的な変化と形態的な変化を観ることができます。例えば、腰椎椎間板や脳、肝臓や腎臓、X線写真でわかりづらい骨折などを調べられます。また脳内や頸部、身体の血液の流れも調べられ、血管の狭窄や瘤(膨張)の存在を造影剤を使用せずに(CT 検査では血管の状態は造影剤を用いないとわかりません)調べられます。

放射線を使用していないので、この後に紹介しますエコー検査と同様に人体には無害な検査のひとつです。



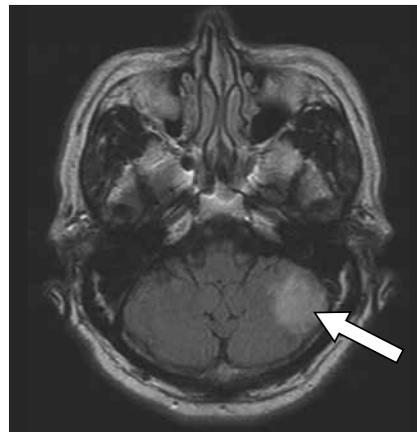
左が頸椎縦切り 右が腰椎縦切り  
どちらも矢印部に軽度の椎間板ヘルニアを認めます



脳内の血管 (MRA)  
CTでは造影剤を使わないと血管の状態がわかりませんが、MRでは薬を使わずに調べられます



女性骨盤内輪切り  
卵巣のう胞があります



脳輪切り  
小脳に腫瘍を認めます



顔面を正面から見た図です  
舌の下に水泡(矢印)を認めます

## 超音波(エコー) 検査

音は人体の中も通過します。その音の反射を画像化したものがエコー検査です。音(音波)を使用していますので、MR 検査と同様に人体には無害です。妊婦のお腹にエコーを当てて胎児の発育状態や健康具合、性別を調べるのは皆様ご存知かと思います。

脳以外の血管の状態や内臓、リンパ、心臓などを対象に検査します。

## －治療－

### 放射線治療

診療放射線技師は主に検査を行う免許ですが、中には治療行為もできます。それが「放射線治療」です。みなさんご存知の通り、放射線は身体に悪影響があります。しかしそれは過度の放射線であり、ある一定以下の量だと影響はないとされています。我々放射線技師が医療で使う放射線はできるだけ少量ですむように考慮しながら使用しています。

悪影響があるというのは腫瘍にとっても同じことです。つまり腫瘍に対して過度に、正常組織にはできるだけ少なくなるように放射線を照射すると、体内にある腫瘍でも身体を切らずに治すことができるわけです。

最初に専門の医師が使用する放射線の種類と量を決め、それを診療放射線技師が決められた方法と日程で照射します。

## －画像管理－

最近の画像診断部門で作成された画像は施設内サーバーに蓄積されていき、それを診察室で医師が画像モニター上で見て診断をします。最近の医療機器の進歩はめざましく、日々膨大な量の画像がサーバーに蓄積されていきます。大きな大学病院になるとサーバー室だけで30畳ほどの広さがあり、そこにサーバーユニットが10台以上、冷房装置が5台ほど置かれているのも現代では珍しくありません。

その画像管理をするのも、昔から画像を扱っている診療放射線技師の仕事です。

## －機器管理－

医療分野の機器は日進月歩で進化しています。さらに新たな機器もどんどんと開発され、昔には存在していなかった装置が数多く導入されています。そのような機器の信頼性を保つには保守整備が必要です。日本放射線技師会では認定試験を実施し、合格したものに放射線機器管理士という認定を与えています。

現代ではレントゲン博士が撮った手の写真で使用した100分の1以下の量で撮影しています。さらに普通の写真の主流が35mmフィルムからデジタルカメラになったように、X線写真でもデジタル化されるようになりつつあります。そしてフィルムとして現像していたのを、現在では画像モニターでデジタルX線写真を観る施設も増えてきています。

画像モニターで簡単にX線写真を観られるようになって、その写真の質は撮影した者によって決まります。どの程度のX線量を使用するのか。撮影する部位をどのような角度に位置づけするのか。同じ場所にあっても「肺」と「肋骨」では撮影条件が違い、それによって見え方も変わってくるのです。これはX線写真がデジタルになっても同じです。それは撮影者である「診療放射線技師」の腕にかかっているわけです。私たち「診療放射線技師」は国から認められた学校で3年以上の修習に励み、国家試験である「診療放射線技師国家試験」に合格した者だけに与えられる資格です。

# 放射線

なんでも

# Q&A

日ごろよく耳にする質問を取り上げてみました。  
あなたの素朴な質問の回答があるかも!!

Q  胸部のX線写真を撮るときに、  
何故息を吸って止めるのでしょうか？

A  息を吸い込まなくてもX線写真は写りますが、息を吸い込むと肺に空気が入って肺が広がり気管支、血管など肺内の構造が見やすくなり、よりの確な診断ができます。また、息を止めるのは動きによって写真がボケないようにするためです。

Q  X線検査の時何故脱衣をするのでしょうか？

A  衣服を着ているとボタン・アクセサリーなどの影が写って病巣が隠れたり、診断の邪魔になります。最近ではエレキバン・使い捨てカイロ・アイロンプリント等の影響もでてきています。また、姿勢や位置を正しくし、より良い検査を行うために患者様に脱衣をお願いしています。

Q  X線検査は月に何回ぐらいなら大丈夫ですか？

A  診断、治療をするときは、何回か申し上げられませんが、一回に受ける放射線の量はごくわずかですので妊娠している婦人以外は、まず心配いりません。人体が放射線量 1,000 ミリシーベルトを超える量を受けると白血病やガンになる可能性が生ずるということが判っています。逆にこれ以下では人体にガンが発生したという確証はありません。一般に胸のX線写真一枚で約 0.1 ミリシーベルトの量ですので、約 1 万回検査を受けないと 1,000 ミリシーベルトの量になりませんので心配しなくても良い放射線量だということがお判りになると思います。

Q  **小児股関節写真を撮っても子供に影響ありませんか？**

A  小児股関節 X 線検査は、診断できる範囲内で、生殖腺の被曝を少なくするための努力がなされていますので殆ど影響はありません。この検査を受けることによる生殖腺の被曝線量は、男子では 0.002 ミリシーベルト、女子では 0.001 ミリシーベルトです。私たちは 1 年間に自然放射線を 2 ミリシーベルト受けていますので、この被曝と比較すると十分安全であることが判ると思います。

Q  **放射線による利益と危険は？**

A  医療では患者さんの利益が十分大きいと予想される場合にのみ放射線を使用していますので、X 線検査等は安心して受けてください。不安な場合は検査を受ける前に医師または診療放射線技師に相談してください。



Q  **毎年、胃や胸部の集団検診を受けていますが、大丈夫ですか？**

A  結論からいえば、心配いりません。集団検診は病気の早期発見・予防という立場から重要な検査です。集団検診の利害は受ける年齢により異なり、高年齢になるほどメリットが大きく損失が少なくなっていくます。利益が損失の 3 倍になるという目安でいくと約 40 歳以上からになります。しかし、1980 年の資料によると、100 万人が胸部検診を受けて、肺ガンが 200~300 人程度、肺結核が 300 人程見つかり又、胃検診では 100 万人に対して胃ガンが 1,000 人（消化管腫瘍等は 1 万人）程度見つかり、それに対して、検診を受けて白血病やガンになる可能性は、100 万人に対して胸部検診で 1.4 人、胃検診で 20 人程度と考えられますが、検診を受けなくても白血病は 1 年間で 100 万人に 70 人程度発生しており、その他のガンを含めるともっと多くの人がなれると考えられます。よって検診がどれだけ有用で安全なものかお判り頂けると幸いです。

# 平成 22年度 事業計画書

## 1. 総括

平成 21 年度の事業につきましては、会長就任 4 年目の年ではありましたが会員諸氏の協力を頂き無事終えることができました。

今年度も引き続き生涯教育セミナー「X 線 CT 検査」「MR 検査」をはじめ各種セミナーや被曝・機器管理講習会を積極的に行い、救急医療では京都市消防局などの協力を得て上級救命講習の新規及び更新を基に開催していただきます。又、学術研修会では公開講座を含め放射線技師の府民への関わりを強くアピールしていきたいと考えています。昨年 12 月に監督官庁からの新公益法人に向けて定款・会計を含め監査・指導がなされ、定款に関しては会長（代表理事）選任方法や退会・除名に関して、さらに財務会計の書き方などいろいろと指導を受けました。

本年はいよいよ新法人の最終段階を向え、新定款や諸規定の見直し、財務の仕分けをしなくてはならず、委員会もフルに動かなくてはならないと思っています。会員はもちろんのこと府民及び診療放射線技師にとってよりよい技師会を目指すのは勿論のこと事業の内容も府民の目線に立ったものを目指します。

以上のように厳しい状況ではありますが鋭意努力をして各事業の計画を出来るだけ早い時期から会員にお知らせし、参加していただけるようにと考えます。会員一人一人の参加が活力と思いますのでご協力のほどお願いします。

## 2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

(1) 例年通り、京都パルスプラザにて開催予定の「第 37 回くらしと健康展」へ主催者団体の一員として積極的に参加し、京都府民に放射線医療の啓蒙と放射線を利用した検査と治療に関わる悩みの相談や診療放射線技師の業務内容の理解と存在を直接アピールしていきたい。『放射線なんでも相談コーナー』では、相談内容は従来の医療被曝だけでなく『マンモグラフィ』『PET』等時代の流れに沿う質問もあり、最新の知識を広報する必要があると考えます。さらに、府民の皆様幅広く放射線技師業務

を理解していただくために、放射線管理士委員会に啓蒙活動を依頼・連携し、情報委員会の協力を得てホームページ上に逐次関連事項を掲載し、当法人の存在及び活動の強化を会員だけでなく一般の人々にも社会性や公益性を案内し広く情報公開をしていきたい。他には、他団体との連携を強化し、府下のさまざまな機会をとおして講演活動を積極的に行いたい。

(2) ピンクリボン運動などの関連団体事業にも積極的に協力し、さらに、行政（京都府）が開催します放射線（原子力関係）に関する安全訓練・講習会などにも、診療放射線技師の派遣を行い、地位向上を目指したい。また、無資格者による放射線技師業務の防止については、関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、京都府市民が安心して放射線診療を受けられるよう協力を求めている。

(3) 「第 45 回京都病院学会」については、今年度も実行委員・座長を送り積極的に協力したい。また、会員が放射線技術向上への研究発表ができる場として利用することにより、他団体との交流の場として広報したい。

組織調査活動について、各会員施設及び学校へ新卒者の京都府下への就職先リスト調査を依頼し、厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催すると同時に技師会への入会を推進したい。また、会員間の求心力の向上、各地区委員の活性化に向けて全地区委員会を開催し、委員の意見集約を行い技師会の事業推進への協力を促す。さらに、会員への調査事業を活発にするとともに、各地区委員会へ三役とともに参加をして問題点を洗い出し把握して活性化に役立てたい。そして、若い会員の意見の導入を積極的に行い、会の活性化に努め、調査に関しては今会員が何を求め、何を知りたいかを把握した上で事業を推進していきたい。

## 3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動について、京都府放射線技師会の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を

目指し、会員が望む生涯学習教育および会員相互の情報交換のできる研修会を基本に各関係団体の協力も得ながら行いたい。今年度も引き続き（社）日本放射線技師会主催の生涯教育セミナー・講習会の開催（他府県との合同）もできるだけ行なう。月例研修会を基本とするが、内容は専門的なものから一般的な話題も取り入れ、府民向けの一般公開講座も試みる。この研修会は惹いては府民市民に還元されるものとする。

(1) 京都市内会場

特に開催月は決めず、土曜日を基本に年6回程度とする。但し、時間的余裕(3時間)のある研修会や夜間、日曜日開催も考える。

(2) 両丹地区会場

春・夏・秋・冬季研修会予定（夏は一泊研修会）

(3) 日本放射線技師会主催セミナー・講習会

その都度開催予定

(4) その他

上級救命講習会（年1回）

\* 研修会は会員無料、非会員は有料とする。

管理士活動について、管理士会の事業の推進を図るとともに、「くらしと健康展」や講習会(研修)計画、ポスターやリーフレット作成、放射線に関する実態調査など教育・編集・調査の三分野を充実させたい。さらに、原子力関係の講習会や訓練・緊急被曝フォーラムなどに積極的に参加し、他府県の放射線管理士部会と交流も行っていきたい。

#### 4. 情報事業（編集・情報）

編集活動について、「京放技ニュース」は毎月1日発行としたい。「京放技ニュース」は会員に対して最新情報を提供・会員相互の意見交換の一つでありますので、積極的な記事をたくさん投稿していただきたい。また、各委員会との連携を強め、充実した紙面と長期計画の掲載を考えながら、ニュースのあり方を問うていきたい。また、「年報」については年度末に1回発行するが、今までとは違い内容は府民をはじめ誰が読んでも参考になるものとする。

情報活動については、京放技・日放技関係の記事をインターネットを通じて広報し、会員に対して迅速な情報提供を行い、会員の交流や教育を深めるこ

とを目的とし会員からの投稿記事の掲載を行うなどさらに整備したい。会員専用ページで、年報をはじめ各種会員の資料を掲載し非会員と区別を行う。さらに、会員が認定されている放射線管理士、放射線機器管理士、医用画像情報管理士、臨床実習指導教員、CT・MR検査国際認定などをそれぞれの内容と会員氏名・所属施設名を本人同意を得た上でホームページへの公表を検討しています。また、新公益法人制度に対応できる内容に変更するとともに、京都府民に対して公益法人としての役割を十分に果たすよう様々な情報提供を行ない、放射線に関する質問に関しても活用して頂けるよう広報し、正確かつ迅速に答えられるようにしたい。さらに、診療放射線技師の業務を理解していただく為、各委員会と連携を深めることに努めたい。

#### 5. 厚生事業

厚生活動について、会員相互の親睦を図るための重要な事業であることから、懇親を深める事業の計画をしたい。野球・囲碁では優勝を目指して取り組みます。また、フレッシュ診療放射線技師の集い、新年会は例年通り開催します。

#### 6. その他

(1) 新公益法人への移行（公益法人委員会）

平成 23~24 年に移行申請予定であるが、それに伴い監督官庁の指導を受けながら定款改正・財務見直しなどを行っていきます。

(2) 表彰関係

昨年度の実績を踏まえて、個人（会員）・団体に対する表彰を積極的に行いたい。

# 平成22年度 予 算 書

社団法人 京都府放射線技師会

## 収支予算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

| 科 目         | 一 般 会 計   | 運営基金特別会計  | 合 計       |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| I 事業活動収支の部  |           |           |           |
| 1.事業活動収入    |           |           |           |
| 基本財産運用収入    | 3,500     | 0         | 3,500     |
| 会 費 収 入     | 5,965,000 | 0         | 5,965,000 |
| 事 業 収 入     | 800,000   | 0         | 800,000   |
| 補 助 金 等 収 入 | 90,000    | 0         | 90,000    |
| 寄 付 金 収 入   | 10,000    | 1,000     | 11,000    |
| 雑 収 入       | 2,000     | 300       | 2,300     |
| 特定預金取崩収入    | 0         | 0         | 0         |
| 繰 入 金 収 入   | 0         | 0         | 0         |
| 事業活動収入合計    | 6,870,500 | 1,300     | 6,871,800 |
| 2.事業活動支出    |           |           |           |
| 事 業 費       | 3,825,000 | 0         | 3,825,000 |
| 管 理 費       | 3,594,000 | 0         | 3,594,000 |
| 特定預金積立金     | 0         | 0         | 0         |
| 事業活動支出合計    | 7,419,000 | 0         | 7,419,000 |
| 事業活動収支差額    | △ 548,500 | 1,300     | △ 547,200 |
| II 投資活動収支の部 |           |           |           |
| 固定資産取得費     | 0         | 0         | 0         |
| 投資活動支出計     | 0         | 0         | 0         |
| III 予備費支出   | 251,500   | 0         | 251,500   |
| 当期収支差額      | △ 800,000 | 1,300     | △ 798,700 |
| 前期繰越収支差額    | 800,000   | 1,040,000 | 1,840,000 |
| 次期繰越収支差額    | 0         | 1,041,300 | 1,041,300 |

## 運営基金特別会計 収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

| 科 目                 | 予 算 額     | 前年度予算額    | 増 減    | 備 考          |
|---------------------|-----------|-----------|--------|--------------|
| I 運営基金特別活動収支の部      |           |           |        |              |
| 1.特別事業活動収入          |           |           |        |              |
| ①寄付金収入              |           |           |        |              |
| 寄付金収入               | 1,000     | 1,000     | 0      |              |
| ②雑収入                |           |           |        |              |
| 受取利息                | 300       | 300       | 0      |              |
| 当期活動収入合計(A)         | 1,300     | 1,300     | 0      |              |
| 2.特別事業活動支出          |           |           |        |              |
| ①繰入金支出              | 0         | 0         | 0      |              |
| 当期活動支出合計(B)         | 0         | 0         | 0      | 一般会計繰入金収入へ繰入 |
| 当期収支差額(A)-(B)       | 1,300     | 1,300     | 0      |              |
| 前期繰越収支差額(C)         | 1,040,000 | 1,030,000 | 10,000 |              |
| 次期繰越収支差額(A)-(B)+(C) | 1,041,300 | 1,031,300 | 10,000 |              |

一般会計 収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

| 科 目           | 予 算 額     | 前年度予算額    | 増 減       | 備 考                            |
|---------------|-----------|-----------|-----------|--------------------------------|
| I 事業活動収支の部    |           |           |           |                                |
| 1. 事業活動収入     |           |           |           |                                |
| ① 基本財産運用収入    | 3,500     | 3,500     | 0         |                                |
| 基本財産利息収入      | 3,500     | 3,500     | 0         |                                |
| ② 会 費 収 入     | 5,965,000 | 6,195,000 | △ 230,000 | (会員504名 新入会20名)<br>25,000円×29社 |
| 正会員会費収入       | 5,240,000 | 5,470,000 | △ 230,000 |                                |
| 賛助会員会費収入      | 725,000   | 725,000   | 0         |                                |
| ③ 事 業 収 入     | 800,000   | 850,000   | △ 50,000  |                                |
| 広 告 料 収 入     | 800,000   | 850,000   | △ 50,000  |                                |
| ④ 補 助 金 等 収 入 | 90,000    | 90,000    | 0         |                                |
| 地方公共団体補助金収入   | 90,000    | 90,000    | 0         |                                |
| ⑤ 寄 付 金 収 入   | 10,000    | 10,000    | 0         |                                |
| 寄 付 金 収 入     | 10,000    | 10,000    | 0         |                                |
| ⑥ 雑 収 入       | 2,000     | 3,500     | △ 1,500   |                                |
| 受 取 利 息       | 1,000     | 1,500     | △ 500     |                                |
| 雑 収 入         | 1,000     | 2,000     | △ 1,000   |                                |
| ⑦ 特定預金取崩収入    | 0         | 0         | 0         |                                |
| 特 別 事 業 積 立 金 | 0         | 0         | 0         |                                |
| ⑧ 繰 入 金 収 入   | 0         | 0         | 0         |                                |
| 繰 入 金 収 入     | 0         | 0         | 0         |                                |
| 事業活動収入合計(A)   | 6,870,500 | 7,152,000 | △ 281,500 |                                |
| 2. 事業活動支出     |           |           |           |                                |
| ① 事 業 費       | 3,825,000 | 4,100,000 | △ 275,000 |                                |
| 会 誌 費         | 1,450,000 | 1,800,000 | △ 350,000 |                                |
| 印 刷 製 本 費     | 1,400,000 | 1,700,000 | △ 300,000 |                                |
| 通 信 運 搬 費     | 50,000    | 100,000   | △ 50,000  |                                |
| 研 修 会 費       | 1,090,000 | 910,000   | 180,000   | 両丹春夏秋冬季研修・市民公開<br>講座等含         |
| 会 場 費         | 440,000   | 300,000   | 140,000   |                                |
| 講 師 費         | 250,000   | 210,000   | 40,000    |                                |
| 組 織 費         | 400,000   | 400,000   | 0         |                                |
| 調 査 研 究 費     | 415,000   | 520,000   | △ 105,000 | 全地区委員会含                        |
| 函 書 費         | 100,000   | 100,000   | 0         |                                |
| 福 利 厚 生 費     | 5,000     | 10,000    | △ 5,000   |                                |
| 各 委 員 会 費     | 310,000   | 410,000   | △ 100,000 | 近畿野球・囲碁大会含                     |
| 学 術 集         | 715,000   | 715,000   | 0         |                                |
| 編 集 費         | 60,000    | 60,000    | 0         |                                |
| 広 報 渉 外 費     | 130,000   | 130,000   | 0         |                                |
| 組 織 調 査 費     | 15,000    | 15,000    | 0         |                                |
| 管 理 士 会 費     | 70,000    | 70,000    | 0         | 放射線管理士会                        |
| 厚 生 報 告 費     | 80,000    | 80,000    | 0         |                                |
| 情 報 報 告 費     | 20,000    | 10,000    | 10,000    |                                |
| 特 別 区 費       | 50,000    | 60,000    | △ 10,000  |                                |
| 地 区 費         | 80,000    | 80,000    | 0         | 表彰、新公益法人<br>7地区                |
| 210,000       | 210,000   | 0         |           |                                |
| 広 報 渉 外 費     | 100,000   | 110,000   | △ 10,000  |                                |
| くらしと健康展       | 100,000   | 110,000   | △ 10,000  |                                |
| 70,000        | 80,000    | △ 10,000  |           |                                |
| プライマリ・ケア協議会   | 0         | 0         | 0         |                                |
| 関 連 団 体 費     | 30,000    | 30,000    | 0         |                                |
| I T 関 連 費     | 50,000    | 35,000    | 15,000    | ホームページ充実費                      |
| 事 業 雑 費       | 5,000     | 10,000    | △ 5,000   |                                |

| 科 目                     | 予 算 額     | 前年度予算額    | 増 減       | 備 考               |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|-------------------|
| ② 管 理 費                 | 3,594,000 | 3,635,000 | △ 41,000  |                   |
| 人 件 費                   | 1,050,000 | 1,051,000 | △ 1,000   |                   |
| 給 料 手 当                 | 930,000   | 930,000   | 0         |                   |
| 通 勤 交 通 費               | 110,000   | 110,000   | 0         |                   |
| 法 定 福 利 費               | 10,000    | 11,000    | △ 1,000   | 雇用保険料             |
| 福 利 厚 生 費               | 0         | 60,000    | △ 60,000  | 渉外費に移行            |
| 会 議 費                   | 740,000   | 690,000   | 50,000    |                   |
| 理 事 会 費                 | 330,000   | 330,000   | 0         |                   |
| 各 委 員 会 費               | 260,000   | 230,000   | 30,000    | 庶務(17万5千)財務(8万5千) |
| 役 員 活 動 費               | 150,000   | 130,000   | 20,000    | 会長、副会長活動費等        |
| 総 会 費                   | 65,000    | 70,000    | △ 5,000   |                   |
| 開 催 費                   | 15,000    | 20,000    | △ 5,000   |                   |
| 準 備 費                   | 50,000    | 50,000    | 0         |                   |
| 租 税 公 課                 | 90,000    | 90,000    | 0         |                   |
| 諸 税                     | 90,000    | 90,000    | 0         |                   |
| 負 担 金 支 出               | 80,000    | 90,000    | △ 10,000  |                   |
| 旅 費 交 通 費               | 230,000   | 245,000   | △ 15,000  |                   |
| 理 事 会 旅 費               | 230,000   | 245,000   | △ 15,000  |                   |
| 需 要 費                   | 590,000   | 610,000   | △ 20,000  |                   |
| 通 信 費                   | 60,000    | 60,000    | 0         |                   |
| 電 話 料                   | 170,000   | 180,000   | △ 10,000  |                   |
| 消 耗 品 費                 | 180,000   | 180,000   | 0         |                   |
| 光 熱 水 料 費               | 140,000   | 150,000   | △ 10,000  |                   |
| 印 刷 費                   | 40,000    | 40,000    | 0         |                   |
| 消 耗 什 器 備 品 費           | 30,000    | 30,000    | 0         |                   |
| リ ー ス 料                 | 9,000     | 9,000     | 0         |                   |
| 事 務 所 管 理 費             | 490,000   | 490,000   | 0         |                   |
| 事 務 所 管 理 費             | 467,880   | 467,880   | 0         | 事務所・会議室           |
| 事 務 所 火 災 保 険 料         | 22,120    | 22,120    | 0         |                   |
| 渉 外 費                   | 140,000   | 120,000   | 20,000    | 慶弔費含              |
| 管 理 雑 費                 | 80,000    | 80,000    | 0         |                   |
| ③ 特 定 預 金 積 立 金         | 0         | 0         | 0         |                   |
| 特 別 事 業                 | 0         | 0         | 0         |                   |
| 備 品 購 入                 | 0         | 0         | 0         |                   |
| 事 務 所 整 備               | 0         | 0         | 0         |                   |
| マ ン シ ョ ン 改 修           | 0         | 0         | 0         |                   |
| 事業活動支出合計(B)             | 7,419,000 | 7,735,000 | △ 316,000 |                   |
| 事業活動収支差額(A)-(B)         | △ 548,500 | △ 583,000 | 34,500    |                   |
| II 投資活動収支の部             |           |           |           |                   |
| 1. 投資活動支出               |           |           |           |                   |
| 固 定 資 産 取 得 費           | 0         | 0         | 0         |                   |
| 事 務 所 購 入 費             | 0         | 0         | 0         |                   |
| 什 器 備 品 購 入 費           | 0         | 0         | 0         |                   |
| 投資活動支出合計(C)             | 0         | 0         | 0         |                   |
| III 予備費(D)              | 251,500   | 250,000   | 1,500     |                   |
| 当期収支差額(A)-{(B)+(C)+(D)} | △ 800,000 | △ 833,000 | 33,000    |                   |
| 前期繰越収支差額                | 800,000   | 833,000   | △ 33,000  |                   |
| 次期繰越収支差額                | 0         | 0         | 0         |                   |

(注)借入金限度額 1,000,000円  
債務負担金 10,000,000円

【 オプチレイ<sup>®</sup>は、  
コヴィディエン ジャパンの造影剤です。 】



Optiray<sup>®</sup>

世界69カ国で販売しております。

「タイコ ヘルスケア ジャパン株式会社」は、「コヴィディエン ジャパン株式会社」に社名を変更いたしました。

非イオン性造影剤〈イオベルソール注射液〉処方せん医薬品<sup>®</sup> ※注意—医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載

オプチレイ<sup>®</sup> 160注 50・100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 240注 シリンジ 100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 240注 100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 320注 シリンジ 40・50・75・100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 320注 20・50・75・100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 350注 シリンジ 50・100mL

オプチレイ<sup>®</sup> 350注 20・50・100mL

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については最新の添付文書をご参照ください。

製造販売元

コヴィディエン ジャパン株式会社

医薬品事業部

〈資料請求先〉〒158-0097 東京都世田谷区用賀2-39-11  
フリーコール 0120-011-602



COVIDIEN

positive results for life<sup>®</sup>



# Iomeron

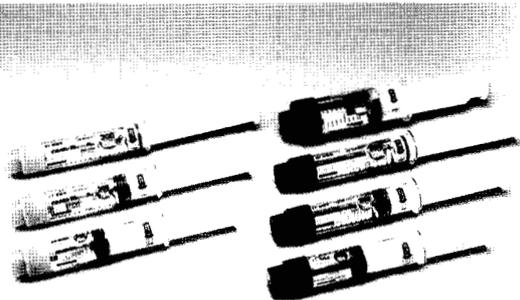
処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性造影剤

**イオメロン**® 300 注 20mL/50mL/100mL  
350 注 20mL/50mL/100mL  
400 注 20mL/50mL/100mL

【薬価基準収載】

〈イオメプロール注射液〉



処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性造影剤

**イオメロン**® 300 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL  
350 注 シリンジ 50mL/75mL/100mL/135mL

【薬価基準収載】

〈イオメプロール注射液〉

# ProHance®

処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 【薬価基準収載】

**プロハンス**® 静注 5mL/10mL/15mL/20mL

〈ガドテリドール注射液〉

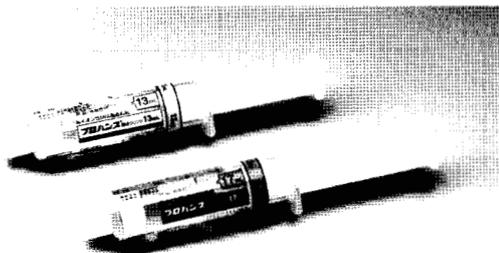


処方せん医薬品：  
注意—医師等の処方せんにより使用すること

非イオン性MRI用造影剤 【薬価基準収載】

**プロハンス**® 静注シリンジ 13mL/17mL

〈ガドテリドール注射液〉



●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則禁忌を含む  
使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

商品情報お問い合わせ先：

エーザイ株式会社 お客様ホットライン  
☎0120-419-497 9～18時(土、日、祝日 9～17時)

製造販売元

  ブラッコ・エーザイ株式会社  
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

販売元

 エーザイ株式会社  
東京都文京区小石川4-6-10

提携先

 ブラッコ インターナショナル

CM1009M01

**Nemoto**

## The Ultimate Dual Injector

最適な造影検査への答え

DUAL SHOT GX V 誕生

NEW



**DUAL SHOT<sup>®</sup> GX V** fatv  
Contrast Delivery System

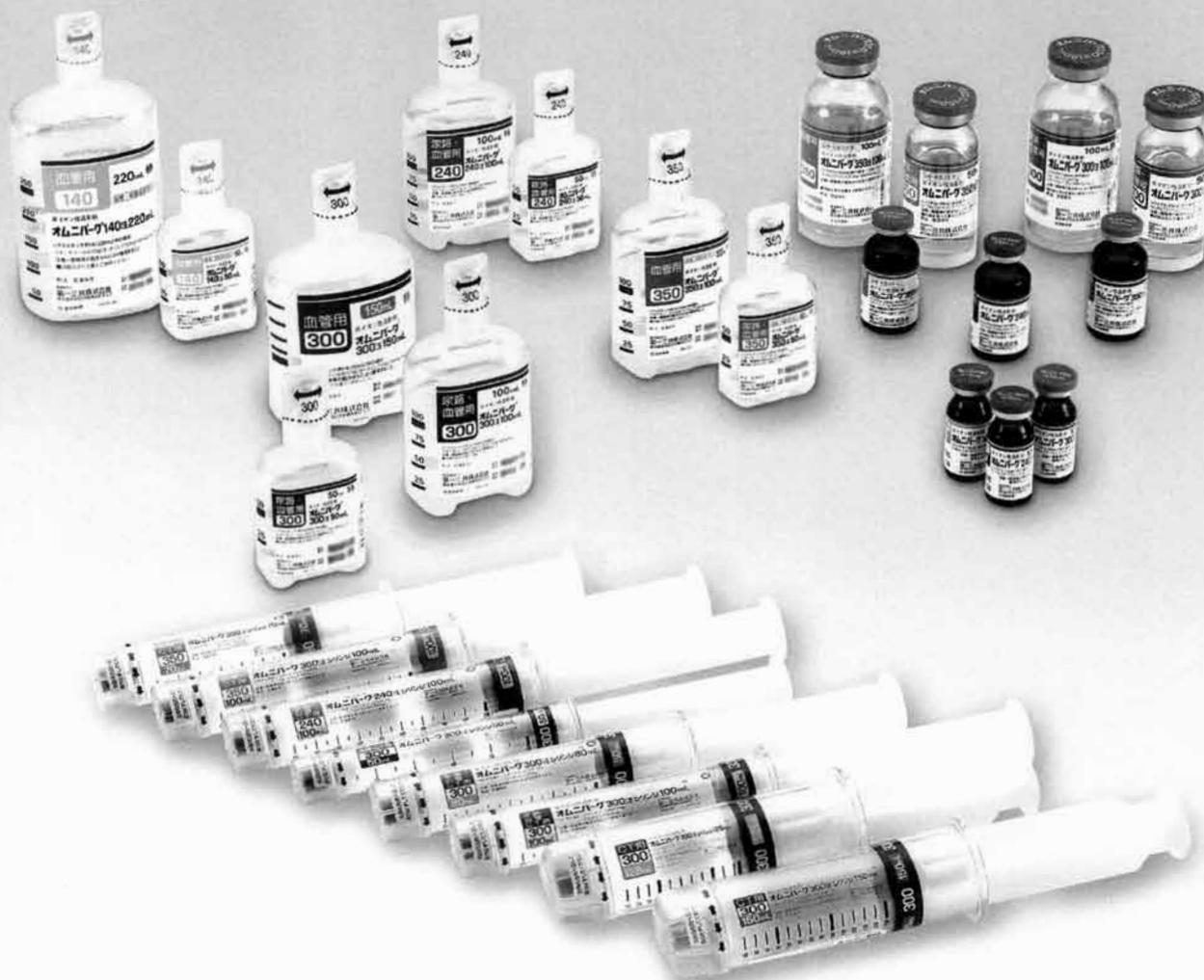
株式会社 根本杏林堂

東京都文京区本郷2-27-20 TEL.03-3818-3541

<http://www.nemoto-do.co.jp>



# OMNIPAQUE



## 非イオン性造影剤

処方せん医薬品\*

薬価基準収載

# オムニパーク®

OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

|                              |                     |  |   |                                      |
|------------------------------|---------------------|--|---|--------------------------------------|
| <b>140注</b><br>50mL<br>220mL | <b>180注</b><br>10mL | <b>240注</b><br>10mL 20mL<br>50mL 100mL               | <b>300注</b><br>10mL 20mL<br>50mL 100mL<br>150mL | <b>350注</b><br>20mL<br>50mL<br>100mL |
| <b>240注シリンジ</b><br>100mL     |                     | <b>300注シリンジ</b><br>50mL 80mL<br>100mL 125mL<br>150mL |   | <b>350注シリンジ</b><br>70mL 100mL        |

\*注意—医師等の処方せんにより使用すること

★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

- 140注(血管用) 50mL、220mL
- 240注(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL
- 300注(尿路・血管用) 20mL、50mL、100mL  
(血管用) 150mL
- 350注(尿路・血管用) 20mL、50mL  
(血管用) 100mL
- 240注シリンジ(尿路・血管・CT用) 100mL
- 300注シリンジ(尿路・CT用) 50mL  
(尿路・血管・CT用) 80mL、100mL  
(CT用) 125mL、150mL
- 350注シリンジ(血管・CT用) 70mL、100mL
- 180注(脳槽・脊髄用) 10mL
- 240注(脳槽・脊髄用) 10mL
- 300注(脊髄用) 10mL

製造販売元(資料請求先)



## 第一三共株式会社

Daiichi-Sankyo

東京都中央区日本橋本町3-5-1

# Wireless, Smart Operation

DR化への効率的なソリューション。  
すべての理想型がここに誕生しました。



Change for good -DRX-1

## 世界初のカセットDR、DRX-1 System誕生。

35x43cmの半切カセットと同じサイズなので、お持ちのカセットを交換するだけで簡単にDR化を可能にするCarestream DRX-1 System。ワイヤレスのため様々なポジショニングが楽にでき、画像データはすばやくそのまま無線で転送。スピーディー且つ効率的なソリューションがここに登場しました。



世界初のカセットサイズDR



既設のスタンド・ブッキー台に  
差し込むだけで、DRシステムへ



効率的なワークフローを実現するワイヤレス運用



ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-21-6 八丁堀NFビル ☎(03)5540-2260  
札幌 ☎(011)252-8072 名古屋 ☎(0561)64-2755 大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460  
ホームページ <http://www.carestreamhealth.jp>

Carestream   
HEALTH

HITACHI  
Inspire the Next

# マンモグラフィは あらたな次元へ。

乳腺構造の重なりを避けた  
高精細な画像で診断をサポート。  
あらたな次元へと進化した  
マンモグラフィ、登場です。

SELENIA  
**Dimensions**  
Digital Tomosynthesis System

トモシンセシス対応機器



販売名：デジタル式乳房X線撮影装置  
Selenia Dimensions  
医療機器認証番号：222ABBZX00177000

やさしさは、見える。  
Caring with High Definition

株式会社日立メディコ

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX URL [www.hitachi-medical.co.jp](http://www.hitachi-medical.co.jp)  
SeleniaはHOLOGIC社の登録商標です

FUJIFILM

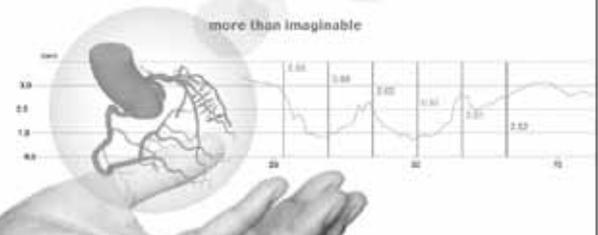
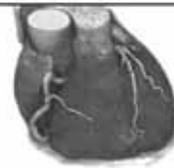
## SYNAPSEから、最も進んだ3D登場。

FUJIFILM独自の画像処理技術で高精度な  
自動抽出を実現し3Dの実用レベルを一気に  
引き上げました。解析フローに配慮した画面  
レイアウトでストレスのない直感的操作を実現。  
臨床ニーズに応える多彩なアプリケーション  
ソフトを揃え、診断・治療計画をサポートする  
実用性の高い解析機能を搭載しています。

標準販売名：富士医療診断ワークステーション FN-7941型 標準承認番号：ZE0008ZX00238000

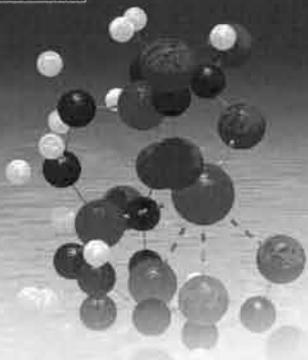


ボリュームアナライザ  
SYNAPSE **VINCENT**



「この画像」が、  
次の一手を決める。

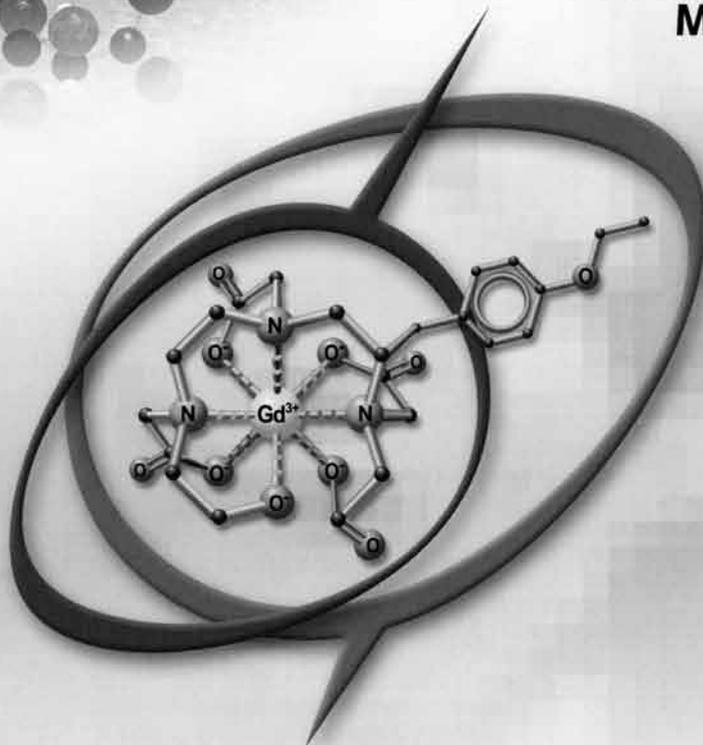
薬価基準収載



処方せん医薬品<sup>®</sup>

MRI用造影剤(ガドペンテト酸ジメグルミン注射液)

**マグネビスト<sup>®</sup>静注**  
**マグネビスト<sup>®</sup>静注シリンジ**  
**Magnevist<sup>®</sup>**



処方せん医薬品<sup>®</sup>

MRI用肝臓造影剤(ガドキセト酸ナトリウム注射液)

**EOB・プリモビスト<sup>®</sup>注シリンジ**  
**EOB-Primovist<sup>®</sup> Inj. Syringe**

■効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む  
使用上の注意等につきましては、添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

資料請求先

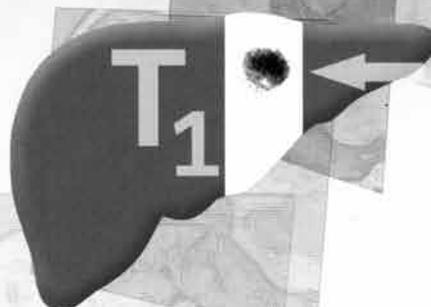
バイエル薬品株式会社  
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001  
<http://www.bayer.co.jp/byl>



Bayer HealthCare  
Bayer Schering Pharma

(2009年12月作成)

MAG-09-4001



# サーベイメータ・電子ポケット線量計

放射能汚染はないか、放射線のレベルはどのくらいか、どれだけ放射線を受けたか、それらは測定器で見ることができます。目的に応じた、豊富な機器をご用意しております。

## サーベイメータ

### 表面汚染測定用

$\beta$   
線測定用



TGS-131



TGS-146B



TCS-316H



TPS-313

$\gamma$   
線測定用



TCS-173C



TCS-175B

$\alpha$   
線測定用



TCS-232B

$\alpha$ ・ $\beta$   
線測定用



TCS-362

### 線量当量率測定用

$\gamma$  (X)  
線測定用



ICS-331B



ICS-323B

n  
線測定用



TPS-451C



TGS-131



TCS-171B



TCS-172B



PDR-101

## 電子ポケット線量計

$\gamma$  (X)  
線測定用



PDM-111



PDM-122

X  
線測定用



PDM-117

n  
線測定用



PDM-313

警報機能付



ADM-112



ADM-353B

$\gamma$ ・ $\beta$   
線測定用  
( $\sim 70\mu\text{m}$ 線量計)



EPD-101B

**アロカ株式会社** [www.aloka.co.jp](http://www.aloka.co.jp)

〒181-8622 東京都三鷹市牟礼6丁目22番1号 計測システム営業部 (0422)45-5131

横浜営業所(045)943-3431  
弘前営業所(0172)89-3456  
名古屋支店(052)805-2660  
神戸営業所(078)652-0708  
福岡支店(092)633-3131

千葉営業所(043)266-2411  
六ヶ所営業所(0175)71-0811  
静岡営業所(054)238-0167  
広島支店(082)292-0019  
鳥栖営業所(0942)87-9111

埼玉営業所(048)623-2501  
盛岡営業所(019)654-8065  
金沢営業所(076)240-8033  
岡山営業所(086)243-4981  
長崎営業所(095)862-3601

新潟営業所(025)241-8171  
郡山営業所(024)934-0023  
敦賀営業所(0770)25-4551  
松江営業所(0852)25-5649  
熊本営業所(096)370-5688

札幌営業所(011)722-2205  
水戸支店(029)255-1811  
大阪支店(06)4861-4888  
松山支店(089)969-6811  
鹿児島営業所(099)252-7007

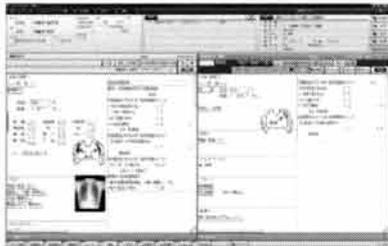
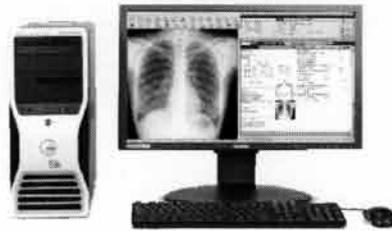
仙台支店(022)346-9520  
大熊営業所(0240)32-6581  
京都営業所(075)383-0030  
高松営業所(087)866-6012

# 島津が診療所をトータルサポート

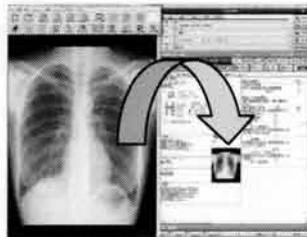
必要な機能をオールインワン

## SimCLINIC T3

【シムクリニック ティースリー】 無床診療所向け統合型電子カルテ



画面レイアウトはすっきりシンプル。直感的に操作が可能です。



抜群の操作性を誇るビューリンク。DICOMビューアとの完全連動を実現。

レセコンと電子カルテ、更にはDICOM画像ビューアを標準搭載しております。ワンクリックでカルテにキー画像を貼り付けられます。



多彩なカルテシートで簡単入力が可能です。



あらゆる検査にフレキシブルに対応

## FLEXAVISION

【フレクサビジョン】 デジタルX線テレビシステム



透視時にもタイミング撮影が可能なCRカセット速写機能を搭載しています。



100万画素CCDカメラ搭載。高精細フルデジタル画像をご提供。



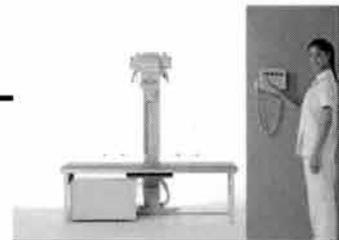
単純撮影に便利な島津独自の1.5m X線管球引延し機能を搭載。

## X'sy Pro

選ばれ続けるベストセラー

【エクスシー プロ】 汎用X線撮影装置

小さい・優しい・使いやすい(簡単入力)



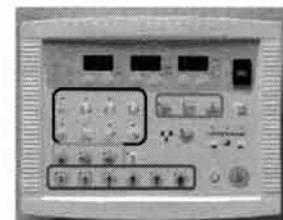
※CRを導入していただくことにより、デジタル化も行えます。



3畳 (2.7m×1.8m) あれば設置可能なコンパクト設計



天板がやわらかい素材を採用。患者様にもやさしい装置です。



条件設定はイラストが表示されているボタンを選ぶだけの簡単入力

私たちは、造影剤領域におけるジェネリック医薬品の  
リーディングカンパニーを目指します。

今日と明日のベストパートナー。



非イオン性尿路・血管造影剤 イオバミドール注射液 処方せん医薬品<sup>®</sup> 薬価基準収載

**オイパロミン<sup>®</sup>注**

**150/300/370/300シリンジ/370シリンジ**

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液 処方せん医薬品<sup>®</sup> 薬価基準収載

**イオパーク<sup>®</sup>注**

**300/350/240シリンジ/300シリンジ/350シリンジ**

MRI用造影剤 ガドペンテト酸ジメグルミン注射液 処方せん医薬品<sup>®</sup> 薬価基準収載

**ガドペンテト酸メグルミン静注液37.14%シリンジ[F]**

**5mL / 10mL / 13mL / 15mL / 20mL**

注)：注意—医師等の処方せんにより使用すること。

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照下さい。

ひとりひとりの笑顔に応えたい。



[資料請求先]

**富士製薬工業株式会社**

東京都千代田区紀尾井町3番19号

<http://www.fujipharma.jp/>

被ばく線量管理のために  
放射線診断用線量計

Radcal®

高性能・高精度を、シンプルな操作で。  
高度医療をサポートする  
RADCAL社の放射線診断用測定器

ACCU-PRO放射線測定システムは、線量測定機能に加え、kV/mA/mAs測定機能も搭載したオールインワンモデルです。高信頼性のイオンチェンバをはじめ、半導体検出器、各種センサーを選択するだけで、高精度な測定結果が得られます。線量測定用にACCU-Dose、kV/mA/mAs測定用にACCU-kVもご用意しています。



■ACCU-PRO放射線測定システム

またRapidoseコンパクトX線アナライザは、わずか1×2×5.3cmという超小型の半導体センサをPCにUSB接続するだけで、線量・線量率・kV・総ろ過・半価層など、豊富なデータを1度に測定できる画期的な診断用QAツールです。



■RapidoseコンパクトX線アナライザ

PTW FREIBURG

被ばく管理システム構築へ、  
PTW社の受診者線量計

先進医療としての放射線診療の普及と同時に、患者被ばく線量の管理は、将来避けて通ることのできない課題です。

東洋メディックでは一般撮影、X線TV、アンギオグラフィなどの各モダリティで、日常お使いいただけるPTW社の面積線量計・入射線量計を各種ラインナップ。さらに受診者のQOL向上のために、RIS接続による患者被ばく線量管理システム全体を視野に入れたシステム構築もサポートしています。



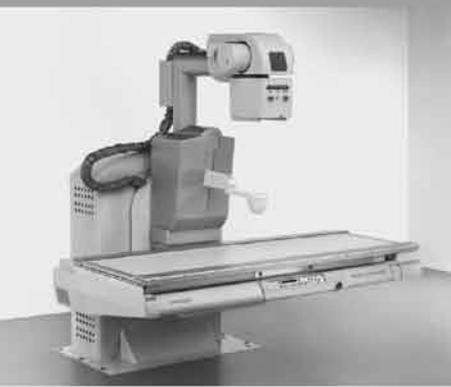
For All Your Tomorrows  
**TOYO MEDIC**

<http://www.toyo-medico.co.jp/> E-mail [info@toyo-medico.co.jp](mailto:info@toyo-medico.co.jp)

東洋メディック株式会社

本社：〒162-0813 東京都新宿区東五軒町2-13  
TEL. (03) 3268-0021 (代表) FAX (03) 3268-0264  
大阪支店：〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-19-1  
TEL. (06) 6535-5741 (代表) FAX (06) 6535-5745  
福岡支店：〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-2-40  
TEL. (092) 482-2022 (代表) FAX (092) 482-2027  
支店・営業所：名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山

次の検査は、  
胃透視ですか？ 一般撮影ですか？



## AXIOM Luminos dRF

多目的フラットディテクタ搭載X線透視撮影装置

AXIOM Luminos dRF は、43cm × 43cm の広い視野と最先端の画像処理技術を備え、X線透視検査と一般撮影検査の機能を1台に統合しました。例えば胃透視検査が少なくても、空き時間にいつでも一般X線撮影システムとして利用可能。2つの機能を1台に統合すると、新しいワークフローが誕生します。被検者の乗り降り、両サイドからの被検者アプローチを容易にするペイシエントケア・デザイン。日本語への対応、日本仕様の操作コンソールを搭載しました。シーメンスが自信を持ってお届けする、新時代のソリューションです。

[www.siemens.co.jp/healthcare/](http://www.siemens.co.jp/healthcare/)

Answers for life.

**SIEMENS**

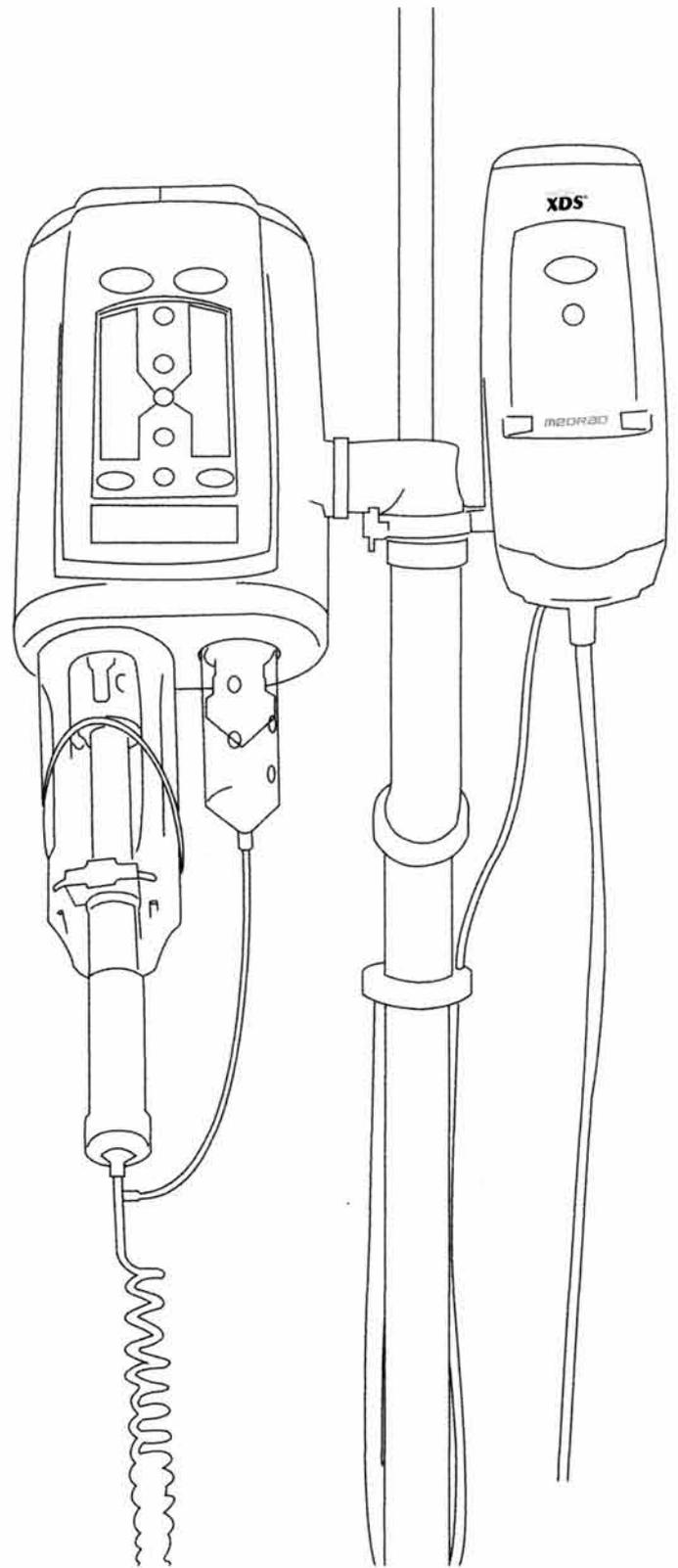
Performance. For life.™

**STELLANT**

考えるインジェクタ

Stellant® CT Injection System

Stellant® シリーズは  
一人ひとりの患者様に  
最適な注入プロトコルを考えます。



日本メドラッド株式会社 〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 TEL.(06)6133-6250 FAX.(06)6344-2395  
<http://www.medrad.co.jp> E-Mail:NMKK-CS@medrad.com

**MEDRAD**  
Radiology™



KONICA MINOLTA

The essentials of imaging



求めていたFPDの姿。

世界最軽量  
わずか2.9kg  
ワイヤレス型FPD

低線量  
でも超高画質  
CsI(ヨウ化セシウム)  
を採用

高速充電  
ロングライフ  
バッテリー  
バッテリー内蔵型

既存の撮影台  
を活用可能  
導入コスト低減

AeroDR (エアロディーアール)は14×17(半切サイズ)のワイヤレスタイプのカセット型フラットパネルディテクタです。ISO4090準拠によりJIS規格にも適合。現在ご使用頂いている既存の立位・臥位撮影台をそのままご利用いただけます。また、重量は内蔵バッテリー含め、約2.9kgの軽量化を達成し、特徴的な高速充電、ロングライフバッテリーを搭載。ワイヤレスならではの使い勝手は軽量化と相まって快適な操作性を実現いたします。

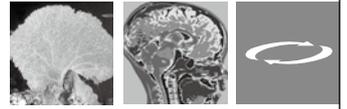


WIRELESS DIGITAL RADIOGRAPHY SYSTEM

# AeroDR

製造販売認証番号:222AIBZX00035000

製造販売元: コニカミノルタ エムジー株式会社 販売元: コニカミノルタ ヘルスケア株式会社 191-8511 東京都日野市さくら町1番地 TEL (042) 589-1439 (代) <http://konicaminolta.jp/healthcare>



Guerbet | 

 TERUMO®



MRI用造影剤

薬価基準収載

**マグネスコープ®シリンジ**

**MAGNESCOPE® SYRINGE**

(ガドテル酸メグルミン注射液)

処方せん医薬品<sup>注</sup>

注) 処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌（原則禁忌を含む）および使用上の注意等の詳細につきましては、添付文書をご参照ください。

製造販売元

**ゲルベ・ジャパン株式会社** 東京都千代田区麹町4丁目5番10号  
<http://www.guerbet.co.jp/>

販売元（資料請求先）

**テルモ株式会社** 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 <http://www.terumo.co.jp/>

Ⓣ、TERUMO はテルモ株式会社の登録商標です。

マグネスコープ、MAGNESCOPEはゲルベ・ジャパン株式会社の登録商標です。

© テルモ株式会社 2010年4月

**DOTAREM®**



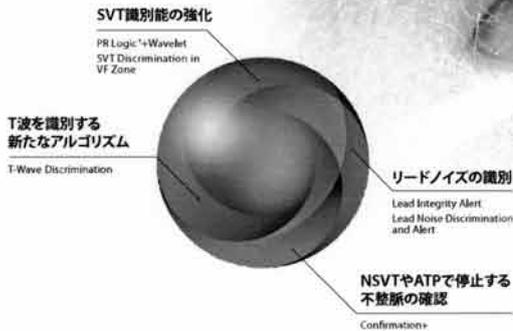
# Protecta<sup>®</sup> XT

with SmartShock<sup>™</sup> Technology  
CRT-D & ICD DR/VR

## Innovating Detection

—— ショックリダクションの限界へ

数多くの臨床研究と、その結果をもとに開発された  
新しいアルゴリズムにより、  
ショックリダクションの限界に挑戦する  
新デバイスが誕生しました。



Protecta XTのSmartShock<sup>™</sup>テクノロジー

**ShockReduction**  
Fewer Shocks. Greater Living.

[www.medtronic.co.jp](http://www.medtronic.co.jp)

日本メドトロニック株式会社

CRDM事業部

105-0021 東京都港区東新橋2丁目14番1号 コモディオ汐留 Tel.03-6430-2011 (代)



販売名/医療機器製造販売承認番号 プロテクタ XT CRT-D / 222008ZX00913000 プロテクタ ICD シリーズ / 222008ZX00945000

圧倒的な分解能とコントラストを誇る最高水準の画質と  
幅広いシステムラインナップでFPD imagingをリードする  
直接変換方式FPD・safire.

理想的な画像診断のために、safire imagingの新たな展開に  
向けた進化がもう始まっています。

高画質へのさらなる追求とシステムラインナップの充実、  
常に一歩先を考えたアプリケーションの開発。

その進化は、FPD imagingの次のステージを描きます。



THE POWER OF *safire*





画像配信サーバー・クライアントとワークステーション機能により

誰もがハイレベルな医療画像の処理・読影・解析を簡単に行える環境を実現



救急センター、手術室、CT・MRI操作室、アンギオ室、外来診察室、読影室、カンファレンスルームなど



**Aquarius iNtuition**  
Server  
TRUE UNMATCHED FULLY-FEATURED THIN CLIENT

- 一連のワークフローをテンプレート化。技術レベルに依存しない画像処理が可能。
- 独自アルゴリズムによる自動前処理。効率を向上し、大幅な時間短縮を実現。
- 高画質/高速処理を実現する専用ボリュームレンダリングボードを搭載。

開発製造元: テラリコン・インコーポレイテッド 東京都港区芝公園2丁目11-1 住友不動産芝公園タワー1F

### 株式会社 エルクコーポレーション

営業統括本部

摂津市庄屋1丁目14番12号

☎ (06) 6382-7009

東京都文京区湯島2丁目17番4号

☎ (03) 3814-8229

本社 / 大阪市中央区農人橋1丁目1番22号 大江ビル9階 [URL http://www.elkc.co.jp](http://www.elkc.co.jp)



●商品に関するお問い合わせは下記まで

札幌 (011) 736-0010・仙台 (022) 236-3621・新潟 (025) 243-6391・さいたま (048) 663-2221  
 東京第一 (03) 3814-7851・東京第二 (03) 3814-7850・横浜 (045) 474-6661・名古屋 (052) 531-6231  
 金沢 (076) 237-7511・京都 (075) 691-5101・大阪第一 (06) 6382-3787・大阪第二 (06) 6382-8701  
 神戸 (078) 651-2601・岡山 (086) 232-6721・広島 (082) 232-1341・福岡 (092) 472-0241  
 鹿児島 (099) 266-3141

GE Healthcare

# We're making a new commitment to health

GE は健やかな未来を約束します。



Reduce Costs  
より身近に



Increase Access  
より広く



Improve Quality  
より質の高い医療を

GEヘルスケア・ジャパン

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

[www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp)

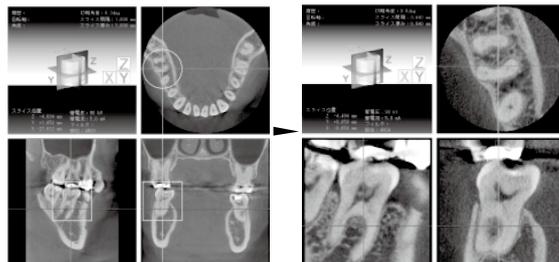


GE imagination at work

healthymagination



少ない線量で高品質な三次元画像を提供。  
インプラント、根尖病巣、顎関節、埋伏歯など  
幅広い精査・診断が可能。



ボクセルサイズ:125μm

ボクセルサイズ:80μm

## 実現・80μmの世界

ボクセルサイズ80μmの超高解像度で、  
拡大してもギザギザのないスムーズで滑らかな画像を実現。  
広い撮影領域φ80×H80mmでも高解像度を維持。

- ズーム再構成機能を新搭載
  - ・撮影した画像データ上で、関心領域の拡大が可能。
  - ・ボクセルサイズ80μmの超高解像度で、拡大してもギザギザのない滑らかな画像。
- φ80×H80mmの撮影領域に対応、切替可能な撮像領域
  - φ80×H80mm・φ60×H60mm・φ40×H40mm
- 撮影領域が大きくても高解像度を維持
- 軟組織から硬組織まで描出、広いダイナミックレンジと豊かな階調表現能力
- ワンデータビューアソフト
- ボリュームレンダリング表示
- 院内ネットワーク対応
- 販売名 スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT
- 一般的名称 アーム型X線CT診断装置
- 機器の分類 管理医療機器(クラスII)/特定保守管理医療機器
- 標準価格 35,000,000円 2009年1月21日現在 消費税別途
- 医療機器認証番号 212008ZZ00757000

## 3DX MULTI-IMAGE MICRO CT FPD8

スリーディーエックス マルチイメージ マイクロCT FPD8

発売 株式会社 **モリタ**

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 TEL (06) 6380-2525  
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 TEL (03) 3834-6161

製造販売・製造 株式会社 **モリタ製作所**

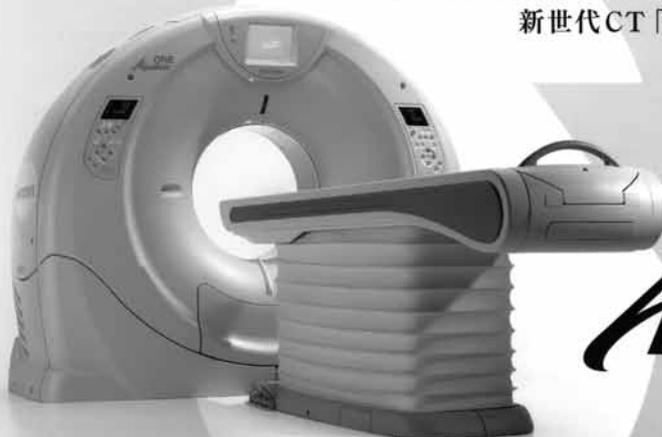
本社工場 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533  
TEL (075) 611-2141  
久御山工場 京都府久世郡久御山町大字市田小字新珠城190 〒613-0022  
TEL (0774) 43-7594

www.dental-plaza.com

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

たった1回転で全脳が診える。心臓が診える。

Area Detectorが、1回転で全脳も心臓もフルカバー。  
新世代CT「Aquilion ONE」の誕生です。



**ONE**  
*Aquilion*  
Area Detector CT



東芝メディカルシステムズ株式会社

本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地  
http://www.toshiba-medical.co.jp

認証番号:219ACBZX00029000  
東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-301A



## Insight where it matters

Allura Xper FD20/20, Allura Xper FD20/10 血管造影X線診断装置

インターベンション3Dのさらなる進化を目指して。  
 フィリップスヘルスケア [www.healthcare.philips.com/jp](http://www.healthcare.philips.com/jp)

販売名:インテグリス アルーラ フラットディテクター  
 医療機器認証番号:21500BZY00208000  
 放射線管理医療機器/特定保守管理医療機器

**PHILIPS**  
 sense and simplicity

nihon  
**medi+physics**

Nuclear Medicine



心機能Imaging

## 心臓・循環器系疾患・機能の 核医学画像診断に

処方せん医薬品<sup>※1</sup> 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬  
 腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)診断薬

### 塩化タリウム(<sup>201</sup>Tl)注NMP

日本薬局方塩化タリウム(<sup>201</sup>Tl)注射液

処方せん医薬品<sup>※1</sup> 薬価基準収載

放射性医薬品・心疾患診断薬

### カルディオダイน์<sup>®</sup>注

放射性医薬品基準15-(4-ヨードフェニル)-  
 3(R,S)-メチルペンタデカン酸(<sup>123</sup>I)注射液

処方せん医薬品<sup>※1</sup> 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

### マイオビュー<sup>®</sup>注シリンジ

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(<sup>99m</sup>Tc)注射液

処方せん医薬品<sup>※1</sup> 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

### マイオビュー<sup>®</sup>「注射用」

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム(<sup>99m</sup>Tc)注射液調製用

<sup>®</sup>:登録商標  
 (注)注意-医師等の処方せんにより使用すること

■効能・効果、用法・用量、使用上の注意等は、  
 添付文書をご参照ください。

資料請求先

 **日本メジフィジックス株式会社**

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 <http://www.nmp.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ先  **0120-076941**

2009年12月作成

# 消化管の診断に

処方せん医薬品  
X線造影剤〈硫酸バリウム製剤〉

◇パウダー製剤

ネオバルギンEHD  
ネオバルギンUHD  
ネオバルギンHD  
バリトップHD  
バリブライトP  
バリブライトCL  
バリコンクMX

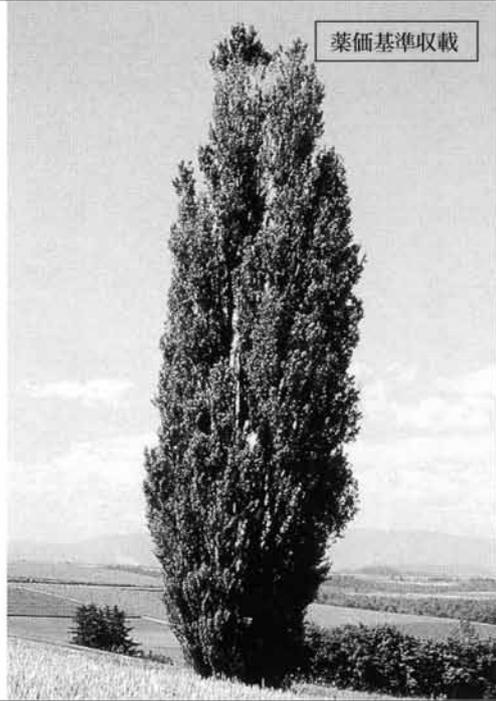
◇ゾル製剤

バムスターS200  
バリトップ120  
バリトップゾル150  
バリブライトゾル180

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

※注意—医師等の処方せんにより使用すること

薬価基準収載



発売元



株式会社 カイゲン

大阪市中央区道修町2-5-14 [資料請求先 新薬本部]  
<http://www.kaigen.co.jp>

薬価基準収載

HORII PHARM.IND.,LTD.

## 胃X線検査関連製品ラインアップ



硫酸バリウムX線造影剤

発泡剤

消泡剤

緩下剤

硫酸バリウムX線造影剤

確実な存在診断

High Density

**バリコンミール<sup>®</sup>**

処方せん医薬品

的確な鑑別診断

Semi High Density

**バロスパース<sup>®</sup>W**

X線二重造影用発泡剤

処方せん医薬品

**バロス発泡顆粒**

胃・腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481 (代) FAX 06-6942-1505

(資料請求先: 安全性情報部)

<http://www.horii-pharm.co.jp>

☎0120-010-320

消泡剤

**バロス消泡内用液2%** ジメチコン内用液

※禁忌、効能・効果、用法、使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書をご参照下さい。

医療を支える企業としての使命感を忘れずに  
今までもこれからも・・・いつも生命のそばに



<http://www.ishiguro-medical.jp/>



石黒メディカルシステム株式会社

病 院 設 備  
医 療 機 器  
介 護 用 品  
有料老人ホーム運営  
病 院 の 開 業 支 援

京 都 本 社 : 〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町62番地  
TEL075-641-1496 FAX075-641-0010  
大 阪 支 店 : 〒569-1145 大阪府高槻市富田丘町9番5号  
TEL072-696-1496 FAX072-696-1961  
東大阪支店: 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3丁目3番28号  
TEL06-6747-1496 FAX06-6747-1497  
滋 賀 支 店 : 〒524-0041 滋賀県守山市勝部6丁目4番36号  
TEL077-582-7770 FAX077-582-7796

### 医療事業

病院様・医院様にとって最適な  
医療機器とシステムを提案し、  
医療サービスの向上を  
サポートします。

### 介護事業

個人様・施設様にかかわらず、  
福祉サービスを受ける方、  
そして介護を行う方の、  
毎日をより快適にする  
ご提案を行います。

### 医薬品事業

「医療費の削減に貢献する」を  
テーマに、ジェネリック医薬品をご提案。  
医療機器から医薬品まで  
トータルサプライを実現します。

### バイオ事業

高度なテクノロジーを担う  
研究の前衛に、  
各種研究用試薬から分析機器まで  
トータルに提供します。



医療・介護を  
支えることで  
笑顔と笑顔を  
つなげていきたい。  
それが三笑堂の  
願いです。

 株式会社 **三笑堂**  
<http://www.sanshodoh.co.jp/>

■京都本社 〒601-8533 京都市南区上鳥羽大物町68 tel.075-681-5131  
■大阪支店 ■新大阪支店 ■堺支店 ■滋賀支店 ■神戸支店  
■新神戸支店 ■奈良中央支店 ■舞鶴支店 ■福知山営業所 ■東京支店

# 食道から大腸まで

適確診断のために……

## 薬価基準収載

処方せん医薬品 注意-医師等の処方せんにより使用すること

### 【硫酸バリウム製剤】

■ 上部消化管X線造影剤

**パルテスター<sup>®</sup> A240散**

**パルトゲン<sup>®</sup> SHD**

■ 注腸用X線造影剤

**エネマスター<sup>®</sup> 注腸散**

■ X線CT用経口消化管造影剤

**パルトゲン<sup>®</sup> CT**

■ 消化管X線造影剤

**パルトゲン<sup>®</sup> HD**

**パルトゲン<sup>®</sup> ソル145** 【炭酸水素ナトリウム・酒石酸配合剤】

**パルトゲン<sup>®</sup>**

**パルトゲン<sup>®</sup> ソル**

■ X線診断二重造影用発泡剤

**バリエーズ<sup>®</sup> 発泡顆粒**

**パルトゲン<sup>®</sup>-デラックス ウムブラMD**

■ 胃内有泡性粘液除去剤

**パルトゲン<sup>®</sup> 消泡内用液 2%**

(ジメチコン内用液)

■ 緩下剤

**ファースル<sup>®</sup> 錠 2.5mg**

(ピコスルファートナトリウム錠)

※ 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、添付文書をご参照下さい。

## FSK 伏見製薬株式会社

● 資料請求先 / 学術室

〒763-8605 香川県丸亀市中津町1676 TEL 0877-22-7284 FAX 0877-22-6284

仙台営業所 / TEL 022-295-5667 東京営業所 / TEL 03-5328-7801 名古屋営業所 / TEL 052-732-8555

大阪営業所 / TEL 06-6160-2431 中四国営業所 / TEL 0877-22-7284 福岡営業所 / TEL 092-413-4107

やさしさで温もりをもって届けたい。



# デジタルマンモグラフィQAキット

- 乳房撮影において良好な画像品質を維持するには、X線装置の日常的な精度管理が必要です。
- 本キットには、管電圧・線量・線量率・照射時間の同時測定が可能なマルチファンクションX線測定器をはじめとする基本的な精度管理用ツールが含まれています。
- 『乳房撮影精度管理マニュアル（改訂版）』に基づく精度管理に最適なキットです。

| No. | 標準キット内容                | 精度管理試験項目  |
|-----|------------------------|-----------|
| ①   | マルチファンクションX線測定器MOM-320 | X線出力の精度試験 |
| ②   | 半価層測定用アルミ              | 半価層の測定    |
| ③   | アクリルファントム              | AEC 作動試験  |
| ④   | 焦点位置ファントム              | 焦点位置の確認   |
| ⑤   | ステップファントム              | 画質の確認     |
| ⑥   | 圧力計                    | 圧迫器の精度確認  |

付属品：メジャー、スケール、ノギス、ルーペ、手袋、データ計算ソフトウェア、専用トランクケース

\* 画像評価ファントムはオプション品です。



デジタルシステム用 標準キット

**TECHNOL**

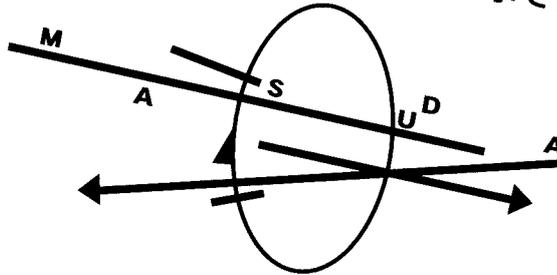
CHIYODA TECHNOL CORPORATION

株式会社 千代田テクノル アイソトープ事業部

〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12 千代田御茶の水ビル TEL03(3816)2531 FAX03(5803)1938

お届けしたいのは  
最適の最新です。

現場を見つめ、最適の商品を。  
未来を見つめ、最新の商品を。  
医療機器から関連情報サービスまで、  
お届けするのが、マスダの仕事です。



- 医療現場とメーカーを医療システム&情報で結ぶ。
- 信頼の基本は、豊富な品揃えと的確・迅速な対応。
- 最先端の分析機器・理化学機器で研究現場をバックアップ。

医療機器・理化学機器の総合商社



株式会社 増田医科器械

本社 ● 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町50番地 Tel.(075)623-7111 Fax(075)623-7131

FUJIFILM

処方せん医薬品

薬師経管投与

非イオン性尿路・血管造影剤

イオプロミド注「FRI」



イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI  
(イオプロミド注射液) (注)注意 医師等の処方せんにより使用すること

- 「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

イオプロミド注「FRI」は、ドイツのバイエルシエーリングファーマ AGにより  
開発された非イオン性尿路・血管造影剤です。

富士フイルム

富士フイルム RIファーマ株式会社

〒104-0031 東京都中央区新富1-1-1 東京都  
電話 03-5561-3000  
ホームページ http://ri.film.fujifilm.co.jp



Bayer HealthCare  
Bayer Schering Pharma

2010年12月作成

# ◇ 平成 22 年度 事業の総括 ◇

会 長 轟 英 彦

## 1. 【総括】

会員の皆さんが会に対してあるいは自分の職業に対して発展的な取り組みを行い、出来る限りの事業展開をしてきた。また、「信頼・感謝・創造」を軸に事業を推進し、出来るだけ各地域を訪ねて、目指すべき技師会の道を会員の声に耳を傾けながらそれを事業に反映すべく努めてきました。この1年、放射線技師会全体を見てみると、2010年6月に新会長中澤靖夫が就任し新たな生涯学習システムの開始、(社)日本放射線技師会と(社)日本放射線技術学会の合同セミナー開催や関連団体との協調、特に日本放射線技術学会や関連団体との関係を通じて認定専門技師の形が見えてきた。その中で(社)日本放射線技師会あるいは近畿各府県技師会と協力しながらすべての診療放射線技師を対象に研修会を実施し、今年は生涯学習セミナー「MRI 検査」を行いました。独自には、各研修会を公開講座を含めて9回(両丹地区4回含む)実施し、「安心で安全な医療の提供」、政府の医療政策の「医療資格者の資質の確保・向上等」に寄与してきた。さらに、来年4月の医療法改正で入ってくる放射線安全管理・放射線機器安全管理に関して、放射線管理士・放射線機器管理士の重要性から資格更新についての各会員からの問い合わせにも対応し、「点検業務の必要性」と題して勉強会も行った。今後は、これ以外の資格更新に伴う講習会や研修会にも積極的に参加し、会員のための京都開催に尽力します。これらはすべて広い意味で(社)京都府放射線技師会が府民・市民に対して事業を行っていると考えます。

新公益法人3法に基づく新公益社団法人への移行については第62回通常総会で移行推進の承認を受け、本年は公益認定の事業区分・事業仕分けやそれに伴う財務関係特に新会計基準による財務関連書類の整備作業を行い、定款等の作成など、その準備を進めてきた。新公益社団法人移行に向け、継続して監督官庁(京都府)に指導を受けながら最終的な準備作業を進めていく所存である。

最後にいろいろな意味で厳しい状況下鋭意努力を

し、事業を推進してきました。今後も会員諸氏が参加していただきますようお願いします。平成22年度の事業についてはこれを総括としますが、詳細については以下のとおりです。

## 2. 【社会事業】(広報・渉外・組織調査)

(1) 広報渉外事業は、9月18日・19日にわたり、京都パルスプラザにて開催されました「第37回くらしと健康展」には、例年通り主体団体の一員として参加し、放射線コーナーではパネル展示およびパンフレットの配布を行った。当コーナーには80名の来場者があり、これは昨年より4名の減少で、認知症や前立腺には多くの関心が集まりましたが、放射線への興味や関心が少し減りました。しかし、放射線の安全性・有益性・専門性を理解してもらい、診療放射線技師の職業をアピールできたことは大きな収穫であった。

(2) 渉外関係については、(財)京都市健康づくり協会理事会への参画、関西友好4団体新年互礼会・京都私立病院協会新年会および(社)滋賀県放射線技師会創立60周年記念式典及び祝賀会に出席し交流を深めた。第45回京都病院学会が京都府医師会館を中心に開催されましたが、例年通り実行委員・座長・スライド係の担当者を派遣し運営の一端を担った。また、京都府市民が安心して放射線診療が受けられるよう、また医療被曝低減の推進をしていくためにも無資格者による診療放射線業務の防止を目指し、関係医療機関・団体に要望書を持参提出し協力の申し入れを行った。

(3) 組織調査事業は、例年通り、各学校・各施設へ新卒者就職先(京都への)の調査を行い「フレッシュ診療放射線技師の集い」への案内送付を行うと同時に入会勧誘の資料とし、本年は19名の新入会員がありました。6月19日「全地区委員会」を開催し、技師会への意見・要望等の集約を行い事業推進への協力を要請しました。また、組織委員長・会長・副会長にて積極的に各地区委員会に出務をし、意見徴集や技師会の動きなどを説明し活動活性化へ向けて

協力の要請をした。会員減少の対策として近畿各技師会と協力し入会勧誘の資料（パンフレット）を作成して各教育養成機関に送り、卒業生に配布し技師会入会促進を行った。

### 3. 【研修事業】（学術・放射線管理）

(1) 学術研修事業は、研修会については月例研修会（5回開催）をはじめ内容も含めて会員の参加を推進した。両丹地区においては、春・夏・秋・冬の4回研修会を開催しました。夏季研修については、平成22年9月4日（土）～5日（日）「マリアージュ玉姫殿（福知山）」にて開催し、1日目は「認知症」や「睡眠時無呼吸症候群の検査」など、2日目は「心臓の解剖」や「遠隔画像システム」などを開催し、多くの参加を得た。平成22年12月19日（日）は「MRI検査」講習会を開催。平成23年1月22日（土）は「生活に大事な手」をテーマとして特別講演・教育講演をはじめ、京都府・京都市・医師会・看護協会等の協力で市民公開講座を開催した。

(2) 管理士事業については「くらしと健康展」で放射線相談員として府民の放射線被曝低減と不安の解消に大きく貢献し、京都府主催の催しや放射線（原子力関係）に関する安全訓練や講習会にも参加、診療放射線技師の地位向上に寄与した。また、ピンクリボン京都2010に協力し10月に行われた各種活動（計2回）に診療放射線技師を派遣した。平成22年12月には研修会「放射線機器管理に関する点検業務の必要性」を開催した。さらに、近隣府県の管理士会と積極的に意見交換をしながら、近畿地域学術研修会での管理士部会にも参加し、意見交換や今後の活動についても話し合った。

### 4. 【情報事業】（編集・情報）

(1) 編集事業は「京放技ニュース」の発刊について、例年通り毎月発行し会員に対して情報を提供すると共に内容の充実を図る目的でいろいろと工夫を重ね、年報改め「京都府放射線技師会雑誌」として府民にも読んでいただける内容のものを発刊しました。

(2) 情報事業は、常にホームページの充実を進めると共に一般の方に医用放射線・医療被曝について理解をされるよう啓蒙すると同時に、内容の充実や

メールによる質問・問い合わせに迅速かつ適切に対応した。また、ホームページを新しくリフレッシュしました。会員に対しては、日放技・京放技のさまざまな情報の提供を正確に伝えるよう努めた。さらに、公益法人として事業計画、予算書、役員名簿、定款、事業報告、決算などを掲載するようにした。

### 5. 【厚生事業】

(1) 厚生事業は、今年度の近畿野球大会は京都府は3位に終わった。ボウリング大会をしょうざん光悦芸術村にて開催し16名の参加で楽しい親睦となりました。囲碁については「月例会」をはじめ「京都府大会（近畿大会予選）」も行い、平成23年1月16日開催された「近畿地域放射線囲碁大会」に挑み、見事逆転優勝をしました。

「フレッシュ放射線技師の集い」は、6月19日（土）ホテルセントノーム京都にてフレッシュ技師22名・会員43名の参加を得て開催した。また今年度は「新年会」を平成23年1月22日（土）メルパルク京都にて開催し57名の参加で盛況でありました。

### 6. 【その他】

(1) 表彰については、今年度は日本放射線技師会勤続50年・30年が表彰されました。

(2) 新公益法人関係については委員会を4回開催し、また、京都府が行った説明会（2回）・個別相談に出席するなど準備を進めた。

最後になりましたが、平成22年度の事業が概ね遂行できましたことは、各理事・委員および会員各位のご協力とご理解の賜物と感謝いたします。

## ◇ 社 会 事 業 ◇

広報・渉外委員長 新 井 喬

### 広報・渉外活動

平成 22 年度の広報・渉外活動は、『第 45 回京都病院学会』と『第 37 回くらしと健康展』について委員長の新井が担当責任者として事業を遂行し、各事業の応援を三浦健一委員(第二岡本総合病院)、渡里弘委員(京都九条病院)の両名にお願い致しました。

各事業の実行・準備委員会および各事業の開催には、社団法人京都府放射線技師会の代表として委員長が出席および参加し、他の医療団体や関連団体との交流を深め意見を交わし、府民に対しては医療用放射線の利用に関する相談や啓発活動などにより、各事業の公益性・社会性を啓蒙しました。また、各事業の運営には日常業務が忙しい中、各会員に協力をお願いしました。

### 各事業報告

#### 【第 45 回京都病院学会】

本年度も平成 22 年 6 月 13 日(日)、京都府医師会館(一部は京都市立看護短期大学)において『第 45 回京都病院学会』が開催されました。本学会は昭和 40 年から始まり、京都府下の病院で構成される京都府病院協会・京都私立病院協会が共催し、全職種の方々を参加対象として京都府・京都市・京都府医師会の後援をしてもらい、地域に密着した特色のある学会として毎年開催されております。今回は 45 回と云う節目の学会で、旧医師会館においての最後の学会となりました。

学会の準備・開催に向けて、実行委員会は寒い時季の 2 月から始まり 6 月まで計 6 回を重ね、各団体の代表者が日常業務の合間を縫い一同に会し開催されました。

本会も主催団体の一員として、放射線部門の演題について 3 名の座長を選出し、各会場の PC プロジェクターなどの操作を担当するスタッフとして 8 名と実行委員 1 名の計 9 名が運営にあたりました。今回の総演題数は、417 演題と昨年より 1 演題増加しました。今までの最高の演題数のため、開始時間を繰り上げて終了時間を延長して、昨年と同様に 5 会場にて運営を行いました。なお、放射線部門の演

題数は 24 演題となり、昨年より 10 演題の減少となりました。

発表においては USB フラッシュメモリの使用、動画とタイマーなどは禁止などのルールをお願いし、運営の効率化を目指しましたが、やはり発表時間不足、パワーポイントの動作不良などが発生し次回への問題点となりました。また、近年の不景気によりこの数年来、学会への広告収入はより減少しており、学会は厳しい運営を余儀なくさせられています。

本年度のメインテーマを「脳卒中の地域連携」とし、京都大学脳神経外科教授の宮本亨先生にご講演いただき後、市田医院副院長の市田哲郎先生の基調講演「在宅・居宅側からみた地域連携」に続いて脳卒中の地域連携部門 7 演題の後にシンポジウムが行われました。

また、特別講演では、「茶は薬用によりはじまる」と題して武者小路千家 第十四代家元 千宗守先生のお話しでした。講演内容はお茶の歴史や成り立ちから始まり、茶というものは、特に抹茶はお薬として用いられそれを受け入れた支配者がいたことにより発展し現在に至るといってお話しでした。当日はかなりの蒸し暑さと雨まじりの天候でしたが、学会は盛況のうちに終わりました。

本年の実行委員も含めた学会の総参加者数は 1889 名(前年度 1920 名より 31 名減)、そのうち診療放射線技師は 120 名(前年度 12 名減)の参加でした。なお、座長を担当された 3 名の会員は以下の方々です。(敬称略)

岡田 知之(公立山城病院)

山根 稔教(公立南丹病院)

中田 博之(三菱京都病院)

#### 【第 37 回くらしと健康展】

平成 22 年 9 月 18 日(土)・19 日(日)の 2 日間にわたり「第 37 回くらしと健康展」が京都府総合見本市会館(パルスプラザ)にて、『目指そう!こころとからだの健康』を今回のテーマとして開催されました。(なお入場料は無料)

開催に向けて各団体の代表が 5 月に一同に会し

実行委員会が計4回開催されました。

本年は、放射線コーナーでは昨年と同様に、写真展示、パネル展示、パンフレット配布、放射線相談コーナー、年間被曝推測チェックとCR写真デモ機器の閲覧などを行いました。

相談コーナーでは放射線管理士会の方々に協力していただき、カウンセリングの内容の充実を図りました。又、計算ソフトを用いた《年間被曝推測チェックコーナー》では、来場者に撮影回数・内容を申告してもらい自然被ばくを含めた数値を算出し、医療用放射線を利用した検査の安全性を理解してもらっています。今回は、病気・検査に関するパンフレットを見て質問する人が多くいましたが、事前から質問や相談することを考えて来る人はかなり少なくなってきました。本会コーナーへは、初日と2日目をあわせて80名（昨年より4名減）の来場者となりました。相談コーナーでは被ばく関連の相談・質問のほか、認知症／糖尿病／前立腺のパンフレットを見て病気や検査内容に関する問い合わせのほか検査費用の問い合わせもありました。質問される人は高齢の方が多く、健康や病気に気をつけてほしい中高年の方がより少なくなりました。この機会に、検診や予防医学の啓発・増進も考慮する必要もあるかと思えます。そのため、今回は放射線治療と検診に関するパネルを2枚作製してもらいました。しかし、相談をとおして1人でも多くの方が、放射線や検査に対する不安や心配を解消して、積極的に治療や検査をしてもらえるようにと思えます。最後に、残念ながらこの事業は、京都府の見直し検討対象事業のため、年々、規模や予算は縮小してきています。

なお、出務していただいた会員は以下の方々です。

（敬称略）

山根 稔教（公立南丹病院）

田中 亮（亀岡シミズ病院）

中島 智也（田辺中央病院）

安藤 博敏（綾部ルネス病院）

#### 【京都プライマリ・ケア協議会】

今年度の京都プライマリ・ケア協議会の事業活動はありませんでした。日本プライマリ・ケア学会近畿地方会として加古川市で開催されました。当会からは京都プライマリ・ケア協議会に対して、一般の皆様診療放射線技師業務の内容および医療用放射

線利用の安全性を理解していただけるような事業を開催してもらえるように要望しています。

\*その他に、本会が参画できる事業には積極的に参加し、社会事業の機会を広げていきたいと思っています。なお、今年度の『ピンクリボン京都2010』に当会から4名の会員がボランティアとして昨年に続き参加しました。

#### 【無資格者対策】

医療用放射線を用いた検査による被ばくにつきましては、「くらしと健康展」などにて一般の方々からの数多くの不安や質問を聞いてまいりました。ピンクリボン運動による乳がん検診におけるマンモグラフィーの啓蒙活動、「がん対策基本法」の制定による〈がんの放射線治療〉の推進などにより、行政による医療における放射線利用の取り組みは以前より増進してきています。

そして、医療用放射線機器はより高度化・専門化となり、その取り扱いについては専門職である私たち診療放射線技師が、受検者が安心して検査を受けられるように慎重に取り扱うべきものであり、一方管理責任者は診療放射線技師法に制定されている法定独占業務を尊重し、当然に法令遵守をしなければならないことです。また、私たちが最新の知識や技術を日常業務に還元することは、公益性・社会性の活動の側面とも言えます。無資格者が医療用放射線を取り扱い、無用な放射線を一般の方々に照射することは、受検者の検査の不利益になる可能性は大きく、安全・安心の医療の確保・維持を保証することは不可能です。

無資格者による医療用放射線の取り扱いは、【医療被ばくの正当性・適正化・低減化】を謳っている日本放射線技師会および当会の立場から、また、コンプライアンス重視の社会的意義および診療放射線技師法違反の観点からも見過ごすことのできないことです。

本会としても、機会のある度に関係諸団体、監督官庁に協力を要請してまいりました。本年度も昨年と同様に、平成23年2月1日付で京都府保健福祉部、京都市保健福祉局、京都府医師会、京都府歯科医師会、京都私立病院協会あてに『無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望』書を提出いたしました。（要望書については参考資料を参照）

京都市保健福祉局・京都私立病院協会  
京都府健康福祉部・京都府歯科医師会  
京都府医師会

×× 殿

社団法人 京都府放射線技師会  
会長 轟 英彦

## 「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」

平素は、当技師会の年間を通した公益性・社会性のある事業活動ならびに運営につきましては、格別の理解と御高誼を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきましては、貴職におかれましても既に御高配のことと存じます。当会は、医療における診療放射線技師業務の技術向上と職能の資質改善に日々邁進しております。そして、医療用放射線の最新の知識や技術を取得し、日常業務では一般の方々に対して良質で診断価値の高い画像を、臨床現場に提供しており、公益性のある社会事業活動の一面でもあります。また、この業務は国の制定する〔診療放射線技師法〕による法定独占業務であります。しかし、コンプライアンスが重要視される社会の中で、一部の医療機関において、〔診療放射線技師法〕に違反する行為が未だに報道されることは、甚だ残念な思いであります。

「無資格者による診療放射線技師業務」は違法行為であり、本人だけでなく管理者も責任を問われる可能性は十分にあります。当然、画像診断の情報量不足や被ばく線量低減の観点からして、一般の方々に対して不利益を被る可能性が大きいです。昨今、医療用放射線機器の機器操作はより簡便化になっており、その反面、被ばく量の低減、最良な撮影条件等や経験や知識を要する画像処理技術を最適化すること、及びそのような環境を維持・整備するための機器の使用安全管理業務は無資格者には不可能なことです。

また、平成22年4月30日付の厚労省からの通知では「チーム医療の推進について」言及し、①画像診断における読影の補助を行うこと②放射線検査等に関する説明・相談を行うことに診療放射線技師を積極的に活用することが記されています。すでに『がん対策基本法』も制定され、ガン治療にも放射線治療や的確な画像診断が必要視されています。従って、当会は安全・安心で質の高い診療放射線業務を確保し継続する義務があります。その状況の中で、業務内容の高度化・専門化に対応し、各学会を中心に主な分野の専門技師制度も始動しています。ゆえに、「無資格者による診療放射線技師業務」は、放射線検査の有益性だけではなく医療全体の一般社会への公益性・公共性を損なう可能性が十分にあります。

当会としましては、一般の方々に対する医療用放射線利用の正当化・最適化・被ばく線量の低減化および社会への公益性・公共性の毀損の可能性の見地から、「無資格者による放射線技師業務」の違法行為を看過することはできません。

貴職にはご多忙のことと存じますが、上記の要望をご賢察のうえ関係下の医療機関に対して、〔診療放射線技師法〕の周知および賛同と法律の遵守をして頂き、「無資格者による診療放射線技師業務」の根絶を期するため、幾らかのご配慮を賜りたく、本年も重ねてお願い申し上げます。

## ◇ 研修・研究事業 ◇

学術委員長 原 口 隆 志

平成 22 年度の研修事業は、市内地域での定例研修会を 7 回開催し、そのうち両丹地区での夏季研修会を開催、1 月研修会では市民公開講座を開催し、近畿学術大会ではシンポジストの参加依頼での協力を行いました。さらに日放技主催基礎講習会開催や、管理士会研修会での受付等の協力と多くの事業に携わってきました。

事業報告に際し京都府放射線技師会役員、並びに会員各位のご協力に感謝の意を表します。

研修会の主な内容としては、4 月に 529 回研修会として①「放射線管理士からアンケート報告」②「日本放射線技師会の認定制度について」③「診療報酬の動向」と 3 つのテーマで講演をお願いいたしました。①では放射線管理士会の山根氏より平成 19 年 4 月の医療法改正に伴い、医療放射線機器管理の現状を把握し、問題点や課題を明らかにする為に行ったアンケートについて報告していただきました。②については轟会長より、現在の認定資格や国際認定、AD セミナー等の新たに提案されている枠組みについての目的や動向について詳しく述べていただきました。③については (株) エーザイの森川氏に 2010 年度診療報酬改定について基本方針から私たちにとって非常に重要な画像診断での点数の改定について具体的に解説していただきました。

6 月には全地区委員会とフレッシュ技師の会と同日に 530 回研修会を開催しました。テーマは①「診療報酬改定について」として第一三共株式会社より病診・病院連携を含め講演をしていただき、②「フィルムレス環境に向けた新たな検像スタイル」として大阪医科大学の石浦氏より様々な取り組みについて講演をしていただきました。そして③「心臓の解剖学」として舞鶴共済病院の北井氏に AHA 分類を中心に動画を含めわかりやすく解説していただきました。

9 月には両丹地区での夏季研修会を 2 日間で行い、1 日目には 5 題の演題発表を行ないました。2 日目にも 5 題の演題発表を行ない、盛況に開催できたことは両丹地区の役員や会員のご協力のたまものだと思っており、感謝しております。

そして、11 月には第 532 回研修会として夜間開催にて①「マンモグラフィーでの QC について」として大阪医科大学の森永さんより自施設での取り組みの紹介の後、②として若手による 5 題の発表の場を設けました。今回新たに学生の参加もあり、大変意義があるものであったと思います。最後に教育講演として「急性肺炎における CT 検査」をテーマに京放技副会長の河本氏による講演を行っていただき、全体を通して非常に有意義な会となりました。また、研修会終了後、学生とともに情報交換会も行いました。

12 月には管理士講習会での協力と、日放技主催の基礎講習 MRI セミナーを近畿ブロックのひとつとして京都会場で開催されました。近畿の多くの講師の助けもあり、114 名と多くの参加があり、無事終了しました。

そして 1 月には市民公開講座を第 533 回研修会として開催しました。テーマを『生活に大事な手』として、特別講演：「生活に大事な手（手の低侵襲手術について）」では宇治武田病院院長の勝見泰和先生に講演をお願いし、手は非常に大事な部分でありどのようにして治療を行っていくのか詳細に解説していただき、非常に有意義な講演となりました。その後、会長講演として日放技の中澤会長による講演をはさみ、MRI・CT における一般市民向けの講演を大阪医大の中浦氏、京都大の小泉氏に講演をしていただきました。

今回市民公開講座が開催にあたり、多くの関係者のご協力のもと、無事終了できたことについて感謝いたしております。

2 月には和歌山県のプラザホープにおいて近畿地域学術研修会が『いま一度基礎を見つめ直そう～初心に帰って謙虚であれ～』というテーマで開催されました。午前には基調講演『時代の潮流と放射線技師会の役割』として中澤日放技会長の講演が行われ、特別講演『コーチング技術を学ぼう』として TERU コミュニケーションステージ代表渡辺氏による講演、ランチオンセミナーを挟み午後からは市民

公開講座を『戦国武将の脳に学ぶ』をテーマに和歌山県立医科大学理事長の板倉徹先生によって、戦国武将の行動からの分析を詳細に解説されました。その後のシンポジウムとして近畿各府県から『新人教育にあたり伝えたいこと』として、各府県がモダリティごとを担当して講演を行いました。その中で京都府はCTを担当し、済生会京都府病院の後藤氏に講演を行っていただきました。

3月には(株)エーザイ京都支店会議室にて地区合同研修会を行いました、多彩な内容で発表が行われ有意義な研修会であったと思います。

また、例年3月開催していましたが京都市消防局協力による上級救命講習については、例年に比べ参加申し込みが少なく、京都市消防局では数多く講習会を開催して多忙ということもあり、本年度は開催いたしておりません。

以上今年度の総括とします、来年度の平成23年度につきましても、さらに会員にとって有意義な研修会の開催を目指していきたいと思っております。皆様のご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

## ■ 1. 平成21年度委員構成

### 【両丹地区】

今井 敬治 京都ルネス病院

### 【市内担当】

北村 真 明治鍼灸大学附属病院

後藤 正 済生会京都府病院

林 浩二 洛和会音羽病院

森永 泉美 大阪医科大学附属病院

四丸 真俊 宇多野病院

田中 史男 十条リハビリテーション病院

原口 隆志 宇治武田病院

## ■ 2. 研修会場と開催日時

会場：メルパルク京都、

(株)エーザイ京都支店 会議室、

島津製作所 三条工場研修センター

日時:第2土曜日(もしくは日祭日及び夜間開催)

以下、研修会報告を掲載します。

■ 3. 平成 22 年度研修会開催一覧

| 平成 22 年  | 演 題 名   | 所 属  | 演 者 名   | 会 場                 | 参加者                 |
|--|---|--|---|---------------------|---------------------|
| 第 529 回 研修会<br>2010 年 4 月 24 日                 | ①放射線管理士からアンケート報告<br>②テーマ：「日本放射線技師会の<br>認定制度について」<br>③テーマ：「診療報酬の動向」  | 管理士会<br>京都府放射線技師会会長<br><br>エーザイ株式会社  | 山根 稔教<br>轟 英彦<br><br>森川   | エーザイ<br>京都支店        | 42                  |
| 第 530 回 研修会<br>2010 年 6 月 19 日                 | 特別講演 1:「診療報酬改定について」<br>特別講演 2:「フィルムレス環境に<br>向けた新たな検像スタ<br>イル（検認）」<br>教育講演：「心臓の解剖学”AHA<br>分類を中心に”」   | 第一三共株式会社<br>大阪医大<br><br>舞鶴共済病院   | 石浦基文<br><br><br>北井孝明  | ホテルセン<br>トノーム<br>京都 | 47（非<br>会 員<br>8 名） |
| 第 531 回 研修会<br>夏季研修会<br>2010 年 9 月 4 日<br>1 日目 | 「当院における CT コログラフィ<br>における取り組みについて」<br>「軽度認知障害（MCI）における<br>eZIS と VSRAD との比較検討」<br>「マンモグラフィ専用診断システムの紹介」<br>「睡眠時無呼吸症候群検査について<br>～CPAP 療法を体験して～」<br>「デジタルマンモグラフィの最新情報」   | 宇治武田病院<br><br>綾部市立病院<br><br>エルクコーポレーション<br>京都ルネス病院<br><br>GEヘルスケア・ジャパン                                     | 原口 隆志<br><br>井田 正明<br><br>神原 尚男<br>今井 敬治<br><br>海野 柔  | マリアー<br>ジュ玉姫殿       | 46                  |
| 第 531 回 研修会<br>夏季研修会<br>2010 年 9 月 5 日<br>2 日目 | 「i P h o n e を使った遠隔画像<br>閲覧システムの使用経験」<br>「各モダリティーにおける急変時<br>対応マニュアルの作成」<br>「心臓の解剖学」<br>「ヨーロッパ放射線学会報告」1<br>「ヨーロッパ放射線学会報告」2   | 洛和会音羽病院<br><br>福知山市民病院<br><br>舞鶴共済病院<br>舞鶴共済病院<br>舞鶴共済病院   | 草木 晴香<br><br>山本 香織<br><br>兵藤 康弘<br>北井 孝明<br>小川 武  | マリアー<br>ジュ玉姫殿       | 31                  |
| 第 532 回 研修会<br>2010 年 11 月 19 日                | テーマ：「マンモグラフィでの<br>QC について」<br>テーマ：若手技師による発表(4～6 演題)<br>「当法人の健康管理センターにお<br>ける乳がん検診の現状」<br>「創外固定具使用患者撮影におけ<br>る撮影法の確立」第一報<br>「創外固定具使用患者撮影におけ<br>る撮影法の確立」第二報<br>「トモシンセシスにおける画像再<br>構成高さと断層厚の関係」<br><br>「リスのリスクを知ってグ(リ)ッドな写真を撮ろう！」<br>教育講演：「急性肺炎における CT 検査」 | 大阪医科大学附属病院<br><br>田辺中央病院<br><br>大阪医科大学附属病院<br><br>大阪医科大学附属病院<br><br>京都医療科学大学<br><br>京都第二赤十字病院<br>京都第二赤十字病院 | 森永 泉美<br><br>中村 朗子<br><br>下和田悠斗<br><br>須藤安希子<br><br>宇野 貴大<br>(学生)<br>(共同演者河野<br>優介、遠山景子、<br>笠井俊文)<br><br>山添 元士<br>河本 勲則 | メルパルク<br>京都         | 48                  |

| 平成 22 年   | 演 題 名  | 所 属   | 演 者 名   | 会 場                         | 参加者                                |
|---|--|---|---|-----------------------------|------------------------------------|
| 第 533 回研修会<br>(市民公開講座)<br>2011 年 1 月 22 日   | 特別講演：『生活に大事な手（手の低浸襲手術について）』<br>会長講演：『市民に見える診療放射線技師』<br>教育講演：「手のMRIについて」<br>「整形領域のCTについて」   | 宇治武田病院院長<br>日本放射線技師会会長<br>大阪医科大学附属病院<br>京都大学医学部附属病院   | 勝見 泰和<br>中澤 靖夫<br>山村憲一郎<br>小泉 幸司  | メルパルク<br>京都                 | 77 (内会<br>・<br>員<br>一<br>般<br>17名) |
| 平成 22 年度近畿地域<br>学術大会<br>2011 年 2 月 20 日<br>テーマ：<br>『いま一度基礎を見<br>つめ直そう～ 初心に<br>帰って謙虚あれ～』 | 基調講演：『時代の潮流と放射線技師<br>会の役割』<br>特別講演：『コーチング技術を学ぼう』<br>ランチョンセミナー：<br>I 「胸部X線写真読影の基礎」<br>II 「腹部MRI 読影の基礎」<br>市民公開講座：『戦国武将の脳に学ぶ』<br>シンポジウム：「新人教育にあたり伝<br>えたいこと」       | 日本放射線技師会会長<br>TERUコミュニケーションステージ<br>和歌山県立医科大学准教授<br>和歌山南放射線科クリニック<br>和歌山県立医科大学理事長<br>京都府放射線技師会<br>滋賀県放射線技師会<br>大阪府放射線技師会<br>奈良県放射線技師会<br>兵庫県放射線技師会 | 中澤 靖夫<br>渡部 照子<br>園村 哲郎<br>寺田 正樹<br>板倉 徹<br>後藤 正<br>上久保賢二<br>圓尾 圭司<br>南部 秀和<br>上田 治 | 和歌山県勤<br>労福祉会館<br>プラザホープ    | 222                                |
| 第 534 回研修会<br>地区合同研修会<br>2011 年 3 月 13 日  | 『腹部MRI 撮影のひと工夫』<br>『各モダリティにおける急変時対<br>応マニュアル』<br>『3 T MRI の使用経験』<br>『20 歳代の診療放射線技師のモチ<br>ベーションについて』<br>『ライフセービング活動について』<br>『当院における冠動脈CT』<br>『当院における乳腺 MRI の取り組み』 | 大阪医科大学附属病院<br>福知山市民病院<br>宇治徳洲会病院<br>京都医療科学大学医療科学部<br>京都通信病院<br>もりした循環器科クリニック<br>京都府立大学附属病院  | 松本 洋一<br>山本 香織<br>荒本信之介<br>遠山 景子<br>國分 武<br>芝田 達郎<br>池野 寛康                          | エーザイ<br>株式会社<br>京都支店<br>会議室 |                                    |
| 春季研修会<br>2010 年 6 月 12 日  | 『頸動脈プラークのMRI イメージ』<br>『HOP-MRI について』<br>『MRI の基礎編 FOV』<br>『3 T - MRI の臨床応用における<br>課題と展望』   | 舞鶴医療センター<br>京都丹後市立弥栄病院<br>綾部市立病院<br>フィリップスエレクトロニクス  | 廣畑 謙一<br>平林 良介<br>村上 昭彦<br>井上 泰吉  | 綾部市立病院                      | 34                                 |
| 秋季研修会<br>2010 年 12 月 4 日  | 『MRI の安全管理』<br>『各施設における MRI 撮影時の安全<br>対策について』  | 舞鶴共済病院<br>市立福知山市民病院<br>京都府立与謝の海病院<br>丹後中央病院<br>舞鶴赤十字病院  | 小川 武<br>三輪 昂太<br>大下 安彦<br>由良 光生<br>藤原 朗   | 綾部市立病院                      |                                    |
| 冬季研修会<br>2011 年 2 月 19 日  | 『放射線技師が携わった ICT の活動報告』<br>『造影剤の使用目的』<br>『デジタルマンモ撮影装置の紹介』<br>『FPD の最新アプリケーションの紹介』   | 市立福知山市民病院<br>舞鶴共済病院<br>島津製作所<br>島津製作所   | 吉見 祐哉<br>兵藤 康弘<br>森 達弘<br>角川 元延   | たかた荘                        |                                    |
| 2010 年 12 月 19 日  | 診療放射線技師基礎講習  | 日本放射線技師会推薦  |   | キャンパス<br>プラザ京都              | 114                                |

## ◇ 編 集 事 業 ◇

編集委員長 中 島 智 也

平成 22 年度の編集事業は、例年通り毎月 1 日に「京放技ニュース」を発刊、年度末には京放技の雑誌を製作しました。京放技ニュースは研修会や行事等のイベントの案内・報告、日本放射線技師会の重要なお知らせ、会長・副会長の意見などを掲載しました。

編集委員は初めての経験でもあり、多々ご迷惑をおかけしたこともあったかと思いますが、京放技ニュースに対する意見・ご要望、原稿の投稿などございましたら事務所まで FAX か電話でお願いします。

### ■編集委員会構成

村上 雅之（京都大学医学部附属病院）

中島 智也（田辺中央病院）

以上 2 名と河本副会長で行いました。

### ■発刊書籍

|         |                       |     |
|---------|-----------------------|-----|
| 京放技ニュース | 通算 599 号（H22 年 4 月号）  | 8 項 |
| 々       | 通算 600 号（H22 年 5 月号）  | 8 項 |
| 々       | 通算 601 号（H22 年 6 月号）  | 8 項 |
| 々       | 通算 602 号（H22 年 7 月号）  | 6 項 |
| 々       | 通算 603 号（H22 年 8 月号）  | 6 項 |
| 々       | 通算 604 号（H22 年 9 月号）  | 4 項 |
| 々       | 通算 605 号（H22 年 10 月号） | 6 項 |
| 々       | 通算 606 号（H22 年 11 月号） | 4 項 |
| 々       | 通算 607 号（H22 年 12 月号） | 6 項 |
| 々       | 通算 608 号（H23 年 1 月号）  | 6 項 |
| 々       | 通算 609 号（H23 年 2 月号）  | 8 頁 |

（別刷り）平成 23 年度事業計画（案）・予算書案（案）頁  
京放技ニュース 通算 610 号（H23 年 3 月号） 8 頁  
平成 22 年度京都府放射線技師会臨時総会資料  
平成 22 年度 京都府放射線技師会（年報）

## ◇ 厚 生 事 業 ◇

厚生委員長 中 川 稔 章

平成 22 年度厚生事業活動の概況を報告致します。田中理事、上原委員、金津委員、西本委員、吉田委員の 6 名にて、京都府放射線技師会が推進している地区活動及び会員相互の親睦を目的に一年間活動してきました。今年度も会員の協力のおかげで事業を無事行うことができました。

### ■担当委員

上原 秀夫 京大病院

西本 岳 京都第二赤十字病院

吉田 忠剛 洛和会音羽病院

金津 武弘 自宅（囲碁担当）

田中 久志 堀川病院（北地区理事）

### ■フレッシュ放射線技師の集い

6 月 19 日（土）全地区委員会開催後、ホテルセントノーム京都にて開催しました。フレッシュ技師 22 名、会員 43 名が参加。轟会長の挨拶後、森名誉

会員の乾杯により始まりました。今年は大阪医大の技師さんたちに進行をお願いし、フレッシュ技師の紹介をインタビュー形式で楽しく進行していただき会を盛り上げていただきました。フレッシュ技師の方々は、他の施設とまだ交流が少なく、熱心に若手、ベテラン技師の話に耳を傾けていました。また、フレッシュ技師の話も聞くことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。

### ■第 57 回近畿地域放射線技師会野球大会

11 月 7 日（日）あやしい空模様の中、第 57 回近畿放射線技師会野球大会が和歌山県紀の川市「貴志川スポーツ公園」にて開催されました。

今年こそはなんとか優勝をとがんばりましたが、残念ながら 3 位に終わりました。

1 回戦は投打がうまくかみ合い、滋賀県に 6 対 2 と快勝しました。2 回戦は開催県でシードの和歌山県との対戦でした。1 回戦の勢いそのままに試合に

望みましたが、1回表に3点先制され、その裏すぐに逆転するも悪い流れを断ち切れず、ずるずると得点され一歩およばず7対5で敗退しました。気を取り直して臨んだ3位決定戦は、本日3試合目でメンバーの疲労も目に見える形となり心配しましたが、打者一巡の猛攻などで快勝しました。

#### 【1回戦】

京都府 22011 = 6

兵庫県 10100 = 2

#### 【準決勝】

和歌山県 31210 = 7

京都府 40100 = 5

#### 【3位決定戦】

兵庫県 010000 = 1

京都府 008100 = 9

優勝 大阪府

準優勝 和歌山県

3位 京都府

4位 兵庫県

5位 奈良県

6位 滋賀県

### ■京都府放射線技師会新年会

平成23年1月22日(土)市民公開講座の後、メルパーク京都にて京都府放射線技師会新年会を開催しました。参加者は57名(賛助会員含む)でした。午後6時より轟会長の挨拶に始まり、中澤日本放射線技師会会長の挨拶、小倉名誉会員の乾杯の音頭により、新年会を楽しく始めさせて頂きました。今年も賛助会員の自己紹介をしていただいたり、会員それぞれの近況などいろいろな情報を交換したりしておおいに盛り上がりました。午後8時、河本副会長の閉会の挨拶により、和やかなうちに終了いたしました。

### ■第22回近畿地域放射線技師会囲碁大会

#### 京都府予選会

12月12日(日)京都府放射線技師会会議室にて開催しました。

#### 【予選参加者及び成績】

1位 小林 徹 4勝1敗

2位 藤田瑞穂 4勝1敗

3位 荒木信義 3勝2敗

4位 笹井清司 3勝2敗

5位 古川 襄 3勝2敗

6位 江南伸治 2勝3敗

7位 森江 彰 2勝3敗

8位 金津武弘 1勝4敗

9位 轟 英彦 0勝4敗

以上 上位5名出場決定

### ■近畿大会

平成23年1月16日(日)滋賀県の大津プリンスホテルにて、近畿2府4県各地区の予選を勝ち抜いて来た精鋭の囲碁愛好者および関係者54名が集い開催されました。

滋放技 田中担当理事の開会宣言後、滋賀県小川会長の挨拶があり、小菅競技責任者より、近畿囲碁大会の創設者でもある大放技の長船名誉会員へ卒寿記念品を選手を代表して贈答、その後競技説明があり早速熱き戦いが始まりました。

3回戦を終了して連覇を狙う奈良が3連勝で暫定1位、京都、兵庫2勝1敗で暫定2位タイ、滋賀、大阪、和歌山が1勝2敗で暫定4位タイ、順位は4回戦で決まることになった。京都対兵庫、これに勝てば他力本願ながら優勝の目が出てくる。奈良は地元滋賀と対戦。京都が兵庫に勝ち滋賀が奈良に勝てば1位で並ぶがあとは勝ち数が関係する。結果は京都4勝1敗で兵庫に快勝し、滋賀対奈良は滋賀が4勝1敗で奈良に勝利した。最終戦で団体3勝1敗で奈良と京都が並んだが勝ち数が京都は12勝8敗、奈良は11勝9敗のため京都がついに逆転優勝!

来年の大会は兵庫県にて開催予定です。

なお敢闘賞には古川 襄選手が受賞されました。

#### 団体の部

1位 京都府 3勝1敗 (12勝 8敗)

2位 奈良県 3勝1敗 (11勝 9敗)

3位 滋賀県 2勝2敗 (11勝 9敗)

4位 兵庫県 2勝2敗 (10勝 10敗)

5位 大阪府 1勝3敗 (9勝 11敗)

6位 和歌山県 1勝3敗 (7勝 13敗)

#### 個人の部

荒木信義選手 2勝2敗

小林 徹選手 3勝1敗

笹井清司選手 3勝1敗

藤田瑞穂選手 1勝3敗

古川 襄選手 3勝1敗

## 組 織 調 査 事 業

組織調査委員長 久保田 裕一

平成 22 年度は京都府下への新入職者調査事業、全地区委員会の企画及び施行、21 年度実施しました調査事業の集約、各地区の連携強化の 4 つを柱とした事業計画案に基づいて事業を行いました。

年度初めの 4 月下旬より各会員施設 117 施設、学校 6 校へ新入職者の紹介依頼を実施。6 月 19 日ホテルセントノーム京都にて全地区委員会の開催。

また、各地区委員会への出席を行いました。

新入職者の調査は各会員施設宛へ入職者の調査を実施していますが、全ての情報を網羅できていない現状であります。今後の調査方法を含めて検討する必要があります。

全地区委員会は今年度も会議前にミニセミナーを実施しました。21 年度に引き続き手話を取り上げました。講師として松下記念病院の馬庭淳氏（大放技）に『やさしい手話講座：アイ・ラブ・コミュニケーション』という聴覚障害者とのコミュニケーションについてお話いただきました。

会議は京都府放射線技師会の事業説明、各地区からの事業報告、生涯学習システム、京放技及び日放技への質問や意見交換を中心に行いました。

調査事業としては昨年実施しました教育に関するアンケートの集約を行いました。

また今年度新たに厚生委員会と協力を行い、新入会及び転入会を中心とした京放技会員の親睦会及びボウリングを京放技学遊会と命名し実施しました。次年度は事業としてより多くの会員の親睦につながることを期待しています。

各事業の詳細を報告します。

### ■担当委員

- 前 田 富美恵 (京都市立病院)
- 蒲 順 之 (大島病院)
- 熊 井 由 昌 (大阪医科大学附属病院)
- 平 田 紗知子 (関西医科大学枚方病院)
- 松 元 誠 (松下電器健康管理センター)
- 久保田 裕 一 (関西医科大学枚方病院)

以上 6 名にて組織調査事業を行いました。

### ■ 22 年度活動年表

- 4 月 5 日 組織調査委員へメール配信
- 4 月 30 日 新卒者就職先調査依頼を 6 学校、117 会員施設へ発送作業
- 5 月 26 日 新入会案内、フレッシュ診療放射線技師の集い案内発送 (34 名)  
全地区委員会案内発送 (32 名)
- 6 月 2 日 東地区委員会参加
- 6 月 8 日 組織調査委員会
- 6 月 19 日 全地区委員会開催
- 9 月 10 日 教育に関する調査結果ホームページ掲載
- 9 月 24 日 西南部地区委員会出席
- 9 月 30 日 組織調査委員会
- 11 月 16 日 西南部地区委員会出席
- 12 月 2 日 組織調査委員会
- 平成 23 年
- 2 月 5 日 京放技学遊会 案内発送作業
- 2 月 16 日 組織調査委員会
- 2 月 26 日 京放技学遊会開催

### ■診療放射線技師の新卒者紹介

6 校及び 117 会員施設宛てへ京都府下に就職された新卒者紹介の依頼を行ないました。32 名の紹介がありフレッシュ診療放射線技師の集いへの案内を発送しました。

### ■全地区委員会

平成 22 年 6 月 19 日 (土) 午後 4 時 30 分よりホテルセントノーム京都平安の間にて開催

出席者の内訳

地区委員 16 名、名誉会員 4 名、理事 (会長、副会長含む) 16 名、監事 2 名、組織調査委員 3 名。以上 41 名の出席者により全地区委員会を開催しました。

全地区委員会内容

1. ミニセミナー (16:30 ~ 17:10)

松元委員の司会進行により開始される。大阪府放射線技師会の馬庭淳氏に『やさしい手話講座：アイ・ラブ・コミュニケーション』と題して講演していた

だった。手話の実践、手話の特徴、手話の説明、手話のコツ、医療現場での手話の実践、質疑など時間が足りないほど内容の濃く、出席者が手話に関心を持つよい機会となった。

## 2. 委員会 (17:20 ~ 18:30)

久保田理事の司会進行により開始。轟会長より京放技の事業報告の報告がなされた。年報の内容を一新しました。個人情報への配慮により連絡先名簿は削除しています。これは新公益法人に向けての事で内容も会員及び京都府民まで幅広く見ていただけるものになるように、一般市民にも親しみやすいものに改定しています。表紙も『年報』から『京都府放射線技師会』と変えました。定款に関しても変更しています。研修会においては毎月1回、毎回1時間半くらいのペースで行っていましたが、回数にこだわらず、毎回の時間長くすることで内容の充実化を図っていかうかと思っています。

河本副会長より日放技総会報告：スライドにて説明がなされた。本会の事業・生涯学習において改修・改革を行ってまいりました。チーム医療推進にアピールしていきたいと考えています。その指針として診療放射線技師に関して、画像読影補助、検査に関する説明・相談について行うこと2つが挙げられた。画像読影補助については我々の技術が高く評価された。放射線科医との連携をしっかりと持たないといけない。特に厚生労働省との信頼関係の回復、厚生労働省はじめ他団体の理解を得られなければ認定制度の成功はないと思っています。公益社団法人への移行に向けて日・放・技は各都道府県技師会と強調・一体となって事業を進めて行きたい。よって、日本放射線技師会会員は全て各都道府県技師会に所属することを条件とする。平成21年度事業報告がなされた。①診療報酬が10年振りにプラス改定となり撮影技術料が認められた。②会員だけでなく、診療放射線技師全員を対象にe-ラーニングによる生涯学習を構築し、実行した。③改定委員会を設置し定款改正に向けて準備を行った。④Aiガイドライン作成の4点であった。平成22年度事業計画は①生涯学習システムをさらにわかりやすくする。②診療放射線技師：4年制に合わせる。③診療報酬改定④公益法人への移行⑤他団体との強調の5点で

あった。

轟会長より教育関係：スライドにて説明がなされた。生涯システムの概要：診療放射線技師の使命(国民の健康を守る)・生涯学習の目標

応答をしっかりとしないといけないのでADセミナーを厚生労働省の後援にて技師基礎講習として更新する。医療基礎コース・安全管理コース・技術基礎コース・癌医療コース・画像読影コースの5つあるが会員だけではなく診療放射線技師全員が対象となる。認定資格(管理士)を認定診療放射線技師(5年更新)と基礎の認定とし、日・放・技会員のみ認定とする。各種認定機構(技術学会など)の専門技師を専門診療放射線技師(5年更新)とし、日放技(職能団体)を通じて厚生労働省に申請することで初めて国に認められる資格となる。よって日放技に所属していることはメリットとなる。技師診療放射線技師の上に専門診療放射線技師を置く。技師会は職能団体であるので、ベースアップを目標としており、技術学会はスキルアップを目標としている。

久保田理事の司会進行により各常務委員会の説明、各地区の理事・委員紹介がなされた。

質疑応答は北村副会長より地区委員への要望があった。京都府放射線技師会だけではなく、年々会員が減少しています。興味がないからいいというのではなく、職能団体として国へ働きかける大きな力になる。大いに国に認められるように委員さんに精進を望みます。また新公益法人にならないとせつかく払っていただいた会費を税金として持っていけます。組織率が下がっていくと後々、診療放射線技師の立場がかなり危険な状態、例えば給料50%以下に下がるようなことが危惧されます。できるだけ多くの方に入会をしてもらい厚生労働省に広告できるようにご協力のほどよろしくお願い致します。

また轟会長より看護協会の組織率は55%しかない。技師会は65%程度であり70%に戻すことが最大の目標です。60%をきるような組織率では国は見向いてくれない。との組織率の説明がなされた。

久保田理事より閉会の辞に終了となる (18時30分)

## ■調査事業

教育に関する調査の集約

以下添付資料

## ■京放技学遊会 試験的開催

23年度新事業にむけて平成22年2月26日に京放技学遊会をしょうごん京都光悦村にて開催しました。これは新入会及び転入会を交えた会員間のオリエンテーション&親睦会として組織調査及び厚生委員会で企画いたしました。今年度は案内の時間が短く16名の参加数でしたが、内容に関しては出席者からは好評をいただいた。更に多くの会員に参加していただける会になるよう企画していきます。

『京放技学遊会』とは、技師会を通じて色々な事を学び、技師会員が共に遊ぶ会となることを願って作った造語です。

# 平成 21 年度 京都府放射線技師会 教育に関するアンケート結果

アンケート回収数 136 名 /540 名 (回収率 25.2%)

## 1. (1) 貴施設の病院区分

|      |       |       |       |      |      |      |      |      |
|------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| 国立大学 | 私立大学  | 国公立   | 私立    | 企業   | 医院   | 健診関係 | 定年退職 | その他  |
| 2.2% | 12.5% | 21.3% | 32.4% | 5.1% | 9.6% | 6.6% | 2.9% | 7.4% |

## 1. (2) 貴施設の病床数

|      |      |       |         |         |       |      |
|------|------|-------|---------|---------|-------|------|
| なし   | 1～19 | 20～99 | 100～499 | 500～999 | 1000超 | 不明   |
| 9.6% | 3.7% | 7.4%  | 44.9%   | 5.1%    | 7.4%  | 8.8% |

## 1. (3) 貴施設の技師数

|      |       |       |        |       |      |
|------|-------|-------|--------|-------|------|
| 1人   | 2～5人  | 6～10人 | 11～20人 | 21人以上 | 無記名  |
| 4.4% | 23.5% | 21.3% | 15.4%  | 30.1% | 5.1% |

## 1. (3) 貴施設の技師数 (非常勤の割合)

|       |      |      |      |      |      |      |      |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 0%    | ～10% | ～20% | ～30% | ～50% | ～99% | 100% | 無記名  |
| 67.6% | 4.4% | 5.1% | 2.9% | 7.4% | 5.1% | 2.2% | 5.1% |

## 1. (3) 貴施設の技師会員数

|       |      |      |      |      |       |       |
|-------|------|------|------|------|-------|-------|
| ～9%   | ～19% | ～29% | ～39% | ～49% |       |       |
| 2.2%  | 7.4% | 7.4% | 4.4% | 8.9% |       |       |
| ～59%  | ～69% | ～79% | ～89% | ～99% | 100%  | 無記名   |
| 11.1% | 4.4% | 9.6% | 8.9% | 0.7% | 14.1% | 20.7% |

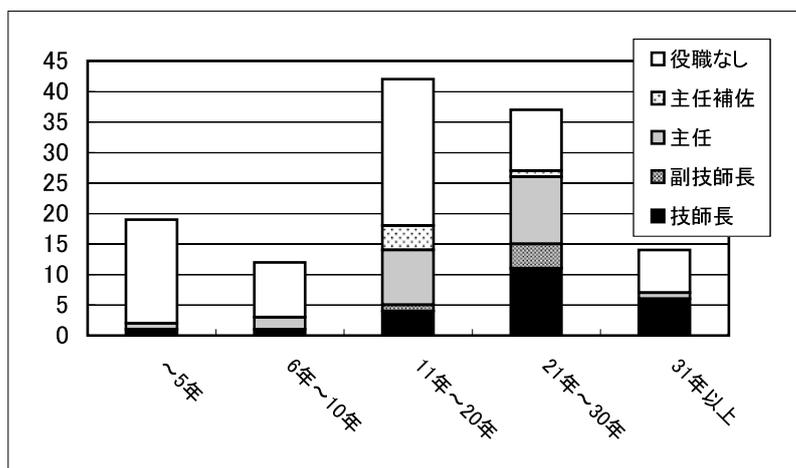
## 1. (4) 貴施設の稼働装置 (診療放射線技師が携わるもののみ)

|         |     |              |    |
|---------|-----|--------------|----|
| 1. 一般撮影 | 125 | 6. 核医学       | 59 |
| 2. X線TV | 107 | 7. 放射線治療     | 49 |
| 3. 血管造影 | 84  | 8. 超音波       | 17 |
| 4. CT   | 115 | 9. その他(骨密度)  | 18 |
| 5. MRI  | 93  | 9. その他(ESWL) | 5  |

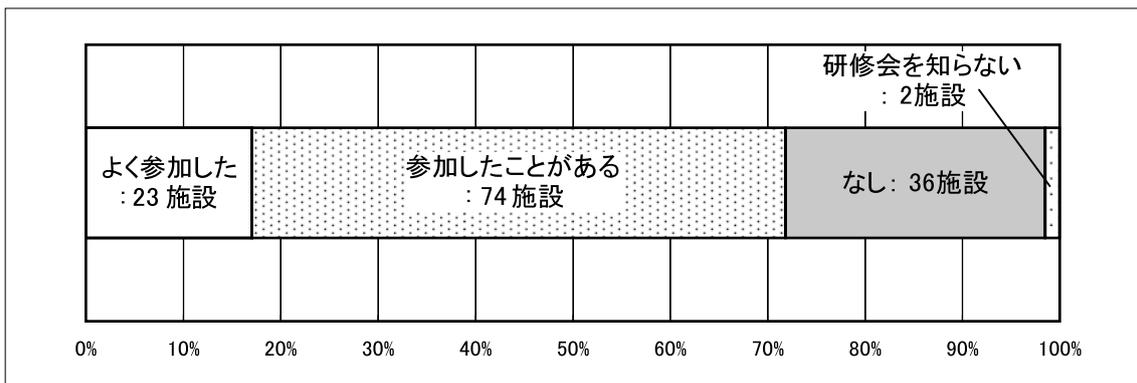
## 2. (1) 勤続年数

|       |       |        |        |       |      |
|-------|-------|--------|--------|-------|------|
| ～5年   | 6～10年 | 11～20年 | 21～30年 | 31年以上 | 無記名  |
| 14.0% | 8.1%  | 34.6%  | 27.2%  | 14.0% | 2.2% |

## 2. (2) 役職について



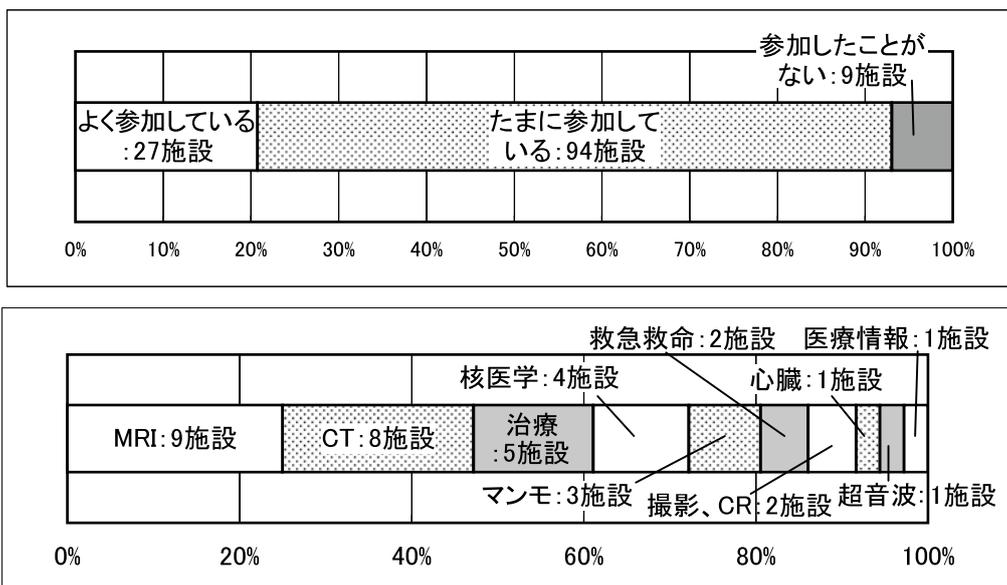
1. (1) 技師会研修会の参加について



1. (2) 技師会研修会で取り上げてほしい内容

- ・ MRI 撮像技術：3 名
- ・ 認定資格関係
- ・ 各モダリティの基礎：4 名
- ・ 施設見学
- ・ 一般企業で扱われている内容
- ・ 心電図
- ・ 感染症
- ・ 救急医療
- ・ タイムリーな内容：3 名
- ・ 読影：4 名
- ・ 各種セミナー
- ・ 撮影技術
- ・ 医療の現状など
- ・ 情報のセキュリティー
- ・ 臨床講座
- ・ 一般教養
- ・ 血液検査について
- ・ 英会話
- ・ 超音波検査
- ・ 著名人の講演
- ・ 今のままでよい：2 名

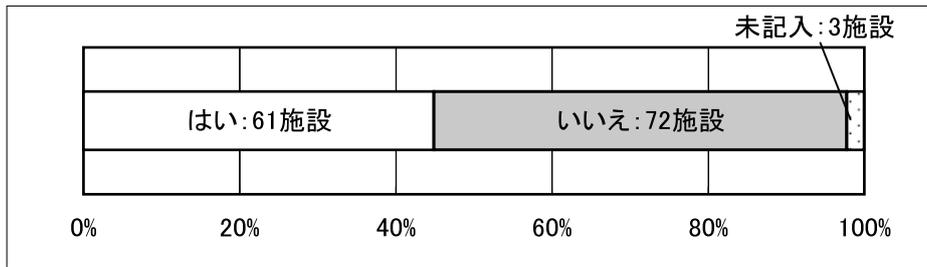
1. (4) 貴施設の稼働装置（診療放射線技師が携わるもののみ）



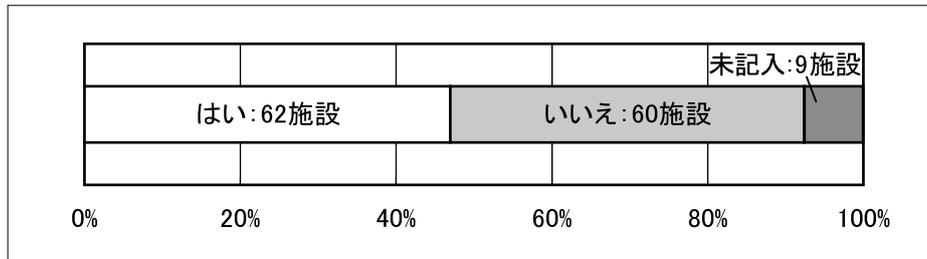
2. (1) 所属学会について

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 日本放射線技術学会 (60)  | 日本医学物理         |
| 日本消化器がん検診学会 (7) | 日本医学放射線        |
| 日本放射線腫瘍学会 (5)   | 日本アイソトープ協会     |
| 日本核医学技術学会 (5)   | 日本核医学          |
| 日本磁器共鳴学会 (4)    | ハイパーサーミア       |
| 日本超音波学会 (4)     | 日本放射線カウンセリング学会 |
| 日本乳癌検診学会 (3)    | 日本放射線技師教育学会    |
| 日本放射線公衆安全学会     | 日本医用画像管理学会     |

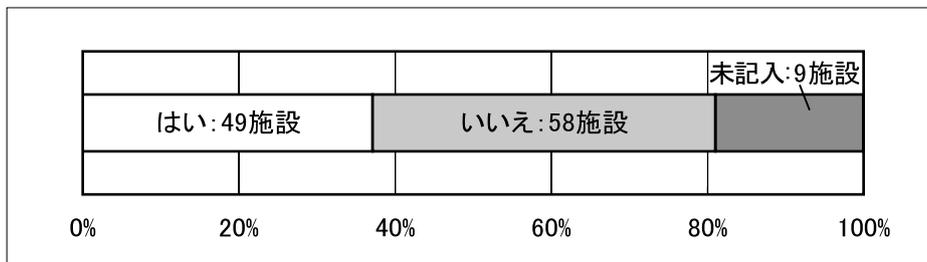
2. (2) 過去3年間、学術大会に参加したことがありますか



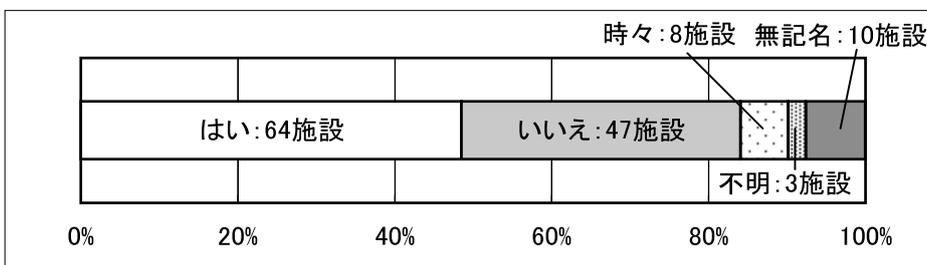
2. (3) 学術大会の参加を推奨していますか



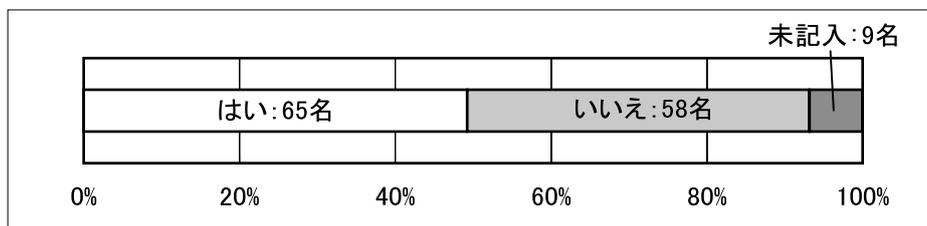
業務として認められていますか



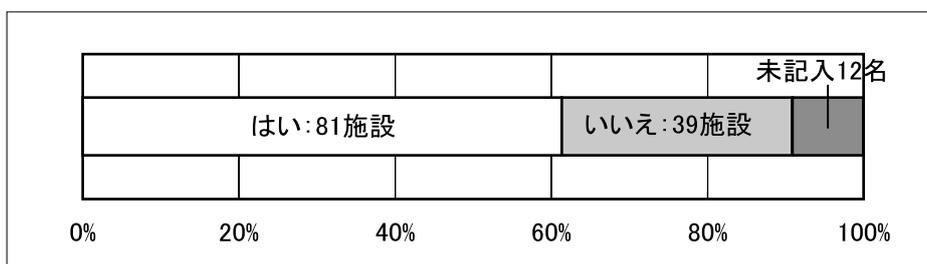
出張費用は公費ですか



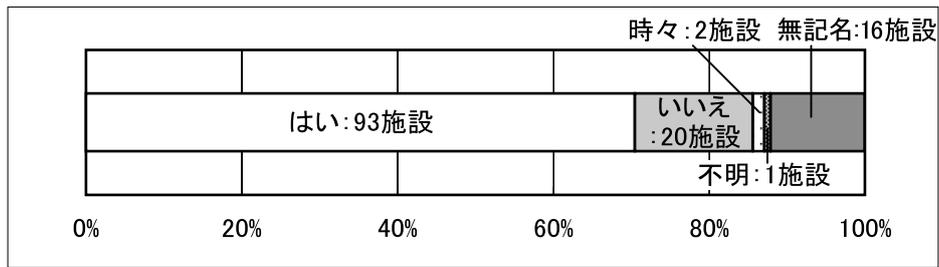
2. (3) 学術大会の発表を推奨していますか



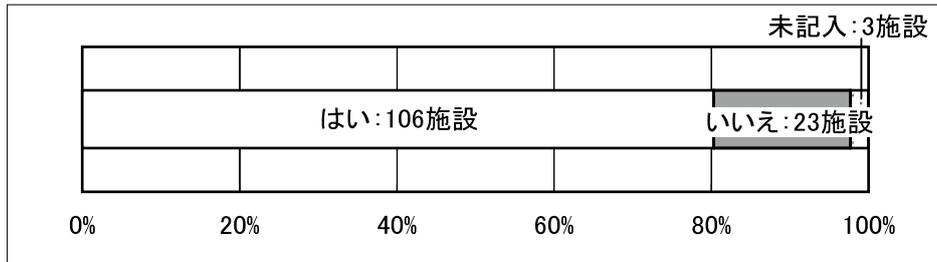
業務として認められていますか



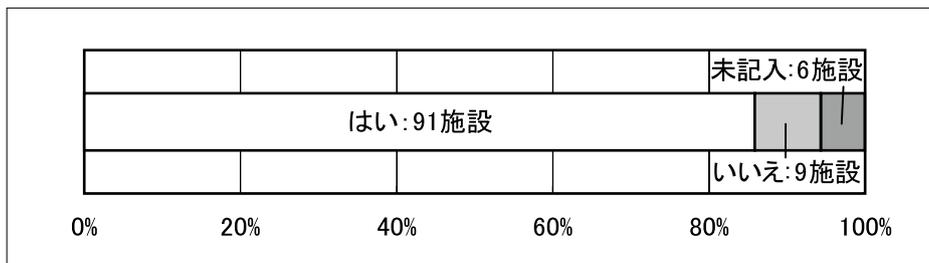
出張費用は公費ですか



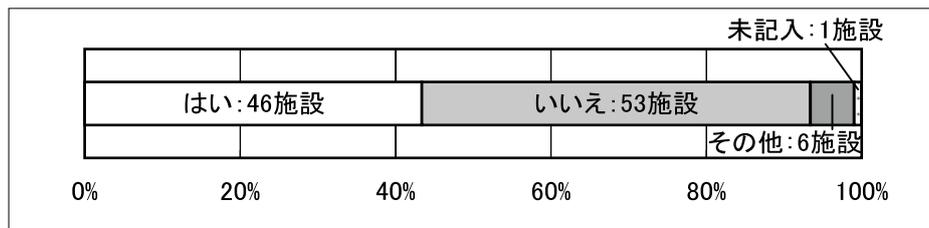
3. (1) 職場全体における研修会や勉強会は行われていますか



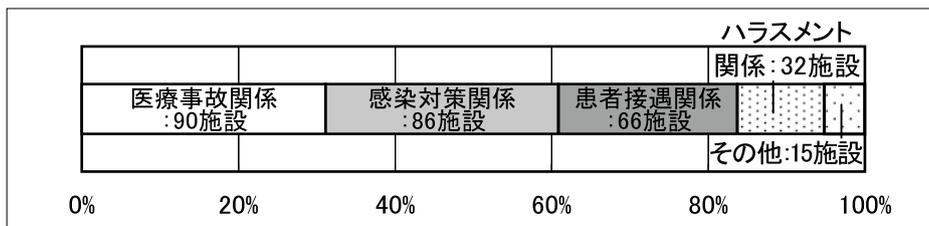
参加されていますか



公務ですか

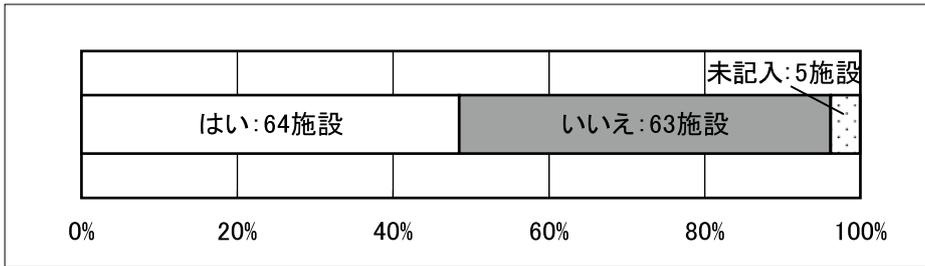


内容について

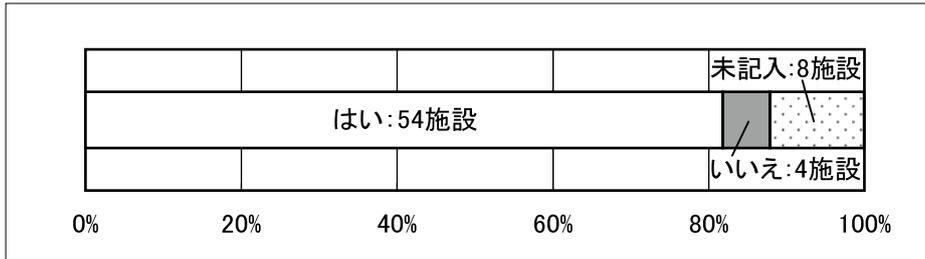


その他：医療制度について、診療に関する内容、医療機器、院内発表、栄養関係、地域文化など

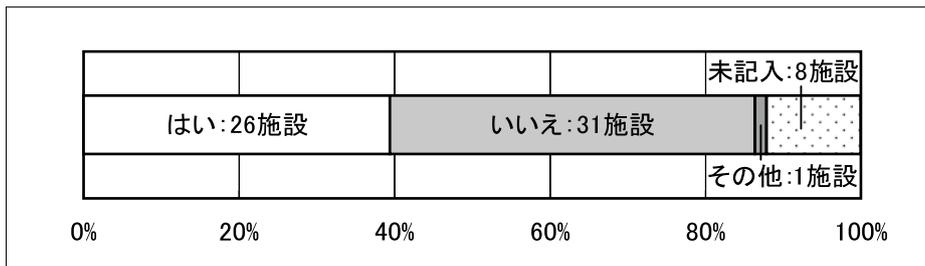
3. (2)放射線部門における研修会や勉強会は行われていますか



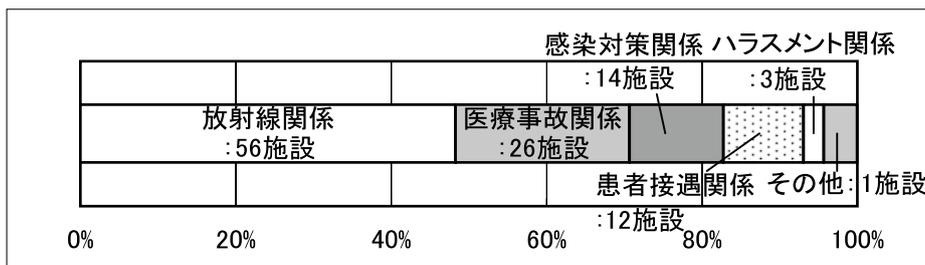
参加されていますか



公務ですか

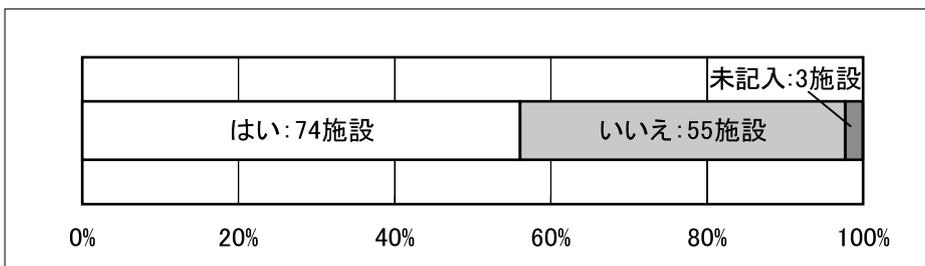


内容について



その他：造影剤に関して、出張報告、原子力事故について

3. (2)新人を対象とした研修会や勉強会は行われていますか



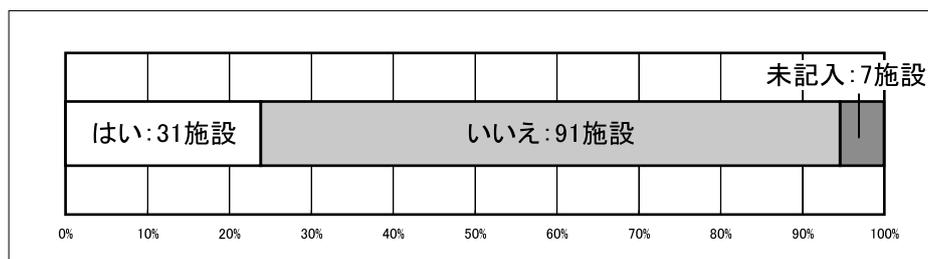
内容について

|          |    |
|----------|----|
| 医療事故関係   | 43 |
| 感染対策関係   | 37 |
| 患者接遇関係   | 53 |
| ハラスメント関係 | 21 |
| その他      | 20 |

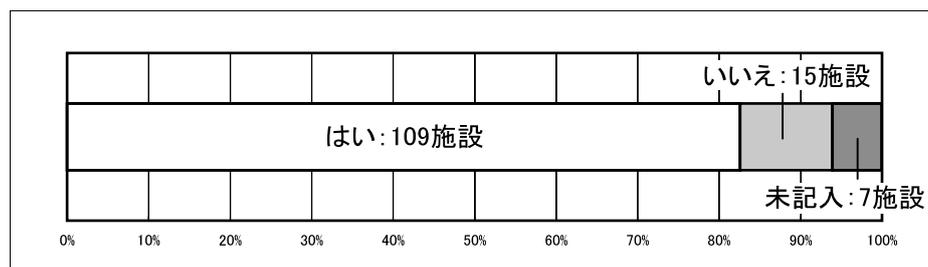
その他：公務員全般、オリエンテーション

3. (4) 新人教育について

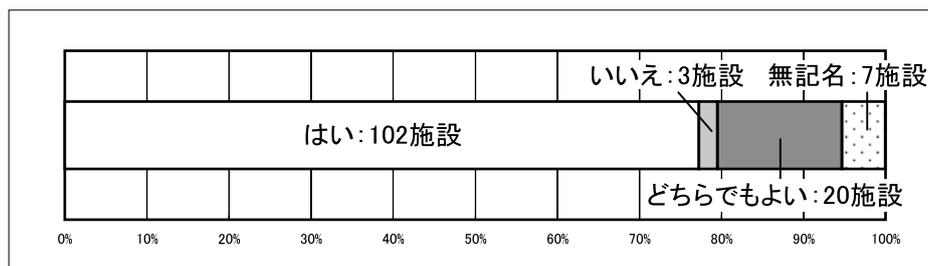
① マニュアルは作成されていますか



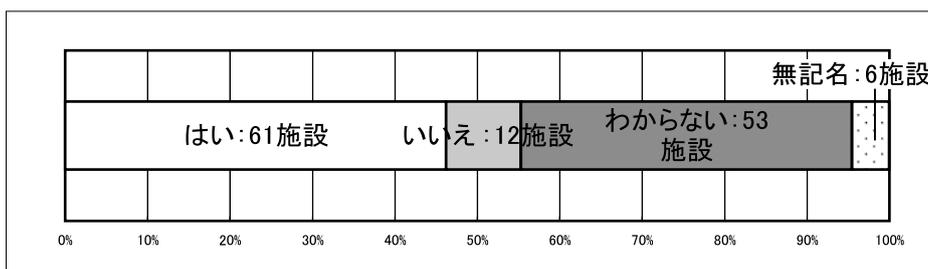
② マニュアルは必要だと思いますか



③ 技師会で新人教育に関する資料があれば良いと思いますか



④ 技師会で新人教育に関する研修があれば参加しますか



⑤新人教育に関する質問、ご意見

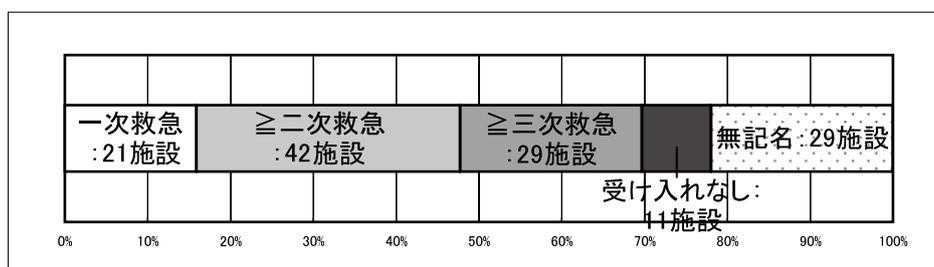
教育は難しいです  
 マニュアルはあくまでもマニュアル、実践で身につけてほしい  
 社会人としての常識や接遇などを企画してほしい：4名  
 ハラスメントに関して取り上げてほしい  
 新人の意欲次第  
 施設ごとに行うべき：2名  
 新人のすべきこと、新人に求めていること  
 マニュアルはあるべきだが、上司が阻害する

3. (5)当直業務について

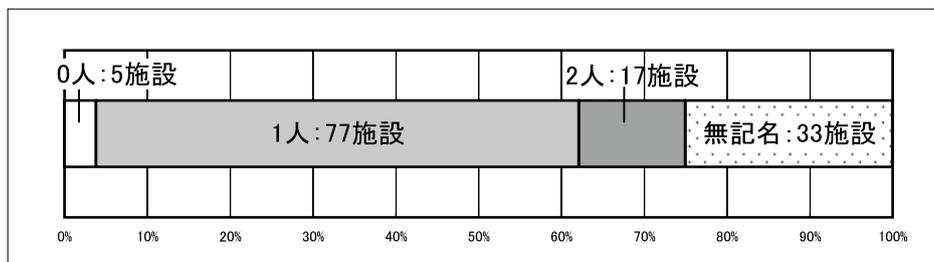
①業務の範囲

|       |     |
|-------|-----|
| 一般撮影  | 101 |
| C T   | 98  |
| M R I | 65  |
| 血管撮影  | 44  |
| その他   | 15  |
| 未記入   | 18  |

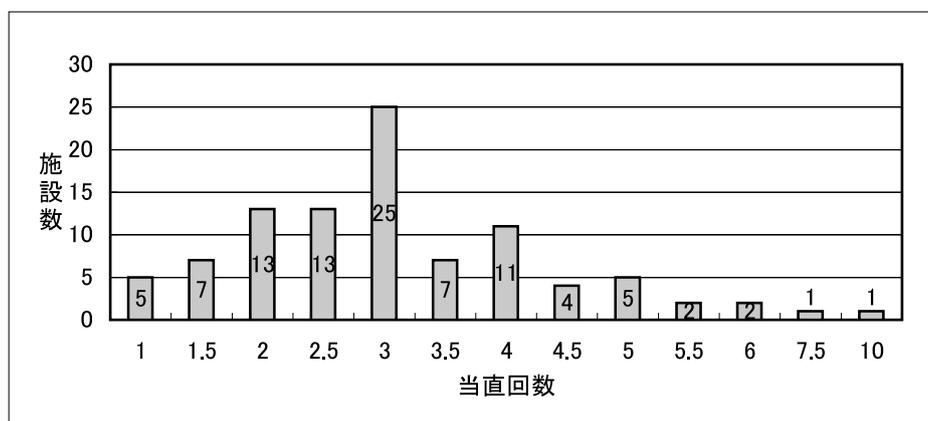
②救急受け入れ体制



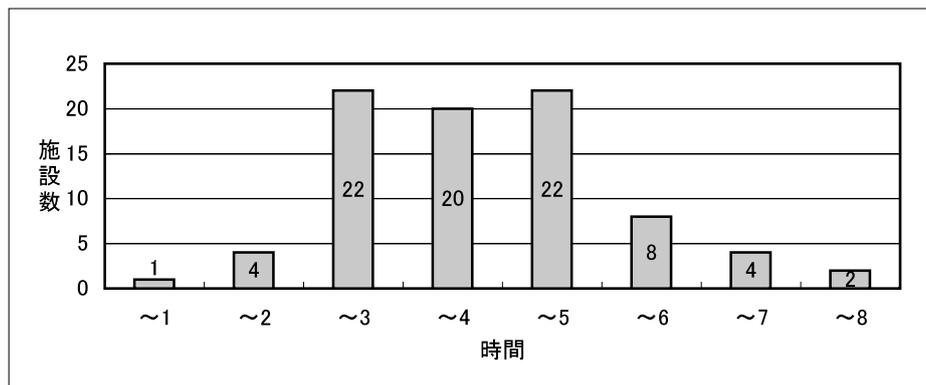
③当直者の体制 (人/日)



④当直回数 (回/月)



⑤当直平均睡眠時間



⑥当直明けの終業時刻

|       |    |
|-------|----|
| 8:00  | 2  |
| 8:30  | 25 |
| 8:45  | 3  |
| 8:50  | 2  |
| 9:00  | 11 |
| 9:40  | 1  |
| 10:00 | 1  |
| 11:30 | 2  |
| 午前中   | 1  |
| 12:00 | 8  |
| 12:15 | 2  |
| 12:30 | 2  |
| 13:00 | 4  |
| 13:30 | 2  |
| 17:00 | 13 |
| 17:15 | 7  |
| 17:30 | 1  |
| 18:00 | 1  |
| 未記入   | 43 |

⑦当直手当の体系は

|         |    |
|---------|----|
| 一律      | 57 |
| 就業年数    | 14 |
| 一律+実働   | 5  |
| 一律+就業年数 | 3  |
| その他     | 9  |
| 未記入     | 43 |

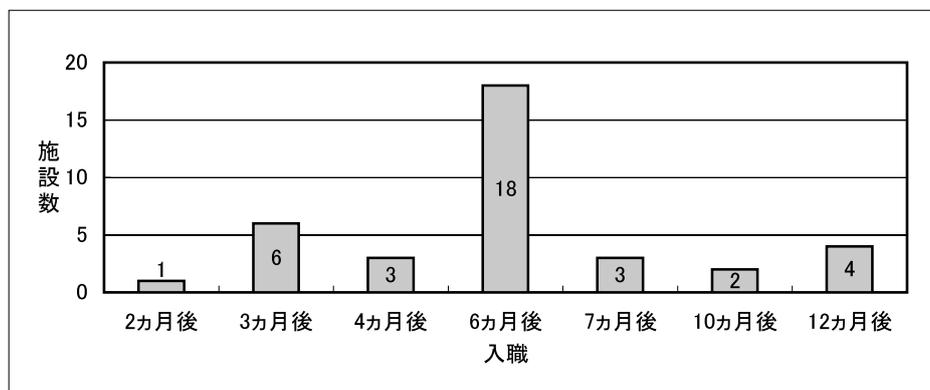
一律  
 私立大：3400～3600、国公立：8000～22000、私立：1500～16800、  
 企業：9000、その他：16000から17000、無記名：10000

一律+実働  
 国公立：4000～5200 + a、私立：10000 + a

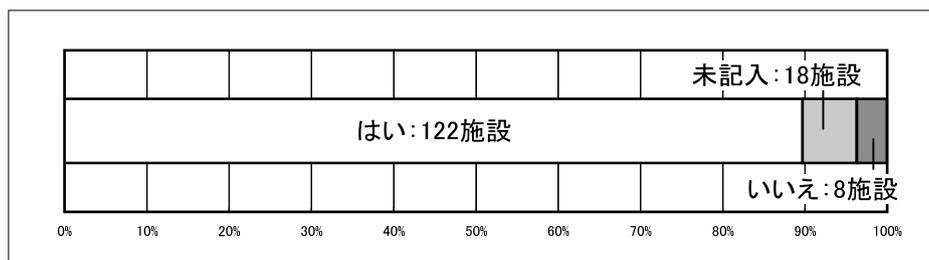
その他  
 検診：なし、その他：なし

⑧当直業務に就くのはいつから

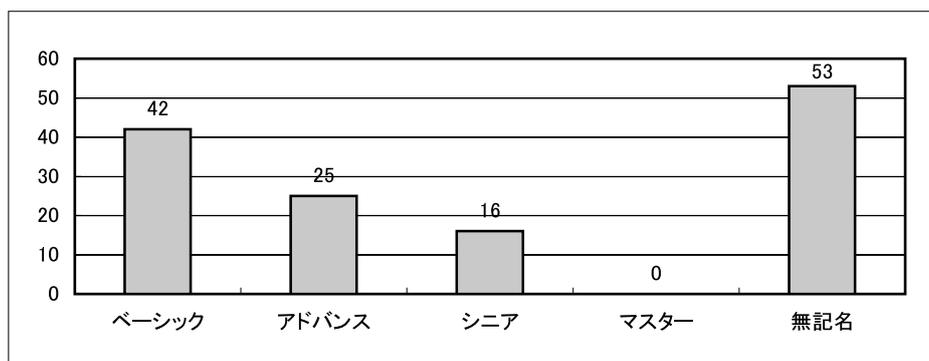
|              |    |
|--------------|----|
| 入職○ヵ月後       | 47 |
| 業務ができるようになって | 42 |
| 未記入          | 43 |



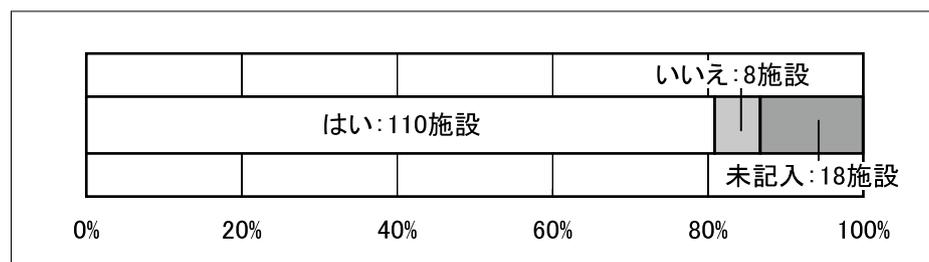
(1) 技師格認定制度を知っていますか



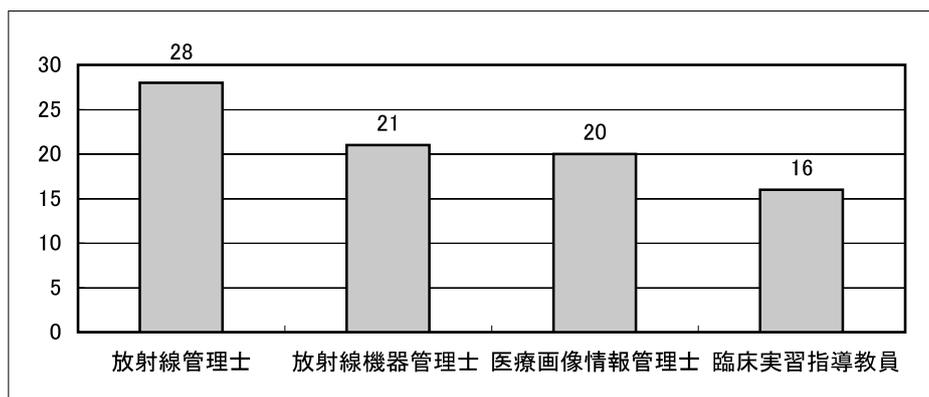
取得されている資格はありますか



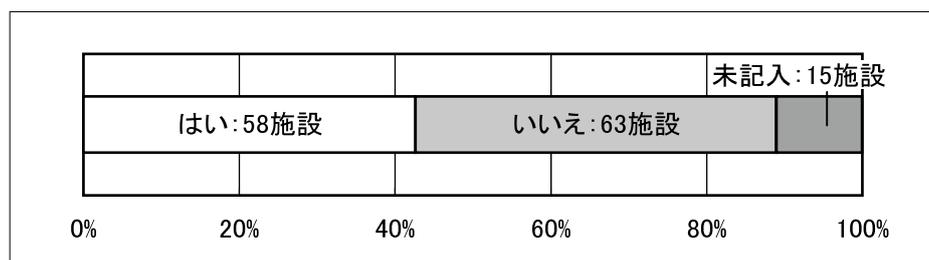
(2) 認定資格制度、技能検定制度を知っていますか



所有資格



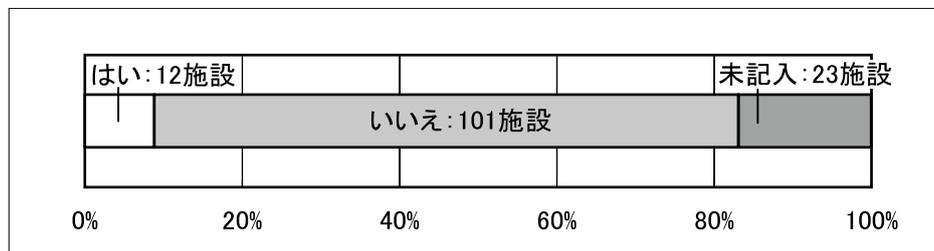
(3) 資格を取得する予定はありますか



「いいえ」の場合の理由

- ・ いかされる場がない
- ・ 業務に反映されない：8名
- ・ 内容が乏しく実用的でない
- ・ 世間に認知されていない
- ・ 都会に出向かないと取得しにくいから、遠方：2名
- ・ 資格の格付けが低い
- ・ 他の資格を取得しているから：2名
- ・ 将来的に立ち消えになって金と時間を無駄にしそうだから
- ・ ポイントが少ない
- ・ 休日は仕事関係以外に使いたい
- ・ 必要性がない：2名
- ・ 東京のみの開催では無理
- ・ 興味もてない：4名
- ・ 格付けみたいで嫌
- ・ 高齢：4名
- ・ 更新が大変
- ・ 業務で忙しいから
- ・ 邪魔くさい
- ・ 金銭的
- ・ 余裕がない：3名

(4) 資格は業務に反映されていますか



「はい」の場合の内容

- ・ 機器の管理など：2名
- ・ 臨床実習指導者が新人教育を担当：2名
- ・ 業務手当て
- ・ 日常業務の責任感の向上
- ・ 測定などに役立った
- ・ 人事評価に役立つ：2名

(5) 生涯学習システムについて意見

- ・ 試験内容が講習に対して難易度が高い
- ・ 更新のハードルが高い
- ・ 日放技の自己満足で国民や技師に認知されていない
- ・ 設備や環境に不備があり不信感がある
- ・ 各種検査の実習を含めたセミナーの実施
- ・ 資格を持った技師が何らかの恩恵がある取り組みをして欲しい
- ・ ころころとシステムが変わるから信頼できない
- ・ 田舎からは行くのが大変
- ・ 機会均等にチャンスを作って欲しい
- ・ 業務に反映されない：3名
- ・ 事故満足感が強い
- ・ 在宅学習は便利
- ・ 家のPCに自宅学習のダウンロードが上手くいかない
- ・ 日放技は資格だ講習だと集金する（変な宗教団体のようだ）
- ・ ネットで講習なんて笑わせるな（技師会のマスターベーションとしか思えない）
- ・ 資金集めにしか思えない
- ・ 認定資格が技師個々の教養と思われる、接遇などの向上を求めたい
- ・ 理念は良いが更新等の維持更新方法が会員に浸透していない

## 技師会にたいする意見

- ・会費が高い（日放技）：7名
- ・一部の人たちだけでやってる感じがする、特に野球や囲碁は出来る人しか参加できない
- ・技師会の加入率を出して欲しい
- ・「皆でこうしよう」ではなく、こうするから付いて来い、来ないなら知らんって感じを受ける
- ・技師会雑誌は個人では必要ない
- ・技師格や認定を持っている人と無い人とと差別化を考えて欲しい
- ・地道に小さい事からコツコツやっていきましょう
- ・東京まで試験を受けにいかなければならないので広まらないのでは：2名
- ・技師会主催の勉強会を開いてください
- ・技師格に役立つ勉強会を増やして欲しい
- ・格モダリティでの撮影法の基本、基礎内容の研修をして欲しい
- ・若い技師に各種認定制度などを理解させることが必要
- ・認定制度を判りやすく、管理しやすくして欲しい
- ・技師長を技師会に入会したらスタッフが入会しやすくなる
- ・研修会に回数を増やして欲しい
- ・技師の世界以外の事を知ること
- ・日放技の雑誌が華美すぎ
- ・超音波の研修
- ・魅力が全く無い
- ・一部の人のみ。他の団体（看護協会など）のように皆が頑張っていけるように
- ・技師会の過去のイメージを変える（政権交代のような）
- ・会員数減少への歯止め
- ・研修会のネット配信
- ・技師会は力がない（看護の認定だと出世する）

## 集約

- ・教育に関するアンケートを実施し会員 136 名（回収率 25.2%）から回答があった。
- ・多少偏りはあるが病院区分、経験年数、役職等多くの回答を得ることができた。
- ・技師会の研修会に参加した経験は半数にとどまった。会員の研修会への要望を踏まえて今後の研修会内容の検討が必要と思われる。
- ・他の研修会への参加者はそれを上回る結果となり、多くの研修会が開催されておりより内容の吟味が必要とも思われる。
- ・学術大会への発表は施設で推奨されることが多くまた公費も多いが、出席に関しては個人での参加が多く施設で認められていない場合がある。
- ・病院全体の勉強会は多くの施設で実施され公務も多いが放射線部門での勉強会の実施は半数を下回り公務として認められていない現状が示された。
- ・新人教育に関しては多くの会員がマニュアルの必要性を感じているものの施設で導入されていない場合が多く、またこれらの勉強会への期待も見られた。
- ・技師会としても新人教育の統一化を図り技師全体のスキルアップの検討が必要だと考えられる。
- ・当直に関しては施設ごとにより業務内容や賃金に大きな格差が認められた。
- ・技師格や認定資格に関しては周知度は高いが取得を目指す回答は少なかった。これは会員の日放技に対する期待度の少なさが表れていると考える。
- ・多くの会員が技師会への意見を持っており、技師会の説明不足が会員の理解や期待度の低さにつながっていると思われる。
- ・今後これらの結果を踏まえ、より会員に理解される技師会活動を展開していく必要があり、日放技へも積極的に呼びかける必要を感じた。

## ◆ 情 報 事 業 ◆

情報委員長 中 田 博 之

今年度も引き続き、ニュース紙面に先立って、情報を掲載することを主に、各委員会の資料を掲載しました。また府民向けには、市民公開講座の動画を公開しました。

尚、新公益法人取得に向け、ホームページの構成も府民向けに変更する必要があるため、作業を進めています。

7月6日

日本放射線技師会第68回定期総会報告

11月21日

市民公開講座の動画公開

ホームページ

<http://www.kyohogi.jp/>

平成21、22年度の委員構成

理事：中田 博之（三菱京都病院）

学術・情報（両丹地区）

城下 克明（京丹后市立病院）

### ■平成22年度の主なホームページ掲載内容

4月12日

通常総会資料掲載作業

4月14日

平成21年監査報告書掲載

4月18日

市民公開講座 動画サイトの作成

5月3日

役員就任あいさつ

5月13日

京都府放射線技師会監事

田城邦幸氏の春の叙勲受賞お知らせ

会誌投稿規定を掲載

6月1日

平成22・23年度（社）京都府放射線技師会役員体制

# ◇ 管 理 士 事 業 ◇

管理士委員長 山 根 稔 教

今年度の管理士会としての活動は、放射線管理の啓発活動、放射線、特に管理に関する知識、経験の向上を図る、会員の放射線管理士更新に向かってのサポート活動及び入会勧誘活動、他の都道府県放射線管理士会との連携を高めるという項目を基に行いました。活動内容として項目ごとに記載していきますと①放射線管理の啓蒙活動としては、9月18日、19日の両日、京都市でくらしと健康展が開催されました。その中の放射線に関する相談コーナーのアドバイザーとして管理士会より3名参加してきました。また、ポスター出展では、放射線治療をテーマとしたポスターを出展しました。②放射線、特に管理に関する知識、経験の向上を図る活動としまして、放射線機器管理に関する講習会を開催いたしました。内容は機器点検をテーマとしたもので半日規模での開催といたしました。③会員の放射線管理士更新に向かってのサポート活動は、講習会にて更新についての情報を講演していただいたこと、講習会受講でポイントの取得を可能にしたことなどです。④他の都道府県放射線管理士会との連携を高める活動として2月20日に和歌山県で開催された近畿地区ネットワークミーティングに参加して近畿2府4県の代表の方々と協議し、今後近畿地区としての取り組みを進めていく要綱を話し合ってきました。

今後の管理士会の活動としては、管理士会を開催しポイントの取得できる講習会を開催して行きたいと考えています。また、国民の皆さんに医療放射線の管理や安全性に対してアピールしていくこと、近畿地区の放射線管理士会とコンタクトを取り連携を深めていくことを目指して行きたいと思っています。

## ■管理士委員会構成員

安藤 博敏  
大澤 啓二  
小東 靖史  
田中 亮  
山根 稔教  
北村 真 副会長（管理士担当）

## ■管理士会会員

平成23年1月現在 40名の会員登録

## ■22年度の活動内容

- 4月25日 京放技研修会にて機器管理アンケート報告
- 6月15日 管理士委員会開催（亀岡シミズ病院）
- 7月3日 放射線管理士部会総会出席
- 7月4日 日本放射線技師会学術大会にて発表
- 7月7日 暮らしと健康展のポスター作成（三菱京都病院）
- 7月9日 暮らしと健康展のポスター編集（南丹病院）
- 9月18、19日 暮らしと健康展にアドバイザーとして3名参加とポスター出展
- 12月4日 島津工場研修室にて放射線機器管理講習会開催
- 2月14日 管理士委員会開催（京放技事務所）
- 2月20日 近畿地区管理士ネットワークミーティング参加

# 京都府内の医療施設における医療用放射線機器管理について〈アンケート調査報告〉

京都府放射線技師会

山根稔教\* 1) 安藤博敏 大澤啓次\* 2) 小東靖史\* 3) 田中 亮\* 4)  
北村 真\* 5) 河本勲則\* 6) 轟 英彦\* 7)

\* 1) 公立南丹病院\* 2) 済生会京都府病院\* 3) 三菱京都病院\* 4) 亀岡シミズ病院

\* 5) 明治国際医療大学附属病院\* 6) 京都第二赤十字病院\* 7) 京都府立医科大学附属病院

## 【緒言】

我々診療放射線技師は、医療放射線機器を使用し日々検査を行っている。そこで医療の安全面において医療放射線機器の性能を担保及び安全性の確保は必修の項目である。また、これらの項目を維持、確保していくことは、検査に携わる医療技術者として重要な務であることは論を持たない。こうしたなか、平成19年4月に改正医療法が施行され、各々の医療機関で医療機器安全管理に対する意識が高まり、様々の取り組みが行われていると示唆される。今回、医療放射線機器管理に対する取り組みの現状を把握し、医療機器の安全確保を担保する上で問題点や課題を明らかにするという目的でアンケート調査を行ったので報告する。

## 【対象と調査内容】

京都府放射線技師会の会員が所属する医療施設で145施設とし、各施設の診療放射線技師長宛にアンケート調査用紙を郵送した。調査の期間は、平成21年11月下旬にアンケート用紙を発送、12月20日提出をもって締め切りとした。アンケート調査の内容は全部で40問あり、各医療施設で医療機器安全管理が組織化しているか、放射線機器管理士が機器管理に関与しているか、定期点検の取り組みはどのように行われているか、日常点検の実施状況はどのようになっているか、などの項目に重点を置いた。

## 【結果】

アンケート調査の結果145施設中67施設の回答があり、回答率46.2%であった。結果は表に示す。

表1 開設者種別 n=67

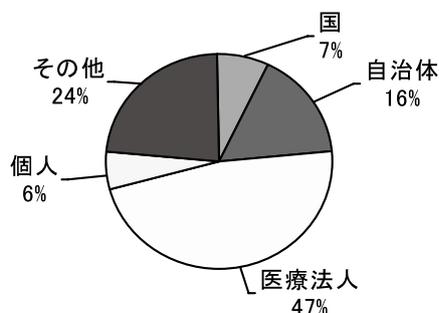


表2 医療機関種別 n=67

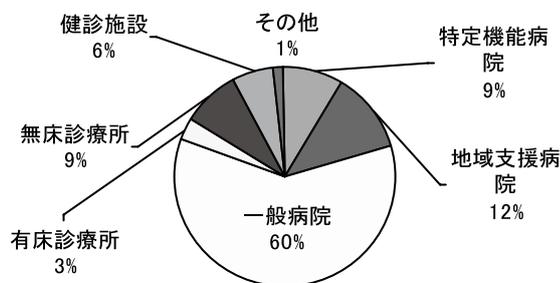


表3 病床数 n=67

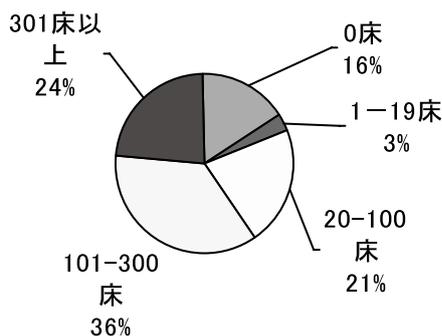


表4 診療放射線技師数 n=67

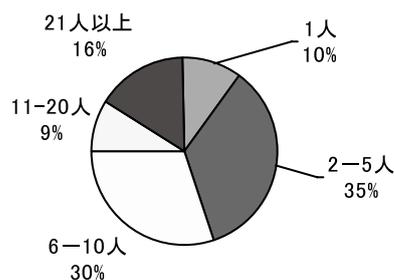


表5 医療機器安全管理委員会の設立 n=65

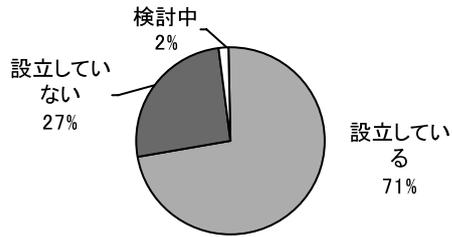


表6 医療機器安全管理委員会への診療放射線技師の参加 n=55

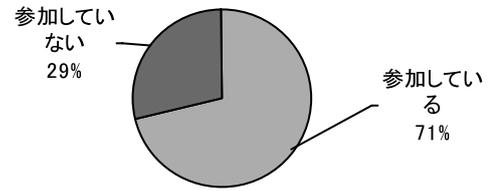


表7 診療放射線技師の委員は放射線機器管理士の有資格者ですか n=55

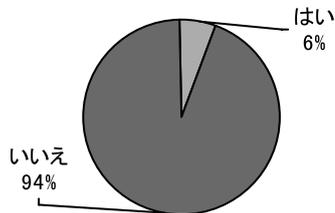


表8 医療機器安全管理責任者の職種 n=57

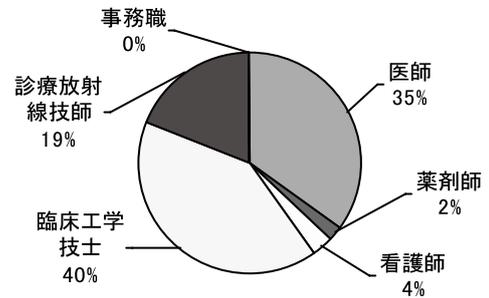


表9 臨床工学士の勤務 n=66

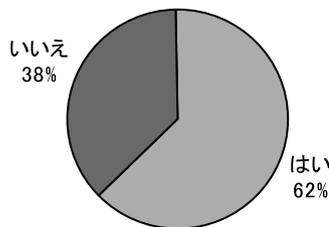


表10 情報担当者は任命されていますか n=35

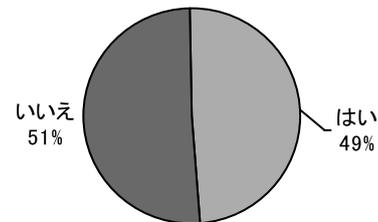


表11 情報担当者の職種 n=24

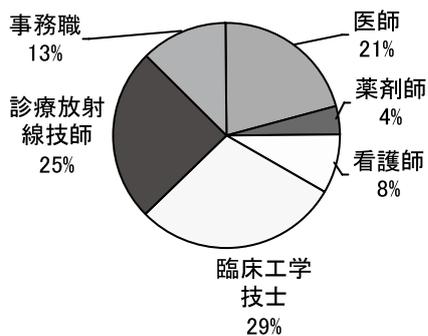


表12 情報・安全方策の実施 n=58

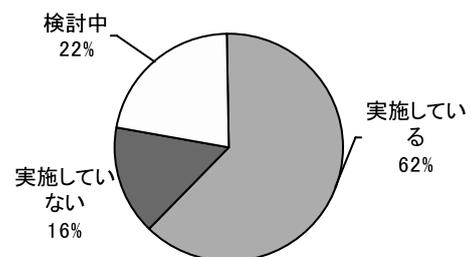


表13 放射線管理業務手順の明文化 n-64

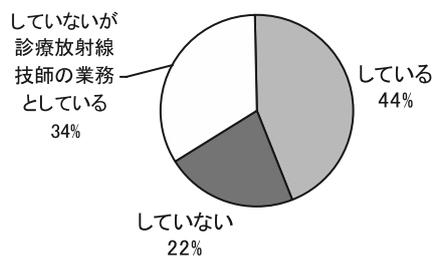


表14 安全管理研修の実施 n-67

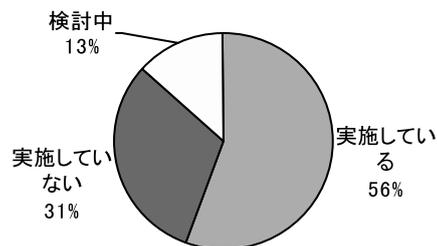


表15 放射線機器管理の担当者 n-63

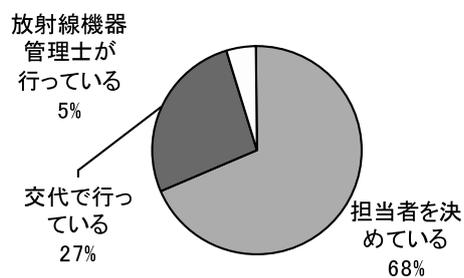


表16 放射線管理業務への診療放射線技師の関与 n-66

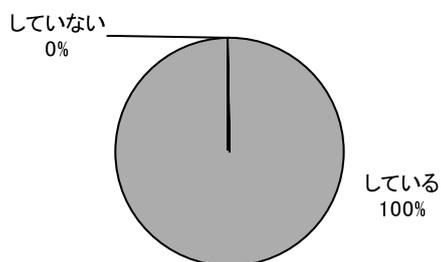


表17 新規装置導入時の機種設定における診療放射線技師の関与 n-67

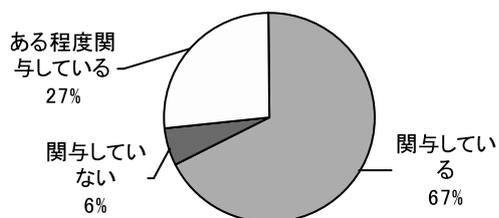


表18 受け入れ試験 n-64

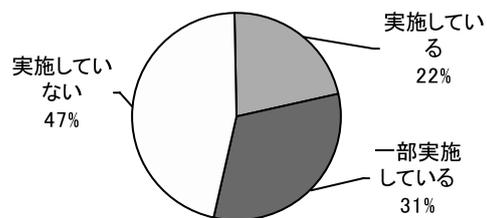


表19 定期点検の形態 n-67

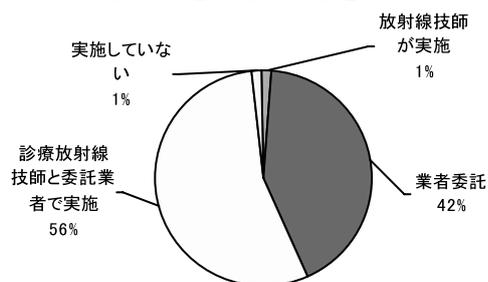


表20 定期点検の記録 n-65

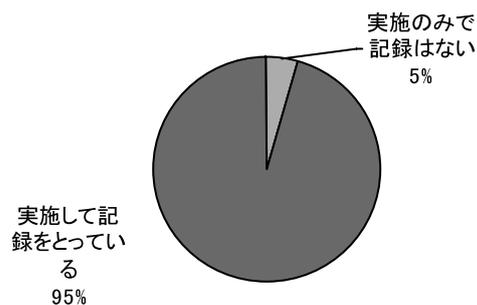


表21 診療放射線技師が定期点検をしている装置  
(複数回答あり)

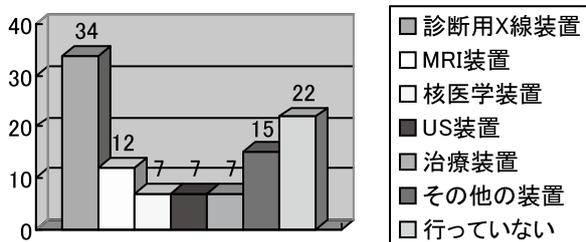


表22 業者委託での定期点検 (複数回答あり)

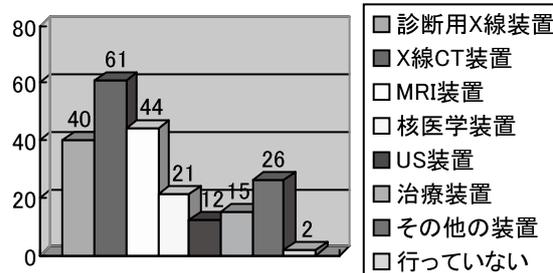


表23 診断用X線装置の日常点検 n=67

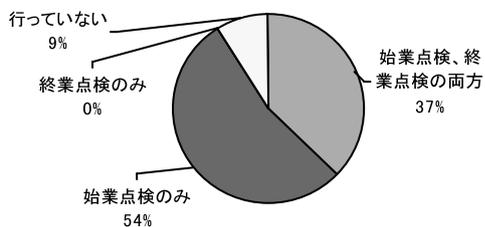


表24 診断用X線装置の日常点検 n=61

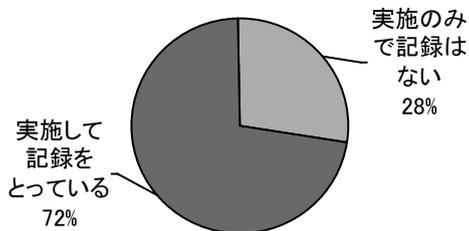


表25 X線CT装置の日常点検 n=63

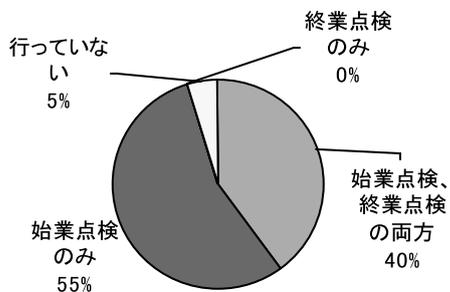


表26 X線CT装置の日常点検の記録 n=60

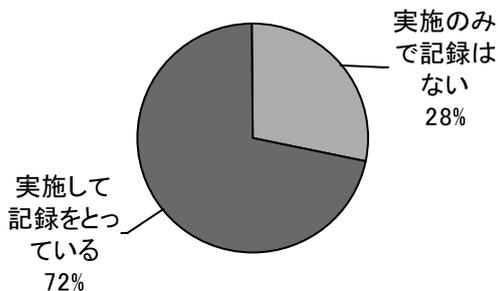


表27 MRI装置の日常点検 n=41

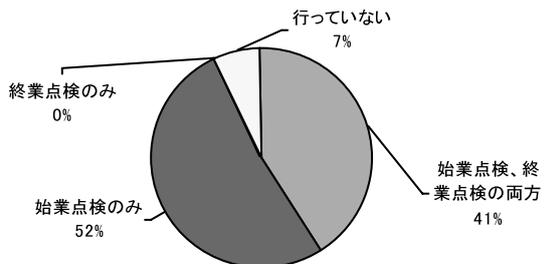


表28 MRI装置の日常点検の記録 n=40

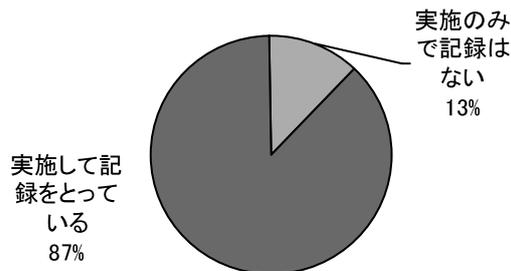


表29 核医学装置の日常点検 n=22

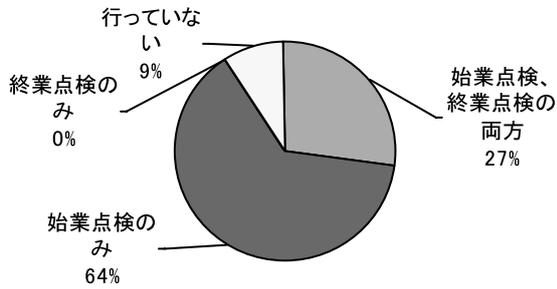


表30 核医学装置の日常点検の記録 n=19

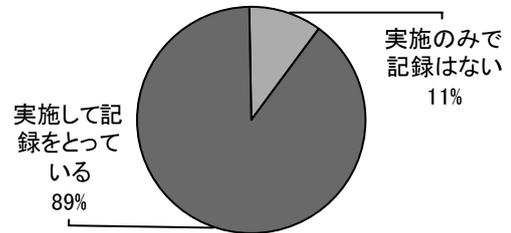


表31 US装置の日常点検 n=22

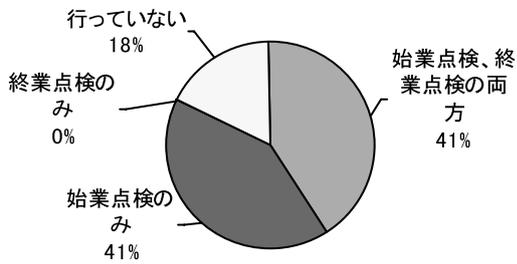


表32 US装置の日常点検の記録 n=18

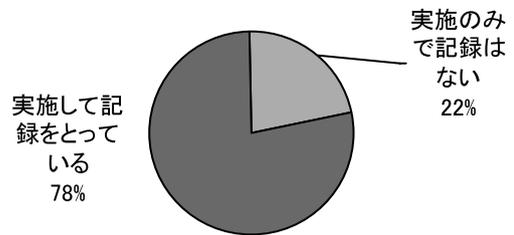


表33 放射線治療装置の日常点検 n=15

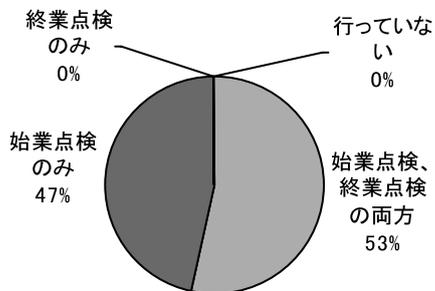


表34 放射線治療装置の日常点検の記録 n=15

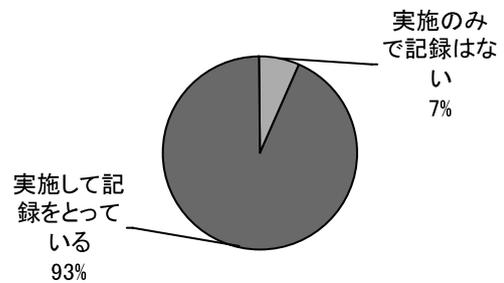


表35 その他の装置の日常点検 n=45

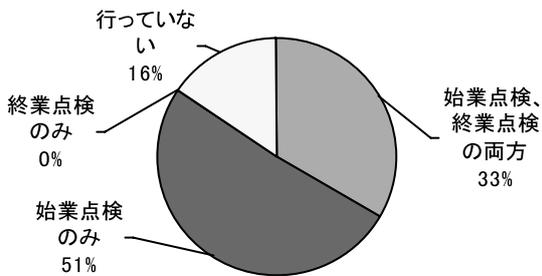


表36 その他の装置の日常点検の記録 n=38

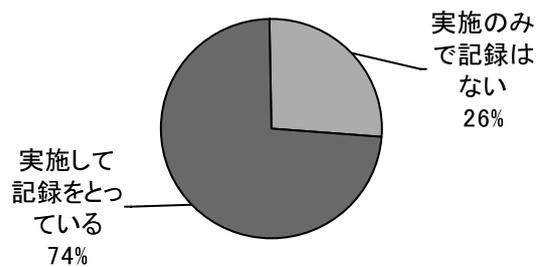


表37 医薬品・医療機器総合機構について n=64

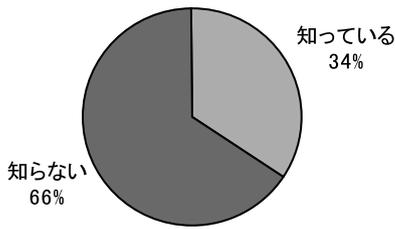


表38 医薬品・医療機器総合機構の発信サービスを受けていますか n=60

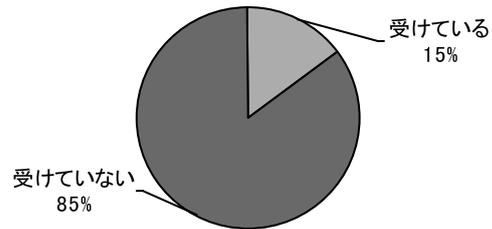


表39 医薬品・医療機器等安全情報報告制度 n=63

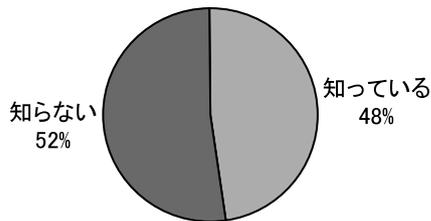
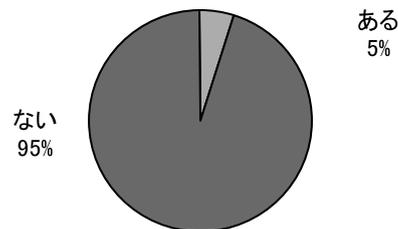


表40 医薬品・医療機器等安全情報報告制度に報告したことがありますか n=61



## 【考察】

### 1. 調査対象の概要

アンケート調査に回答していただいた医療施設の概要は、医療法人 47%、国・自治体を合わせて 23% で大半を占め（表 1）、医療機関種別では、一般病院が 60% を占めていた（表 2）。病床数（表 3）は、0 床から 300 床を超える施設が最も多かった。各医療施設での診療放射線技師数の結果（表 4）を病床数と合わせて見ると病床数 100 以下の医療施設では診療放射線技師の人数が 5 人まで病床数 101 から 300 以下では 6 から 10 人程度、301 床以上では 11 人以上と予想できる。今回の調査結果は、回収率 67 施設 46.2% であったが、京都市内の医療施設における医療用放射線機器管理についてのアンケートデータとして有用であると考えられる。

### 2. 医療機器安全管理の組織化

医療機器安全管理の組織化に関する調査結果では、医療機器安全管理委員会の設立している施設は、71% であった（表 5）。平成 19 年の改正医療法では医療の安全を確保するため委員会の開催の実施を定めており、今回、回答していただいた項目の医療機器安全管理委員会は医療安全管理委員会を上位組織として設立されているものと医療安全委員会自体がその役割を担っている場合も含めての結果であると考えられる。また、健診施設、無床施設の 4 件は設立していない回答であったが、改正医療法の医療の安全に関する事項では入院設備を持たない施設のところは適用しないとされていることから、法令の適用になる施設での組織化率は 76% となった。この結果では、組織化があまり高い水準ではないことを示しており、よりいっそうの組織化が望まれる。また、この医療機器安全委員会へ診療放射線技師の参加は 71%（表 6）と多くの施設で参加されていた。しかしその中に、日本放射線技師会の認定する放射線機器管理士の有資格者がいる施設は 6%（表 7）と低く認知度も低かった。

医療機器安全管理責任者の職種では、臨床工学士 40%、医師 35%、診療放射線技師 19%（表 8）であった。また、アンケート回答のあった医療施設での臨床工学士の勤務は 62%（表 9）であったことから、臨床工学士が医療機器安全管理に診療放射線技師よりも強く関与しているように思われる。情報担当者が任命されている施設

は25%（表10）でかなり低い水準であった。そして情報担当者の職種は、臨床工学士29%、診療放射線技師25%、医師21%（表11）となっており、やはりここでも臨床工学士が医療機器管理へ強く関与していることが促されていた。次に情報・安全改善方策が実施されている施設は62%で、されていない施設は16%、安全管理研修が実施されている施設は56%、されていない施設は31%で達成度は50-60%という結果（表12）となっており、医療機器安全管理委員会の組織化がもっと進んでいけばこれらも経時的に浸潤していくものと考えられる。

### 3. 放射線管理業務に関して

放射線管理業務では、明文化しているのは44%、していないのは22%、していないが診療放射線技師としての業務としているのは34%（表13）であり、放射線管理業務への診療放射線技師の関与では、関与しているが100%（表16）であるため放射線管理業務は診療放射線技師が行っているが手順まで示した明文化を行なっている施設は半数以下と少なく、病院評価機構などではマニュアル化されていることが前提となっていることなどからも、社会的な現状からは少し遅れている状態が示された。安全管理研修の実施に関しては実施率56%であり半数を超えていたが検討中のところも13%あり（表14）、今後の実施率の向上が望まれる。新規装置導入の機種設定や受け入れ試験の実施に関しては、放射線技師が関与している施設が90%（表17）を超えていたが、受け入れ試験の実施率は50%程度（表18）であり低い状態であった。また、放射線機器管理は担当者を決めて行っているのは68%、交代で行っているのは27%、放射線機器管理士が行っているのは5%であり（表15）、担当者を決めて行っているのが一般的なスタイルのようである、放射線機器管理士が担当している施設もあったが十分な状態とは言えない。本来、放射線機器管理に積極的に乗り出す目的で日本放射線技師会が承認した認定資格であるため、もっと浸透して広まっていくことが望まれる。

### 4. 点検業務

今回の調査では、定期点検に関しては実施の実状の把握に留めた調査とした。日常点検に関しては装置別の内容とした調査であった為、定期点検と日常点検で比較することはできない、この点はご了承願いたい。定期点検では、点検を実施する形態を中心に調査したが、結果は、業者委託が42%、診療放射線技師と業者とで実施しているのは56%（表19）であり、定期点検へ診療放射線技師が関与している割合が高く、放射線機器管理に対して積極的に取り組んでいることが示されており、定期点検の記録も95%で（表20）ほとんどの施設で取られていた。また、業者委託の行っている定期点検装置と診療放射線技師が行っている定期点検装置の項目では、両者重複しているところの割合や施設によって設備されていない装置がある割合など、正確に把握できなかったため傾向や参考値として見ていただきたい（表21,22）。前述の結果より、点検結果を記録していない施設や定期点検を実施していない施設があったことが問題点であると考えられる。

日常点検では、診断用X線装置、X線CT装置、MRI装置、核医学装置で始業点検のみが50-60%強、始業点検と終業点検の両方が40%前後、行っていないが10%前後（表23,25,27,29）であった。また記録に関しては、70-80%が記録を取っており20%が記録なし（表24,26,28,30）であった。超音波装置、その他の装置では始業点検が40-50%、始業点検と終業点検の両方が30-40%、行っていないが20%弱（表31,35）であり上記の装置より日常点検の実施率が少し低かった。記録に関しても他の装置よりも低かった（表32,36）。また、放射線治療装置では、所持している施設が少なかったが、全施設で実施されており、始業点検のみは47%、始業点検と終業点検の両方は53%（表33）であった、唯一始業、終業の両方実施している割合の多い装置であった。記録に関しては93%とほとんどの施設で記録されていた（表34）。これは、放射線治療装置の不具合が即人体への悪影響を及ぼす可能性が高い装置であるため、より高い保守管理が必要になるためと考える。日常点検に際しての傾向は、始業点検と終業点検を実施している施設より始業点検のみ実施の施設の方が多かったことである。時間の押し迫った業務の中で大変であるが、できれば始業点検と終業点検の両方の実施が望まれる。また、結

果を記録していない施設も多くあったが、故障時に今までの記録を参照することや装置の状態変化を捕らえることなどから記録することは必要なことと考える。

#### 5. 医薬品・医療総合機構について

医薬品医療機器総合機構は、厚生労働省所管の独立行政法人であり、医薬品の副作用などによる健康被害救済業務、薬事法に基づく医薬品・医療機器などの氏差関連業務、医薬品や医療機器などの品質を確保する安全対策業務を行っている所であるが、アンケート調査では知らないが66%、知っているは34%で認知度が低いことを示した(表37)。また、医薬品・医療機器等安全情報報告制度も半数の52%が知らないという結果(表39)で、報告をしたことがあるといった施設は5%であり(表40)、この機構の発信するサービスを受けている施設は15%であった(表38)。これらの結果から医薬品医療機器総合機構は、現在、京都府下の医療施設の診療放射線技師部門では、認知度は低くうまく機能しているとはいえない、今後もっと高い認知度にならないと機能しないと考える。ただし、各医療施設で医薬品・医療機器管理を行っているトップの責任者の方は良く知っておられその制度を利用されているのかも知れない。今回の調査結果からは見出せなかった。

#### 【結語】

今回のアンケート結果から明らかになった問題点は、大きく三つに分けられると考えられる。①医療機器安全管理の組織化は行われているがまだ不完全であるため、今後もっと周知して組織化が進み安全管理の体制が整うこと。②放射線管理業務に診療放射線技師が100%関与していたが業務手順の明文化がなされていない施設が多くあり、今後の進展が望まれる。③医療機器装置の点検に関しての項目で、定期点検はほぼ完全実施されていたが、日常点検では完全実施までには至っておらず記録の方は更に実施率が悪いことから、今後日常点検の実施と記録することが周知徹底されること。以上の三項目であり、改善されより安全な放射線機器の運用が期待される。

#### 【謝辞】

本アンケート調査に際して、アンケートの回答に快くご協力いただきました各施設の担当者の皆様、また日本放射線機器管理士部会 前副部会長の田中 悟様に貴重なご意見を頂いたこと、ここに厚く御礼申し上げます。

#### 〈参考文献〉

- 1) 資料：医政発第0330010号 2007年3月30日
- 2) 宮崎 茂, 医療施設で行う診断用X線装置の機器管理について, 日本放射線技師会雑誌, 54, 273-291, 2007.
- 3) 診療報酬対策委員会, 診療報酬に関する調査報告, 日本放射線技師会, 2009.
- 4) 田中 悟, 兵庫県内施設における医療機器安全管理調査アンケート報告 - 放射線関連機器を中心に -, 日本放射線機器管理士部会, 2008.

## ◇ 地 区 活 動 ◇

### 北 地 区

理事 田中 久志

地区理事に就任して、1年が過ぎようとしています。第1回地区委員会にて活動案を了承していただきましたが、活動が滞りまして誠に済みませんでした。2年目は会員さんとの横のつながりが出来るように活動をさらに進めて行きたいと思っています。

会員の皆様、地区委員の皆様、役員の皆様のご指導ご協力有難うございました。来年度も皆様のご協力を宜しくお願い致します。

#### 【平成22年度北地区活動年表】

| 月 日   | 項 目               | 内 容        |
|-------|-------------------|------------|
| 4月26日 | 第1回地区委員会          | 6名出席（理事含む） |
| 6月13日 | 病院学会準備委員          | 2名参加       |
| 6月19日 | 全地区委員会            | 5名参加       |
|       | フレッシュ放射線技師の集い     | 3名参加       |
| 10月4日 | 厚生委員会             | 参加         |
| 平成23年 |                   |            |
| 1月6日  | 第2回地区委員会          | 6名出席（理事含む） |
| 1月22日 | 府民公開講座            | 演題発表       |
| 3月13日 | 第528回研修会（地区合同研修会） | 参加         |

### 中 地 区

理事 楡 隆之

日放技や京放技の事を全く知らないままに中地区理事になり、三役はじめ、常任理事や監事の皆さまに助けて頂いて何とか1期1年が過ぎようとしています。

振り返ってみると、地区委員の選定にも時間がかかり、なかなか決まらないまま秋を迎え、三役や前任の中地区理事の協力のもとで5班のうちの4班が決まりようやく第一回の地区委員会を開くことが出来ました。

今年度では、将来の中地区活動のために電子メールによる連絡網作りにとりかかることに決めました。普段は技師会からの連絡が滞り、各会員の皆さまにご迷惑をおかけした事をお詫び致します。来年度には、中地区の各会員の皆さまがより深く技師会に関わっていただけるように努めたいと思います。

#### 【平成22年度中地区活動年表】

| 月 日    | 項 目                 | 内 容          |
|--------|---------------------|--------------|
| 4月25日  | 第531回研修会、通常総会、懇親会出席 | 2名参加         |
| 6月19日  | 全地区委員会              | 3名参加         |
|        | フレッシュ診療放射線技師の集い     | 1名参加         |
| 9月23日  | 田城監事の叙勲記念式典         | 1名参加         |
| 11月19日 | 第532回研修会            | 1名参加         |
| 10月22日 | 第1回中地区委員会           | 5名参加         |
| 平成23年  |                     |              |
| 1月22日  | 第533回研修会『市民公開講座』    | 3名参加         |
| 3月10日  | 第2回中地区委員会           | 5名参加         |
| 3月13日  | 第534回地区合同研修会        | 4名参加（演者1名含む） |
|        | 平成22年度臨時総会          | 4名参加         |

**東地区**

理事 村上 雅之

東地区の理事を勤めさせていただいて、1年が過ぎようとしています。

2回目の地区理事となるのですが、地区として目立った活動は出来なかったと反省しております。次年度は自らが技師会のさまざまな事業への参加を増やしていきたいと思っております。地区会員の皆様におかれましても技師会活動にご協力のほど、よろしく願いいたします。

**【平成22年度東地区活動年表】**

| 月 日                      | 項 目   | 内 容                  |
|--------------------------|---|----------------------|
| 4月24日<br>6月2日            | 研修会、通常総会、出席<br>地区委員会開催（京大病院にて）                    | 6名参加<br>連絡網を新規に編成し直し |
| 6月12日・13日<br>6月19日       | 第45回京都病院学会<br>全地区委員会・フレッシュ診療放射線技師の集い              | 2名参加<br>3名参加         |
| 10月15日<br>平成23年<br>3月13日 | 地区委員会開催（京大病院にて）<br><br>第534回地区合同研修会<br>平成22年度臨時総会 | 4名参加<br><br>演者1名講演依頼 |

**西地区**

理事 丸山 久喜

西地区理事を勤めさせていただいて、早いもので1年が過ぎようとしています。

昨年までは地区委員として技師会には参加をさせていただいていたのですが、今年は理事としてかわらせていただきました。実際、技師会活動に参加させていただくことで非常に多くの方と知り合えました。私にとって、この技師会活動は大変有意義なものでした。

しかし、地区理事としては何もできず、技師会からの連絡事項をファックスやメールで送るしかできませんでした。できることなら会員さんがもう少し技師会活動に参加してもらえるように声かけができればよかったと後悔しています。

今年度技師会活動にご協力いただきました会員の皆様、地区委員、常務理事の方々に厚く御礼申し上げます。有難うございました。

**【平成22年度西地区活動年表】**

| 月 日            | 項 目                                   | 内 容                  |
|----------------|---------------------------------------|----------------------|
| 4月24日          | 第529回研修会、通常総会                         | 1名参加                 |
| 5月28日          | 第1回地区委員会(第二京都回生病院)                    | 6名参加<br>地区連絡網の新規作成   |
| 6月19日          | 第530回研修会<br>全地区委員会<br>フレッシュ診療放射線技師の集い | 4名参加<br>4名参加<br>3名参加 |
| 10月9日          | ピンクリボン京都2010(イオンモール京都)                | 1名参加                 |
| 10月30日         | ピンクリボン京都2010(京都駅前)                    | 1名参加                 |
| 11月18日         | 第2回地区委員会(第二京都回生病院)                    | 5名参加                 |
| 平成23年<br>1月22日 | 市民公開講座<br>京都府放射線技師会 新年会               | 3名参加<br>3名参加         |
| 3月13日          | 第534回地区合同研修会<br>平成22年度臨時総会            | 演題1例                 |
| 3月18日          | 第3回地区委員会<br>西地区懇親会(がんこ和食京都駅前店)        |                      |

**南地区**

理事 渡里 弘

平成 22 年度の南地区理事を勤めさせていただいてもうすぐ 1 年になろうとしています。地区理事の役割が重要だと言う事は認識していましたが、初めて経験する事があまりにも多すぎて、戸惑う事ばかりです。会長をはじめ各理事の方々の淡々と役割を果たしていかれる事に驚いています。それぞれの理事として責任の中ではありますが、夜遅くまで作業を続けてこられているのに感銘も受けました。しかし私は地区理事としては何もできていないことにも気づきました。これからは常務理事さん達の役に立てるように勤めさせていただきます。

最近常を感じる事なのですが、技師会に入会しているメリットがないと良く言われますが、何もしていない人達には解らないと思います。社会の中での役割や自分の持つ免許の重要さも気づいていないのだと思います。放射線技師として今後どうあるべきかを自分で考え進めていければいいのですが、今の社会では組織力が重要だと考えられます。

各技師会それぞれが終了し、1 人でも多くの会員様が増えていく事に期待しています。また会員様には今後色々のご協力をお願いいたします。

**【平成 22 年度南地区活動年表】**

| 月 日           | 項 目                            | 内 容             |
|---------------|--------------------------------|-----------------|
| 4 月 24 日      | 通常総会                           |                 |
| 5 月 25 日      | 地区委員会開催（宇治徳洲会にて）               | 6 名参加 連絡網の新規に編集 |
| 6 月 13 日      | 第 45 回京都病院学会                   | 2 名参加           |
| 6 月 19 日      | 全地区委員会 フレッシュ診療放射線技師の集い         | 3 名参加           |
| 9 月 18 日・19 日 | くらしと健康展                        |                 |
| 10 月 6 日      | 地区委員会開催（宇治徳洲会にて）               | 5 名参加           |
| 10 月 9 日      | ピンクリボン京都 2010                  |                 |
| 10 月 31 日     | ピンクリボン京都 2010                  |                 |
| 12 月 2 日      | 南地区懇親会・地区委員会                   | 6 名参加           |
| 平成 23 年       |                                |                 |
| 1 月 22 日      | 市民公開講座                         | 2 名参加           |
| 2 月 20 日      | 近畿地域放射線技師学術大会                  |                 |
| 3 月 13 日      | 第 534 回地区合同研修会<br>平成 22 年度臨時総会 | 演者 1 名講演依頼      |

**西南部地区**

理事 松元 誠

前半の 1 年が過ぎました。今期も年間 4 回の地区委員会を開催し、地区委員さんの協力のもと情報発信や収集、イベント等の広報活動に努めてまいりました。また、会の活性化を目的に、会員さん同士の親睦と結束力の強化を図るべく、西南部地区懇親会を開催し 12 名の方に参加していただきました。地区理事の任務は会員さんと技師会とのパイプ役と考え勤めております。今後も会員さんと双方向の関係を築き上げていきたいと思っております。最後になりましたが、お世話になりました会員の皆様、会務にご協力いただきました地区委員の皆様、理事の方々に厚く御礼申し上げます。

**【平成 22 年度西南部地区活動年表】**

| 月 日       | 項 目                            | 内 容            |
|-----------|--------------------------------|----------------|
| 6 月 6 日   | 第 1 回地区委員会                     | 5 名参加          |
| 6 月 19 日  | 全地区委員会・フレッシュ放射線技師の集い           | 5 名参加・14 名参加   |
| 9 月 24 日  | 第 2 回地区委員会                     | 6 名参加（久保田理事含む） |
| 11 月 16 日 | 第 3 回地区委員会                     | 5 名参加（久保田理事含む） |
| 平成 23 年   |                                |                |
| 1 月 22 日  | 研修会・新年会                        | 7 名参加          |
| 3 月 12 日  | 西南部地区懇親会                       | 12 名参加         |
| 3 月 13 日  | 第 534 回地区合同研修会<br>平成 22 年度臨時総会 |                |
| 3 月 31 日  | 第 4 回地区委員会                     | 6 名参加（久保田理事含む） |

## 両丹地区

理事 今井 敬治

地区理事の大役に就き1年が経過しました。なかなか要領を得ず、会員の皆様には無理難題をお願いしたりご迷惑をおかけしたりしたかと思えます。しかし、何とか恒例になっている年4回の両丹地区研修会を終える事が出来ました。これも一重に地区委員や会員の皆様方のご協力の賜物と感謝しています。

当初、京都市内での技師会活動にはあまり参加したことが無かったため多少不安はありましたが、何回か足を運ぶうちに他地区の理事の方々や学術委員のメンバーと知り合い意見交換もできるようになり、自身の見地も広がったように思います。

次年度に付きましても、会員の皆様のご期待に添えるよう努力していきたく思いますのでよろしくご協力のほどお願いします。

### 【平成22年度両丹地区活動年表】

| 月 日             | 項 目  | 内 容                        |
|-----------------|--|----------------------------|
| 3月12日           | 第1回地区委員会 西舞鶴   | 新旧役員引き継ぎ会 8名参加             |
| 4月19日           | 第2回地区委員会開催 京都ルネス   | 5名参加                       |
| 4月24日           | 第63回京放技通常総会 第529回研修会   | 1名参加                       |
| 6月12日           | 平成22年度春季研修会 綾部市立病院   | 各施設の医療機器アンケートの実施と4演題 34名参加 |
| 6月19日           | 第3回地区委員会開催 綾部市立病院<br>第530回京放技研修会 22年度<br>全地区委員会フレッシュ技師会員の集い<br>ホテルセントノーム京都 | 5名参加<br>1演題発表 3名参加         |
| 8月20日           | 第4回地区委員会開催 京都ルネス病院   | (兼)第1回22年度夏季研修会実行委員会 5名参加  |
| 9月4日・5日         | 22年度夏季研修会(第531回研修会)開催<br>マリアージュ福知山   | 10演題 4日 55名、<br>5日 41名参加   |
| 9月23日           | 第2回22年度夏季研修会実行委員会<br>田城邦幸監事叙勲「瑞宝双光章」祝賀会                                    | 反省会 4名参加<br>2名出席           |
| 10月28日          | 第5回地区委員会開催 京都ルネス病院   | 6名参加                       |
| 11月7日           | 近畿地域野球大会 和歌山県  | 1名参加                       |
| 11月19日          | 第532回研修会 メルパルク京都   | 1名参加                       |
| 12月4日           | 平成22年度秋季研修会 綾部市立病院   | 賛助2演題 5名の発表、<br>座談会 36名の参加 |
| 12月19日<br>平成23年 | MRI講習会 キャンパスプラザ京都  | 2名講師出席                     |
| 1月22日           | 市民公開講座(第533回研修会)<br>メルパルク京都  | 1名参加                       |
| 1月28日           | 第6回地区委員会開催 京都ルネス病院   | 5名参加                       |
| 2月19日           | 22年度冬季研修会・活動報告会・新年会<br>福知山市たかた荘  |                            |

# ◆ 受賞者選考委員会 ◆

受賞者選考委員会委員長 河本 勲 則

当会監事 田城邦幸氏が平成 22 年春の叙勲に際し、瑞宝双光章を授与されました。



平成 22 年度の表彰者は以下の通りです。

## (社)日本放射線技師会関係

勤続 50 年表彰者 (0 名)

勤続 30 年表彰者 (8 名)

|       |              |
|-------|--------------|
| 井田 正明 | 綾部市立病院       |
| 奥谷 昭一 | 京都府立医科大学付属病院 |
| 岡田 孝  | 京都大学医学部付属病院  |
| 志垣 隆一 | 宇治徳洲会病院      |
| 木下 誠  | 河村病院         |
| 濱田 松治 | 大阪医科大学付属病院   |
| 平川 益三 | 京都第一赤十字病院    |
| 星野 誠  | 北城病院         |

受賞者選考委員会では、今後も積極的に関係各方面にわたる表彰（個人、団体）の推薦依頼に基づいて、受賞候補者を選出し申請を行って参ります。

皆様のご協力をお願いいたします。また勤続表彰等申請には履歴書が必要ですので当技師会より申請書類が郵送されたときには、速やかに記入して返送（近年勤続 30 年、50 年表彰者の推薦を活発に行っていますが対象となる会員からの返送がほとんど帰ってこないのが現状です）をお願いいたします。

受賞者選考委員会

| 氏名     | 勤務先 |
|--------|-----|
| ○河本 勲則 | 前 掲 |
| 轟 英彦   | 前 掲 |
| 北村 真   | 前 掲 |
| 吉田久仁彦  | 前 掲 |

# 平成22年度 役員名簿

| 役 名                   | 氏 名         | 勤 務 先           |
|-----------------------|-------------|-----------------|
| 会 長                   | 轟 英 彦       | 京都府立医科大学附属病院    |
| 副 会 長                 | 北 村 真       | 明治国際医療大学附属病院    |
| 〃                     | 河 本 勲 則     | 京都第二赤十字病院       |
| (常設委員会)               |             |                 |
| 庶 務 理 事 委 員           | ◎ 皿 谷 弘 樹   | 京都通信病院          |
| 〃                     | 吉 田 久仁彦     | 京都地域医療学際研究所附属病院 |
| 〃                     | 四 丸 真 俊     | 国立病院機構宇多野病院     |
| 〃                     | 須 藤 安希子     | 大阪医科大学附属病院      |
| 財 務 理 事 委 員           | ◎ 武 部 義 行   | 京都府立医科大学附属病院    |
| 〃                     | 渡 里 弘       | 京都九条病院          |
| 〃                     | 竹 澤 正 人     | 大和検診センター        |
| 学 術 理 事 委 員           | ◎ 原 口 隆 志   | 宇治武田病院          |
| 〃                     | 林 浩 二       | 洛和会音羽病院         |
| 〃                     | 森 永 泉 美     | 大阪医科大学附属病院      |
| 〃                     | 四 丸 真 俊     | 国立病院機構宇多野病院     |
| 〃                     | 田 中 史 男     | 十条リハビリテーション病院   |
| 〃                     | 丸 山 久 喜     | 第二京都回生病院        |
| 〃                     | 今 井 敬 治     | 京都ルネス病院         |
| 編 集 理 事 委 員           | ◎ 中 島 智 也   | 田辺中央病院          |
| 〃                     | 村 上 雅 之     | 京都大学医学部附属病院     |
| 広 報 ・ 渉 外 理 事 委 員     | ◎ 新 井 喬     | 宇治徳洲会病院         |
| 〃                     | 三 浦 健 一     | 第二岡本総合病院        |
| 広 報 ・ 渉 外 理 事 ( 兩 冊 ) | 城 下 克 明     | 京丹後市立弥栄病院       |
| 組 織 調 査 理 事 委 員       | ◎ 久 保 田 裕 一 | 関西医科大学附属枚方病院    |
| 〃                     | 松 元 誠       | 松下記念病院          |
| 〃                     | 前 田 富美恵     | 京都市立病院          |
| 〃                     | 熊 井 由 昌     | 大阪医科大学附属病院      |
| 〃                     | 蒲 順 之       | 大島病院            |
| 〃                     | 平 田 紗知子     | 関西医科大学附属枚方病院    |
| 厚 生 理 事 委 員           | ◎ 中 川 稔 章   | 京都府立医科大学附属病院    |
| 〃                     | 田 中 久 志     | 堀川病院            |
| 〃                     | 金 津 武 弘     | 自宅              |
| 情 報 理 事 委 員           | ◎ 中 田 博 之   | 三菱京都病院          |
| 〃                     | 多 富 仁 文     | 三菱京都病院          |
| 管 理 士 理 事 委 員         | ◎ 山 根 稔 教   | 公立南丹病院          |
| 〃                     | 安 藤 博 敏     | 綾部ルネス病院         |
| 〃                     | 大 澤 啓 次     | 済生会京都府病院        |
| 〃                     | 田 中 亮       | 清仁会亀岡シミズ病院      |
| 〃                     | 小 東 靖 史     | 三菱京都病院          |
| 監 事                   | 田 城 邦 幸     | 自宅              |
| 〃                     | 四 井 猛 士     | 千春会病院           |

◎常務理事・委員長

## 特別委員会

### 受賞者選考委員会

| (氏名)    | (勤務先) |
|---------|-------|
| ○河本 勲 則 | 前 掲   |
| 轟 英 彦   | 前 掲   |
| 北村 真    | 前 掲   |
| 吉田 久仁彦  | 前 掲   |

### 新公益法人検討委員会

| (氏名)   | (勤務先) |
|--------|-------|
| ○轟 英 彦 | 前 掲   |
| 北村 真   | 前 掲   |
| 河本 勲 則 | 前 掲   |
| 吉田 久仁彦 | 前 掲   |
| 武部 義 行 | 前 掲   |
| 皿谷 弘 樹 | 前 掲   |
| 池本 義 人 | 前 掲   |
| 竹澤 正 人 | 前 掲   |

## 平成22年度 地区委員名簿

| 班名  | 氏名       | 勤務先         |
|-----|----------|-------------|
| 北地区 | 田中久志(理事) | 堀川病院        |
| 1   | 田中裕一     | 京都博愛会病院     |
| 2   | 松浦昌志     | 西陣病院        |
| 3   | 中山裕基     | 堀川病院        |
| 4   | 池野寛康     | 京都府立医大附属病院  |
| 5   | 山添元士     | 京都第二赤十字病院   |
| 中地区 | 楡隆之(理事)  | 京都民医連中央病院   |
| 1   | 高屋晶嘉     | 京都予防医学センター  |
| 2   | 浅野昌良     | 京都通信病院      |
| 3   |          |             |
| 4   | 中井敬      | 島津製作所附属診療所  |
| 5   | 宮井明      | 京都市立病院      |
| 東地区 | 村上雅之(理事) | 京都大学医学部附属病院 |
| 1   | 山本太郎     | 京都民医連第二中央病院 |
| 2   | 濱邦章      | 京都下鴨病院      |
| 3   | 道下秀雄     | 愛生会山科病院     |
| 4   | 小川憲一     | 京都大学医学部附属病院 |
| 5   | 布施俊明     | 京都第一赤十字病院   |
| 西地区 | 丸山久喜(理事) | 第二京都回生病院    |
| 1   | 石井彰      | 高雄病院        |
| 2   | 平井靖      | 三菱京都病院      |
| 3   | 池和秀      | 京都桂病院       |
| 4   | 後藤正      | 済生会京都府病院    |
| 5   | 中川雄介     | 公立南丹病院      |
| 6   | 遠山景子     | 京都医療科学大学    |

| 班名    | 氏名       | 勤務先           |
|-------|----------|---------------|
| 南地区   | 渡里弘(理事)  | 京都九条病院        |
| 1     | 河上和広     | 十条リハビリテーション病院 |
| 2     | 古谷義明     | 蘇生会総合病院       |
| 3     | 荒本信之介    | 宇治徳洲会病院       |
| 4     | 三浦健一     | 第二岡本総合病院      |
| 5     | 小西博      | 京都きづ川病院       |
| 両丹地区  | 今井敬治(理事) | 京都ルネス病院       |
| 1     | 塩見晃      | 京都ルネス病院       |
| 2     | 川崎拓志     | 綾部市民病院        |
| 3     | 平林良介     | 京丹后市立弥栄病院     |
| 西南部地区 | 松元誠(理事)  | 松下記念病院        |
| 1     | 松本洋一     | 大阪医科大学附属病院    |
| 2     | 田原あゆみ    | 京阪電鉄枚方診療所     |
| 3     | 岩木慎治     | 枚方公済病院        |
| 4     | 熊井由昌     | 大阪医科大学附属病院    |

## 平成 22 年度 会長・副会長・理事役員体制

### [三役]

|                    |         |              |
|--------------------|---------|--------------|
| 会 長                | 轟 英 彦   | 京都府立医科大学附属病院 |
| 副会長 (学術・広報・組織・管理士) | 北 村 真   | 明治国際医療大学附属病院 |
| 〃 (庶務・編集・情報・表彰)    | 河 本 勲 則 | 京都第二赤十字病院    |

### [常務理事]

|              |         |              |
|--------------|---------|--------------|
| 庶 務          | 皿 谷 弘 樹 | 京都通信病院       |
| 財 務          | 武 部 義 行 | 京都府立医科大学附属病院 |
| 学 術          | 原 口 隆 志 | 宇治武田病院       |
| 編 集          | 中 島 智 也 | 田辺中央病院       |
| 広報・渉外        | 新 井 喬   | 宇治徳洲会病院      |
| 広報・渉外 (両丹地区) | 城 下 克 明 | 京丹後市立弥栄病院    |
| 組織調査         | 久保田 裕 一 | 関西医科大学附属枚方病院 |
| 厚 生          | 中 川 稔 章 | 京都府立医科大学附属病院 |
| 情 報          | 中 田 博 之 | 三菱京都病院       |
| 管理士          | 山 根 稔 教 | 公立南丹病院       |
| 受賞者選考        | 河 本 勲 則 | 前掲           |

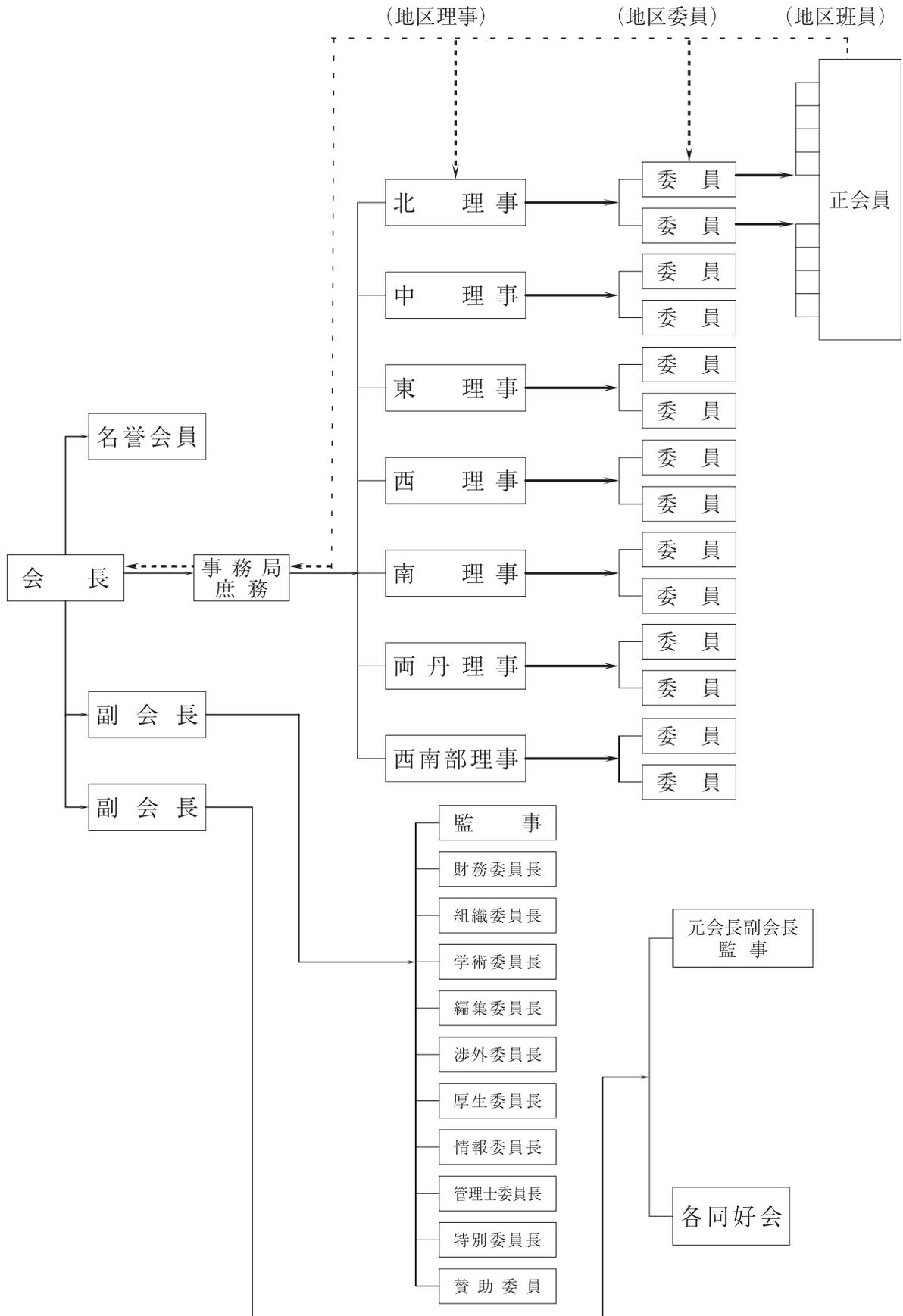
### [地区理事]

|              |         |             |
|--------------|---------|-------------|
| 北地区 (厚生)     | 田 中 久 志 | 堀川病院        |
| 中地区 (庶務)     | 榆 隆 之   | 京都民医連中央病院   |
| 東地区 (編集)     | 村 上 雅 之 | 京都大学医学部附属病院 |
| 西地区 (学術)     | 丸 山 久 喜 | 第二京都回生病院    |
| 南地区 (広報・渉外)  | 渡 里 弘   | 京都九条病院      |
| 両丹地区 (学術)    | 今 井 敬 治 | 京都ルネス病院     |
| 西南部地区 (組織調査) | 松 元 誠   | 松下記念病院      |

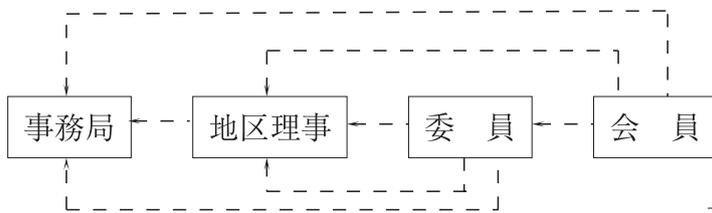
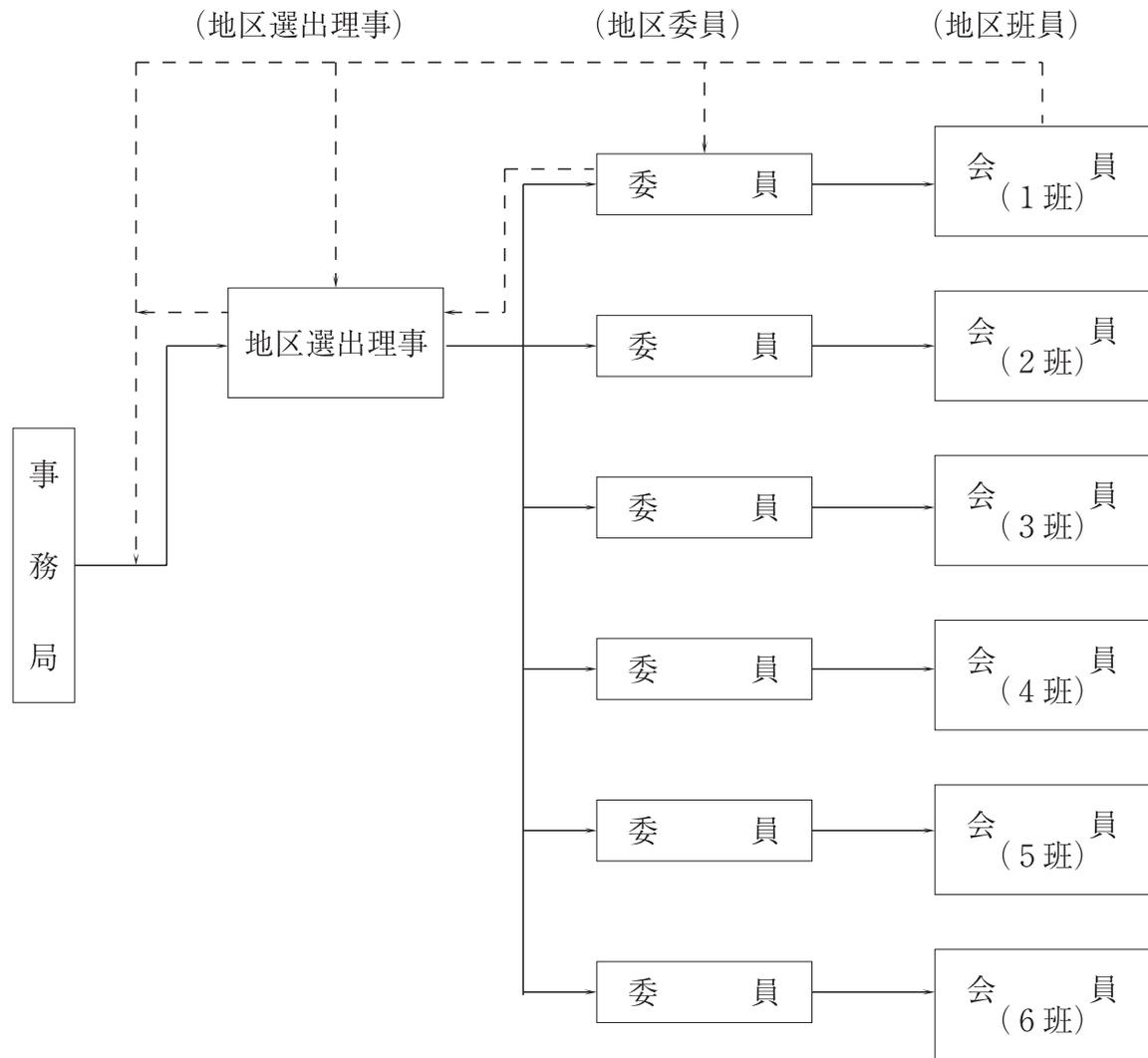
### [監事]

|         |       |
|---------|-------|
| 田 城 邦 幸 | 自宅    |
| 四 井 猛 士 | 千春会病院 |

(社) 京都府放射線技師会連絡機構図

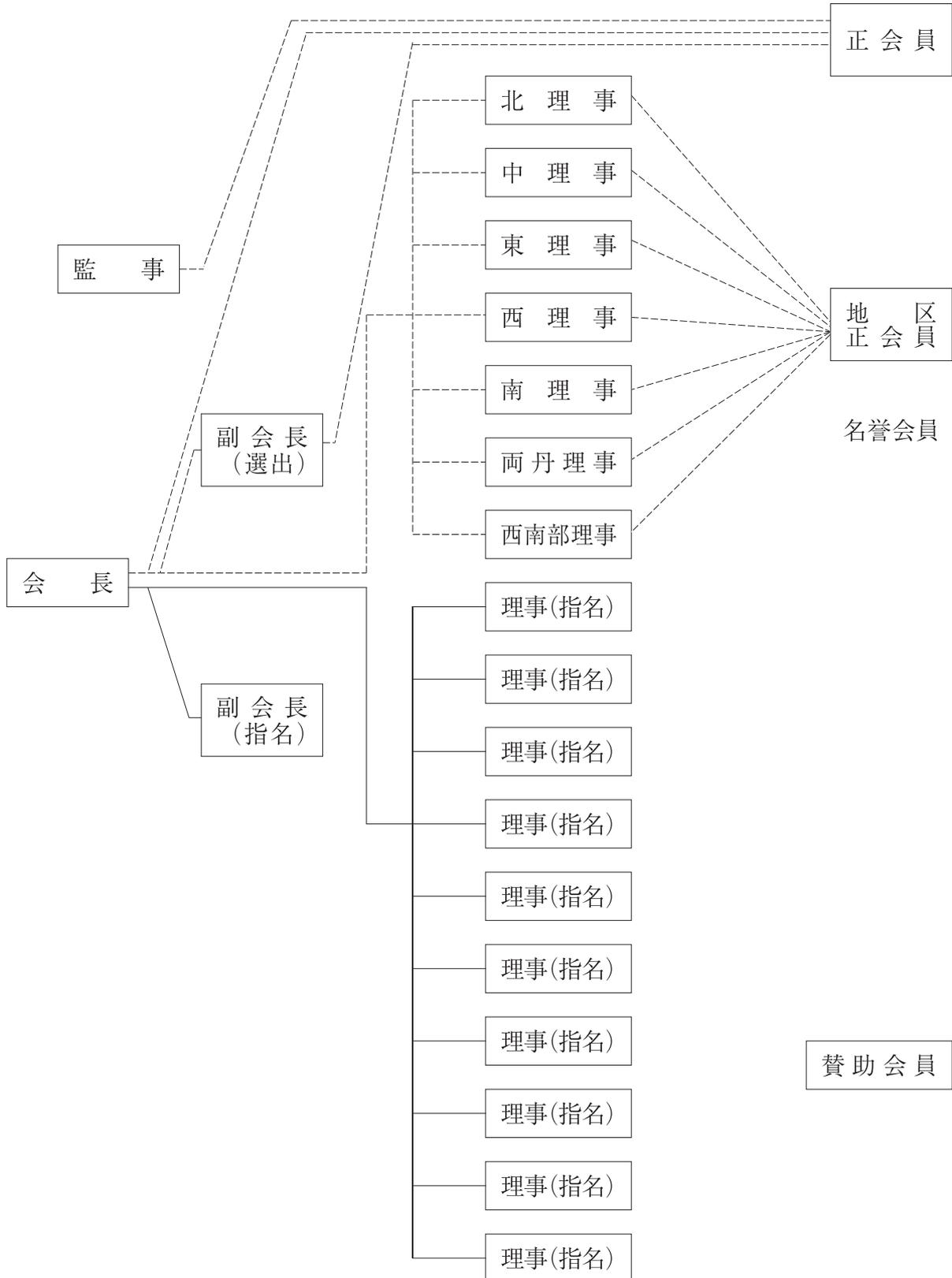


地区班別連絡機構図（例）  
（拡大図）



-----線 会員よりのルート  
——線 事務局よりのルート

(社)京都府放射線技師会組織図



-----線 (会員選出のルート)  
 ——線 (会長指名のルート)

## 個人情報の保護について

(社)京都府放射線技師会は、会長以下役員・委員一同個人情報についての適切な保護が非常に重要であると認識し、個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報の収集に関しては、必要な範囲で個人情報を収集し、当技師会の会員間の情報交換への利用等に努めます。  
また、会員本人からの個人情報の開示や修正・更新及び削除等適切な対応を行います。
2. 個人情報の管理に関しては、会員の意思を尊重し個人情報の紛失、破損、改ざん、漏洩等を防止するための適切な安全管理を講じ、予防に努めます。

(社) 京都府放射線技師会

# 賛 助 会 員

(平成23年3月31日現在)

|                               |   |  |
|-------------------------------|---|--|
| GEヘルスケア・ジャパン株式会社<br>京都営業所     | 〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町 58                              | TEL 075-644-1215 藤巻 篤嗣<br>FAX 075-644-1220 |
| アロカ株式会社京都営業所                  | 〒615-8221 京都市西京区上桂東ノ口町 182 番地                           | TEL 075-383-0030 生島 聡<br>FAX 075-393-7330  |
| コニカミノルタヘルスケア株式会社<br>京滋営業所     | 〒603-8063 京都市北区上賀茂今井河原町 10-7                            | TEL 0570-01-1203 長谷川 亨<br>FAX 075-705-2060 |
| シーメンスジャパン株式会社<br>京滋営業所        | 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-353-35-36                         | TEL 06-6338-5614 三浦 俊宏<br>FAX 06-6338-5604 |
| 株フィリップスエレクトロニクスジャパン<br>京都支店   | 〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町 8<br>京都三井ビルディング 6F         | TEL 0120-556-494 柿本 明宏<br>FAX 075-229-6320 |
| 株式会社カイゲン新薬部大阪営業所              | 〒566-0053 摂津市烏飼野々 3-2-3                                 | TEL 0726-53-4072 高田智香子<br>FAX 0726-53-4331 |
| 株式会社モリタ京都支店                   | 〒604-8075 京都市中京区麩屋町通り三条下ル白壁町 432                        | TEL 075-241-3131 木下 忠夫<br>FAX 075-241-3158 |
| 株式会社 根本杏林堂<br>大阪営業所           | 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-11-17                              | TEL 06-6532-6443 川畑富士雄<br>FAX 06-6532-7067 |
| 株式会社千代田テクノロ大阪営業所              | 〒564-0063 吹田市江坂町 2-1-43 KYUHO 江坂ビル                      | TEL 06-6369-1565 佐藤 正<br>FAX 06-6368-2057  |
| 富士フィルム R I ファーマ株式会社<br>関西第二支店 | 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1 丁目 13-41<br>NF 江坂ビル 8F            | TEL 06-7670-2800 嶋 徹也<br>FAX 06-7670-2803  |
| 株式会社島津製作所医用機器営業課<br>京都支店      | 〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1                                | TEL 075-811-9111 土井 徹<br>FAX 075-811-9491  |
| 株式会社日立メディコ京都支店                | 〒604-0835 京都市中京区御池通間之町東入ル<br>東邦生命ビル 5F                  | TEL 075-256-3092 佐々木茂延<br>FAX 075-256-1384 |
| 株式会社エルクコーポレーション<br>京都営業所      | 〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町 31                               | TEL 075-691-5101 吉田 修<br>FAX 075-691-9786  |
| 石黒メディカルシステム株式会社               | 〒612-8412 京都市伏見区竹田中川原町 62                               | TEL 075-641-1496 多田 幸生                     |
| 第一三共株式会社 京都支店                 | 〒604-0847 京都市中京区烏丸通押小路ル野々町 535<br>日土地京都ビル 5階            | TEL 075-251-1216 山本 広実<br>FAX 075-251-1259 |
| 長瀬ランダウア株式会社大阪営業所              | 〒550-8668 大阪市西区新町 1-1-17                                | TEL 06-6535-2675 八木 信行<br>FAX 06-6541-0931 |
| 島津メディカルシステムズ株式会社<br>京都営業所     | 〒612-8445 京都市中京区西ノ京徳大寺町 1                               | TEL 075-801-3316 植田 和彦<br>FAX 075-841-3334 |
| 東芝メディカルシステムズ株式会社<br>京都支店      | 〒600-8023 京都市下京区河原町通松原上ル 2 丁目<br>富永町 338 番地 (京都四条河原町ビル) | TEL 075-354-9977 重田 敏昭<br>FAX 075-354-9955 |
| ケアストリームヘルス株式会社                | 〒550-0013 大阪市西区新町 1-13-3 四ツ橋 SI ビル 8 F                  | TEL 06-6534-7090 大門 康範<br>FAX 06-6534-7106 |

|                              |   |                                      |       |
|------------------------------|---|--------------------------------------|-------|
| バイエル薬品(株) 京滋北陸支店             | 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659<br>烏丸中央ビル 4F         | TEL 075-229-6718<br>FAX 075-212-0645 | 松崎 隆昭 |
| 日本メジフィジックス株式会社<br>京都営業所      | 〒614-8159 京都府八幡市奈良大門 31-17                            | TEL 075-972-1950<br>FAX 075-972-2021 | 梅森 晋次 |
| 富士フィルムメディカル株式会社<br>京都営業所     | 〒601-8443 京都市南区西九条東御幸田町 25-1                          | TEL 075-671-0264<br>FAX 075-671-0265 | 山田 茂生 |
| 富士製薬工業株式会社 大阪支店              | 〒564-0053 吹田市江の木町 30-27                               | TEL 06-6368-2860<br>FAX 06-6368-2867 | 山本 英清 |
| 伏見製薬株式会社                     | 〒533-0013 大阪市東淀川区豊里 4 丁目 8-19                         | TEL 06-6160-2431<br>FAX 06-6160-2432 | 飯田 直樹 |
| 堀井薬品工業株式会社                   | 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘 2-15-7 パークヒルズ津田                    | TEL 06-6433-5441<br>FAX 06-6943-0650 | 岸上 聡  |
| コヴィディエンジャパン (株)<br>医薬品事業部    | 〒600-8431 京都市下京区綾小路通室町西入善長寺町 140-1<br>グランドビル 21 201 号 | TEL 06-6455-0361<br>FAX 06-6455-8904 | 田島 大嗣 |
| エーザイ株式会社<br>京都コミュニケーション・オフィス | 〒604-0845 京都市中京区烏丸通四条上ル箒町 689-1<br>京都御幸ビル 8F          | TEL 075-211-2461<br>FAX 075-211-0904 | 金子 学  |
| (株) 増田医科器械店                  | 〒612-8443 京都市伏見区竹田薬屋町 50 番地                           | TEL 075-623-7111<br>FAX 075-623-7131 | 松岡 光夫 |
| 日本メドラッド (株)                  | 〒530-0001 大阪市北区梅田 2-4-9                               | TEL 06-6133-6250<br>FAX 06-6344-2395 | 山下 一郎 |
| (株) AZE                      | 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-13-9<br>新大阪 MT ビル 1 号館 9F       | TEL 06-6838-4922<br>FAX 06-3838-4950 | 有馬 和男 |

## 〈 編 集 後 記 〉

この雑誌の編集の追い込みに駆られているころ、東日本大震災が起きた。連日テレビや新聞、ネットでは被災地の惨状を伝えているが、どうもその映像を見慣れてしまった感がある。現代の情報社会の弊害であろう。

テレビの映像を見ると戦後の焼野原さながらの光景が映し出されるが、それよりもマスコミが重要視して伝えているのが福島第一原子力発電所の事故だ。これは世界でも連日トップニュースで伝えられているようで、その影響で観光産業に大打撃を与えている。世界から見ると「日本は危ない」と思われているようで、これについても日本のマスコミが「風評」として伝えている。しかし、日本人の中にも「福島は危ない」と思い、観光業と第一次産業に打撃を与えるようなことをしている。まさに「風評」だ。人間は勝手なものだとつくづく思い知らされる。自分が被害者になったときは相手が悪いと言うが、その傍らで加害者になり、そのときは「実際に放射線量が高いじゃないか」と言って自分の正当性を誇示する。

一般市民にとって「放射線」とは非日常的なので、「検出された。数値が通常より高い」といったことだけで不安に思えるものだ。情報公開が遅れると「政府が隠蔽をしている！」と非難し、情報を公開し、「健康に影響がある値ではない」と言っても、「数値が高いじゃないか。危険だ！政府の言うことなど信用できない！」と勝手なことを言い出す始末である。

放射線に関して知識のある我々からすれば、野菜から検出された放射線量は政府が安全だと言った値であれば健康に影響がないことはわかっている。水道水から検出された値もそうだ。この点は「政府の言うことは信用できる」と、私は思う。

しかし、「この数値なら健康に影響を与えるものではないです」という報道そのものが通常とは違うという印象を与え、市民は不安を抱くのであろう。

放射線そのものに対して不安を抱いているのか、連日の（過剰な？）報道が不安を喚起させているのかわからなくなっているように思う。

この事故で我々診療放射線技師が教訓とすべきことは「放射線に対して、世間の噂に流されるような素人ではいけない」ということであろう。政府の放射線に関する発表が信用できるものか、そうでないか。どういう状態が危険か、安全なのか。きちんと家族や知人に説明できなければ放射線のプロとは言えないのではなかろうか。

連日の報道でシーベルトという言葉が一般市民に浸透した。撮影業務中にも「今の撮影は何シーベルトですか？」と聞かれることがある。実際には正確に何シーベルトかわからないのだが、「わかりません」という答えでは不信を招くことになりかねない。胸部正面撮影でどれほどの被曝なのか知っておかないとプロとして失格であろう。が、撮影条件によっては数倍の幅がある。CRになるとさらに顕著になる。

自分の施設の装置の特性を理解し、いかに撮影条件を下げられるか、この撮影では被曝がいかほどのものか、それを考えながら日々の仕事を行っている診療放射線技師が一人でも多くいることを願ってこの雑誌の閉めとさせていただきます。

平成 23 年 3 月吉日

京都府放射線技師会 編集理事 中島智也

社団法人 京都府放射線技師会

発行者 轟 英彦

発行所 (社)京都府放射線技師会

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ 1F

TEL&FAX 075-802-0082

E-mail [kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp)

編集者 中島智也・村上雅之・河本勲則

印刷所 有限会社 修美社 TEL 075-841-3432